

令和 6 年度

島根県保険者協議会医療費等分析事業報告書

島根県保険者協議会

（事務局 島根県・島根県国民健康保険団体連合会）

本事業は、島根県立大学の協力・助言を得つつ、分析結果を報告書として取りまとめた。関係機関におかれては、保健事業等の推進に本報告書をご活用いただきたい。

目 次

令和6年度 島根県保険者協議会医療費等分析事業 総括	1
I 医療費統計	2
◆医療費統計にあたって	2
◆本統計における疾病分類表	3
1 県全体及び制度別の状況	5
(1) 加入者数、レセプト件数、費用額	5
① 加入者数	6
② レセプト件数	7
③ 費用額	8
(2) 医療費諸率	9
① 受診率	9
② 1件当たり費用額	9
③ 1人当たり費用額	10
④ 諸率の推移	10
(3) 疾病統計	11
① 大分類別医療費諸率	11
② 中分類別費用額	12
③ 生活習慣病	13
2 市町村別の状況	18
(1) 加入者数	18
(2) 医療費諸率	19
① 医療費諸率	19
② 年齢調整1人当たり費用額	20
(3) 疾病統計	21
① 大分類別費用額	21
② 中分類別1人当たり費用額	22
③ 生活習慣病に係る費用額	23

Ⅱ	特定健康診査結果統計	32
	◆健診結果データ集計にあたって	32
1	県全体及び制度別の状況	33
	(1) 特定健診受診者数等	33
	(2) メタボリックシンドローム該当者・予備群割合	35
	(3) 検査等結果	36
	① 肥満者の割合	36
	② 高血圧症有病者・予備群の割合	37
	③ 糖尿病有病者・予備群の割合	38
	④ 脂質異常症有病者・予備群の割合	39
	⑤ 習慣的喫煙者の割合	40
	⑥ 毎日飲酒する人の割合	41
	⑦ 運動習慣がない人の割合	42
2	市町村別の状況	43
	(1) 特定健診受診率	43
	(2) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	44
	① メタボリックシンドローム該当者の割合	44
	② メタボリックシンドローム予備群の割合	45
	(3) 検査等結果	46
	① 肥満者の割合	46
	② 高血圧症有病者・予備群の割合	47
	③ 糖尿病有病者・予備群の割合	49
	④ 脂質異常症有病者・予備群の割合	51
	⑤ 習慣的喫煙者の割合	53
	⑥ 毎日飲酒する人の割合	54
	⑦ 運動習慣がない人の割合	55

令和6年度 島根県保険者協議会医療費等分析事業 総括

I 医療費統計（令和6年5月診療分）

島根県人口の約7割を対象とした医療費データから、循環器系疾患に係る医療費が最も高いことが分かった。循環器系疾患に係る医療費が高いのは、1件当たり費用額としては決して高額ではない反面、受診率が高いことに起因している。中でも、高血圧性疾患に係る医療費が高額となっている。

なお、糖尿病、腎不全、脳梗塞などの医療費も高いことから、生活習慣病の罹患予防及び重症化予防対策が必要と考えられる。

また、悪性新生物や骨折（特に女性）の医療費も高いため、がんの早期発見、転倒予防等も必要である。

II 特定健康診査結果統計（令和5年度特定健康診査結果データ）

健診受診者のうち、約4割が肥満に該当している。年齢では大差ない。男女別にみると、男性は約半数が肥満に該当しており、女性の約2倍となっている。

なお、習慣的喫煙者、毎日飲酒する人の割合も男性の方が女性より高く、メタボリックシンドローム該当者、高血圧、糖尿病の有病者割合も、男性が高い。

肥満対策として求められることは生活習慣の改善、特に食事や運動であるが、毎日飲酒する人は男性で4割強、運動習慣のない人は男女とも6割といずれも高い。若い世代からの禁煙や減酒（特に男性）、運動に関する啓発、取り組みが必要である。

III 医療費と特定健診結果の状況からみえたこと

課 題

【医療費】生活習慣病、特に高血圧性疾患、がんに係る医療費が高い。

女性の骨折に係る医療費が高い。

【健康状態】肥満者が多い、生活習慣病のリスク保有割合が高い。

【生活習慣】男性の飲酒頻度の高い人、習慣的喫煙者の割合が高い。

運動習慣のない人の割合が高い。



対策(案)

- 特定健診・保健指導実施率向上による生活習慣病（重症化）予防につなぐ。
- がん検診受診率向上による早期発見・早期治療につなぐ。
- 生活習慣病に関する正しい知識の普及や啓発、転倒・骨折を予防する筋力維持の大切さなど広く周知を行うことにより、生活習慣病予防・骨折予防につなぐ。

I 医療費統計

◆医療費統計にあたって

1 使用データについて

次の県内医療保険者における令和6年5月診療分レセプトデータを集計した。

- ・島根県内 19 市町村国民健康保険
- ・島根県医師国民健康保険組合
- ・全国健康保険協会島根支部
- ・島根県市町村職員共済組合
- ・島根県後期高齢者医療広域連合

2 分類方法（単位）

次の方法により分類する。

【制度（別）】

（1）国保

島根県内 19 市町村国民健康保険

島根県医師国民健康保険組合：「市町村別の状況」には含まない

（2）被用者保険

全国健康保険協会島根支部

島根県市町村職員共済組合

（3）後期高齢者

島根県後期高齢者医療広域連合

【診療区分（別）】

（1）入 院（食事・生活療養費を含む）

（2）入院外（調剤費用額を含む）

（3）歯 科

※調剤については、費用額のみ入院外に含め、件数は含めない。

【疾病分類】

レセプト 1 件につき 1 疾病（主病）を抽出し、社会保険表章用疾病分類表に従い分類（P 3、4「本統計における疾病分類表」参照）する。

なお、歯科レセプト及び疾病大分類「X I 消化器系の疾患」のうち、分類コード「1101」「1102」「1103」については、『歯科』と分類した。

3 生活習慣病の定義

次の分類コードを生活習慣病と定義する。

- ・悪性新生物：0201～0210
- ・糖 尿 病：0402
- ・脂質異常症：0403
- ・高血圧性疾患：0901
- ・虚血性心疾患：0902
- ・脳血管疾患：0904～0908

4 その他

本書掲載グラフのうち、端数処理の関係上、割合の合計が 100%にならない場合がある。

◆本統計における疾病分類表

大分類(21項目)	中分類(122項目)	
	コード	疾 病
I 感染症及び寄生虫症	0101	腸管感染症
	0102	結核
	0103	主として性的伝播様式をとる感染症
	0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患
	0105	ウイルス性肝炎
	0106	その他のウイルス性疾患
	0107	真菌症
	0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症
	0109	その他の感染症及び寄生虫症
II 新生物＜腫瘍＞	0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞
	0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞
	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞
	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞
	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞
	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞
	0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞
	0208	悪性リンパ腫
	0209	白血病
	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞
	0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他新生物＜腫瘍＞
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0301	貧血
	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	0401	甲状腺障害
	0402	糖尿病
	0403	脂質異常症
	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
V 精神及び行動の障害	0501	血管性及び詳細不明の認知症
	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害
	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
	0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
	0506	知的障害＜精神遅滞＞
	0507	その他の精神及び行動の障害
VI 神経系の疾患	0601	パーキンソン病
	0602	アルツハイマー病
	0603	てんかん
	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
	0605	自律神経系の障害
	0606	その他の神経系の疾患
VII 眼及び付属器の疾患	0701	結膜炎
	0702	白内障
	0703	屈折及び調節の障害
	0704	その他の眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0801	外耳炎
	0802	その他の外耳疾患
	0803	中耳炎
	0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患
	0805	メニエール病
	0806	その他の内耳疾患
	0807	その他の耳疾患
IX 循環器系の疾患	0901	高血圧性疾患
	0902	虚血性心疾患
	0903	その他の心疾患
	0904	くも膜下出血
	0905	脳内出血
	0906	脳梗塞
	0907	脳動脈硬化(症)
	0908	その他の脳血管疾患
	0909	動脈硬化(症)
	0911	低血圧(症)
	0912	その他の循環器系の疾患

大分類(21項目)	中分類(122項目)	
	コード	疾 病
X 呼吸器系の疾患	1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]
	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎
	1003	その他の急性上気道感染症
	1004	肺炎
	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	1006	アレルギー性鼻炎
	1007	慢性副鼻腔炎
	1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎
	1009	慢性閉塞性肺疾患
	1010	喘息
	1011	その他の呼吸器系の疾患
X I 消化器系の疾患	1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
	1105	胃炎及び十二指腸炎
	1106	痔核
	1107	アルコール性肝疾患
	1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)
	1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)
	1110	その他の肝疾患
	1111	胆石症及び胆のう炎
	1112	膵疾患
	1113	その他の消化器系の疾患
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1201	皮膚及び皮下組織の感染症
	1202	皮膚炎及び湿疹
	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1301	炎症性多発性関節障害
	1302	関節症
	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)
	1304	椎間板障害
	1305	頸腕症候群
	1306	腰痛症及び坐骨神経痛
	1307	その他の脊柱障害
	1308	肩の傷害<損傷>
	1309	骨の密度及び構造の障害
	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患
	1402	腎不全
	1403	尿路結石症
	1404	その他の腎尿路系の疾患
	1405	前立腺肥大(症)
	1406	その他の男性生殖器の疾患
	1407	月経障害及び閉経周辺期障害
	1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患
X V 妊娠、分娩及び産じょく	1501	流産
	1502	妊娠高血圧症候群
	1503	単胎自然分娩
	1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく
X VI 周産期に発生した病態	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害
	1602	その他の周産期に発生した病態
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	1701	心臓の先天奇形
	1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1901	骨折
	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷
	1903	熱傷及び腐食
	1904	中毒
	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響
X X II 特殊目的用コード	2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]
	2220	その他の特殊目的用コード(コロナウイルス感染症 2019)
X X 歯科	1101	う蝕
	1102	歯肉炎及び歯周疾患
	1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害

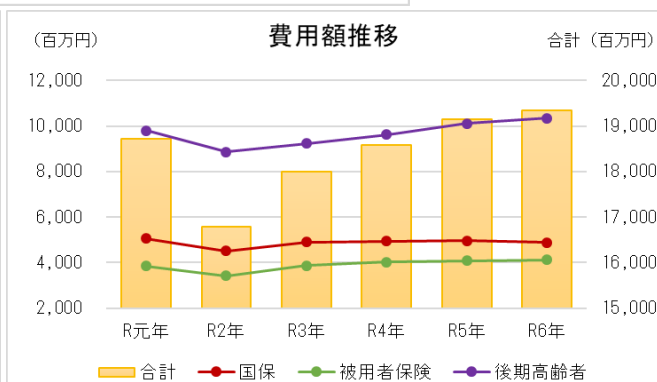
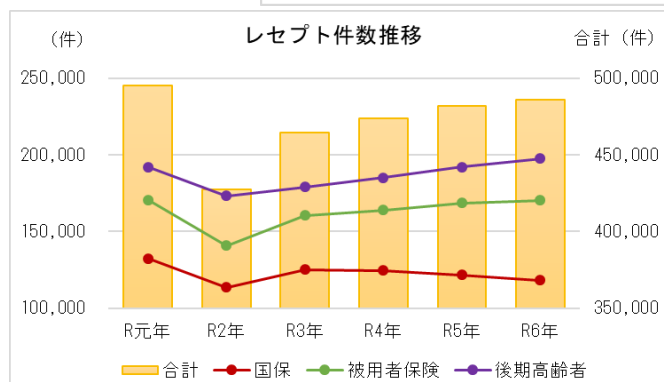
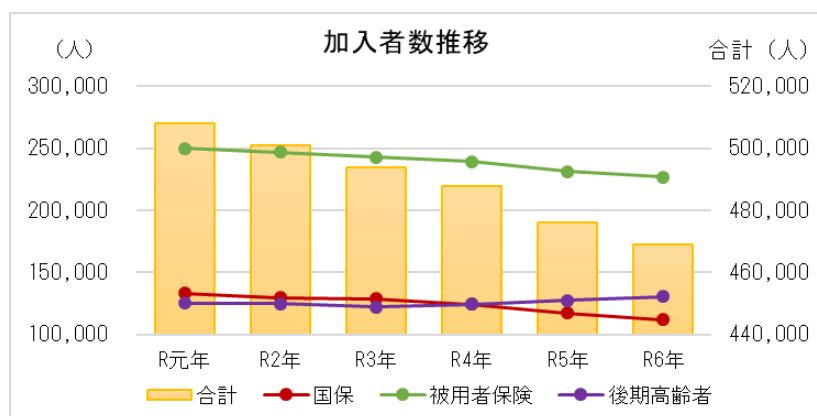
1 県全体及び制度別の状況

(1) 加入者数、レセプト件数、費用額

本統計における加入者数、レセプト件数及び費用額は下表のとおり。国保及び後期高齢者は全加入者のデータを、被用者保険は一部の保険者に係る加入者のデータを収集している。

制度	性別	加入者数（人）	レセプト件数（件）	費用額（円）
国保	男性	54,465	54,371	2,691,354,953
	女性	57,379	63,649	2,180,952,883
	計	111,844	118,020	4,872,307,836
被用者保険	男性	113,620	78,498	2,067,102,606
	女性	113,268	91,760	2,060,028,346
	計	226,888	170,258	4,127,130,952
後期高齢者	男性	50,524	78,164	4,598,937,449
	女性	79,872	119,521	5,737,974,969
	計	130,396	197,685	10,336,912,418
合計	男性	218,609	211,033	9,357,395,008
	女性	250,519	274,930	9,978,956,198
	計	469,128	485,963	19,336,351,206

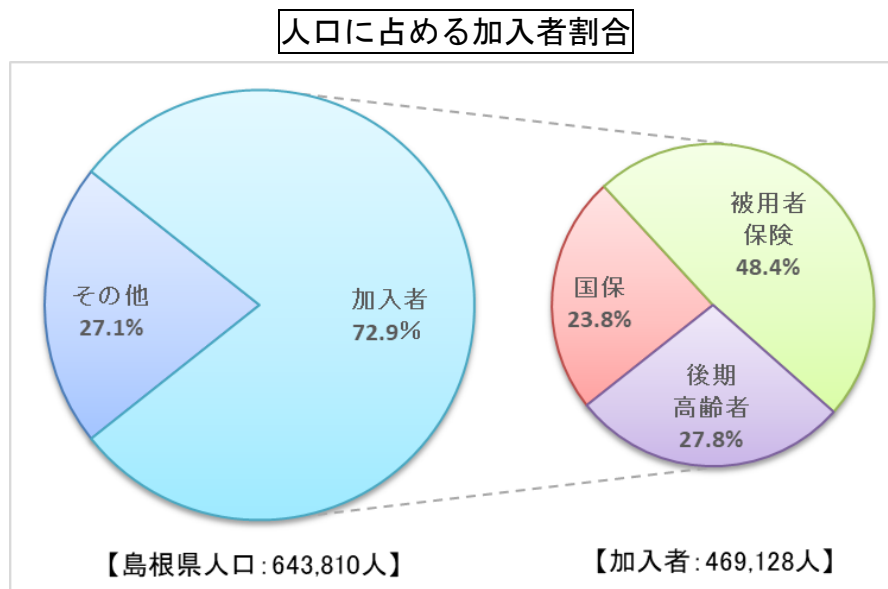
経年でみると、加入者数は減少しているが、レセプト件数及び費用額は増加傾向である。ただし、後期高齢者の加入者は微増、国保のレセプト件数及び費用額は減少傾向である。



① 加入者数

本統計における加入者数は、令和6年5月現在の合計で約47万人である。これは同時期の島根県人口約64万人（しまね統計情報データベース）のうちの72.9%に相当する。

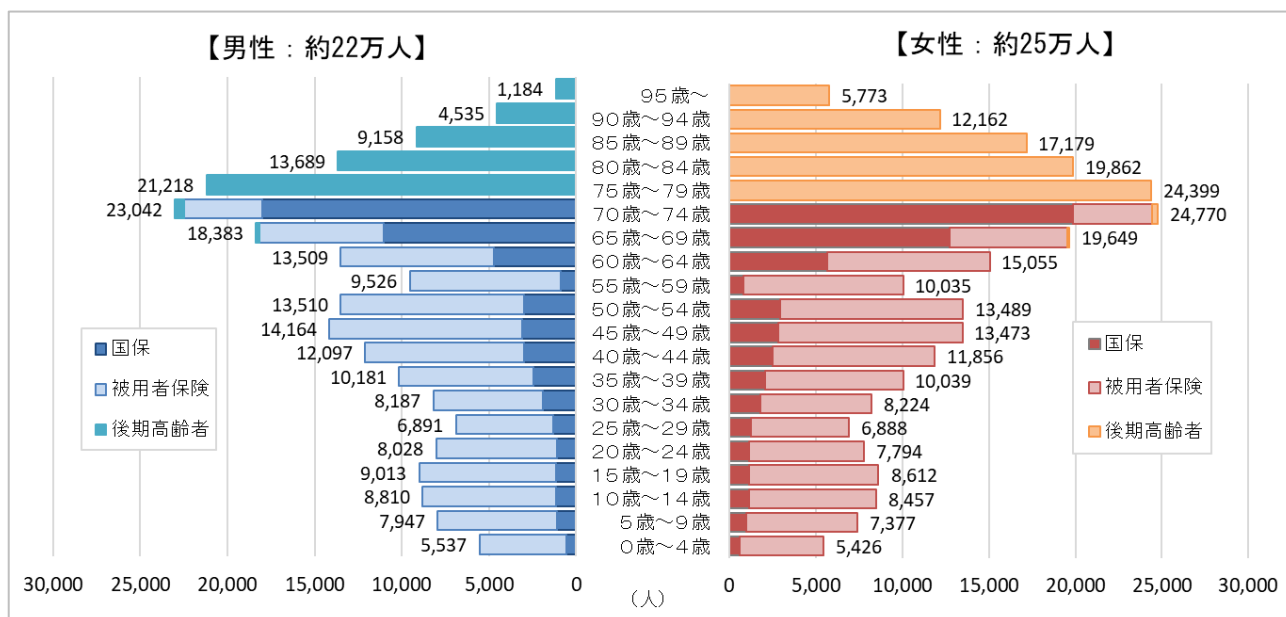
制度別の割合をみると、被用者保険が最も高く48.4%を占める。国保と後期高齢者を比較すると、国保は23.8%、後期高齢者は27.8%。



加入者数を年齢階層別にみると、70歳～74歳が最も多い。

男女別にみると、54歳までは差がみられないが、55歳以上では女性が多く、加齢とともに差が大きくなる。

男女別年齢階層別制度別加入者の状況



② レセプト件数

令和6年5月診療分のレセプト件数は約49万件である。

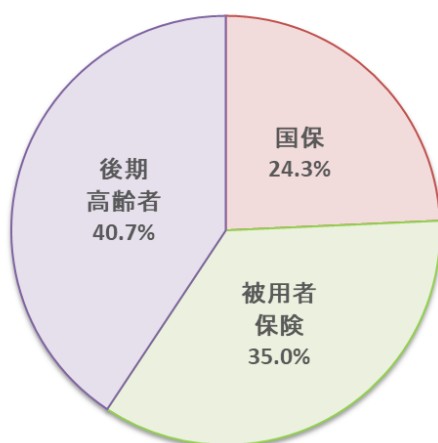
加入者数と同様に、男性より女性が多い。診療区分別では、入院外が最も多い。

後期高齢者は加入者数の割合が27.8%であるのに対し、レセプト件数は40.7%と、最も高い（P5参照）。

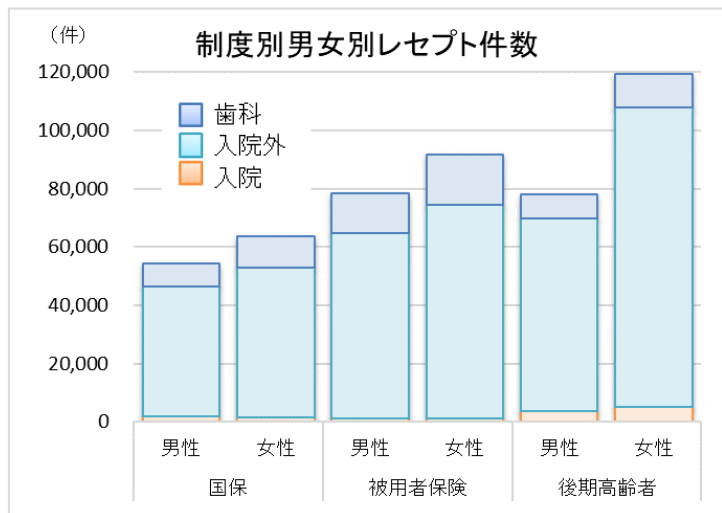
（件）

制度	性別	入 院	入院外	歯 科	合 計
国保	男性	1,919	44,603	7,849	54,371
	女性	1,438	51,546	10,665	63,649
	計	3,357	96,149	18,514	118,020
被用者保険	男性	1,026	63,661	13,811	78,498
	女性	1,053	73,385	17,322	91,760
	計	2,079	137,046	31,133	170,258
後期高齢者	男性	3,742	66,159	8,263	78,164
	女性	5,051	102,829	11,641	119,521
	計	8,793	168,988	19,904	197,685
合計	男性	6,687	174,423	29,923	211,033
	女性	7,542	227,760	39,628	274,930
	計	14,229	402,183	69,551	485,963

制度別レセプト件数割合



制度別男女別レセプト件数



③ 費用額

令和6年5月診療分の費用額は、約193億円である。

男女別にみると、加入者数、レセプト件数と同様に、男性より女性が高い。

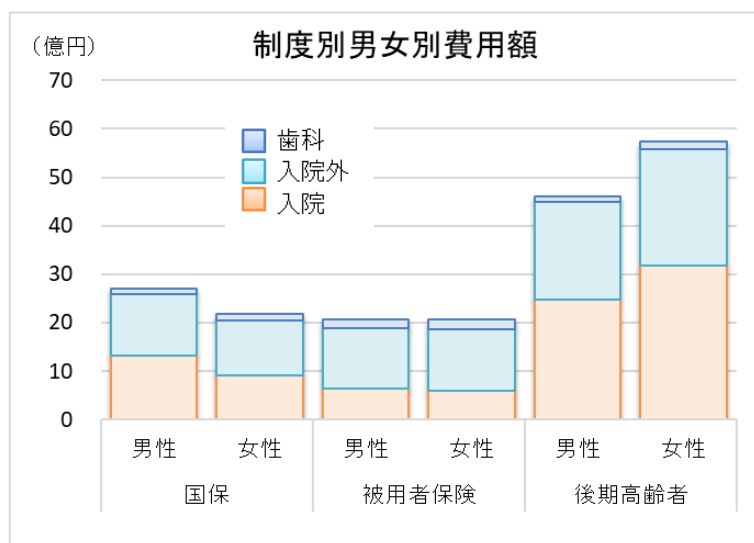
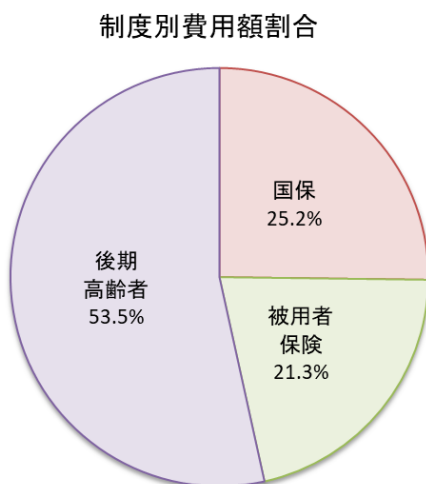
入院については、費用額が最も高いがレセプト件数は最も低い。

後期高齢者は加入者数の割合が27.8%であるのに対し、費用額は53.5%と、最も高い（P5参照）。

(円)

制度	性別	入 院	入院外	歯 科	合 計
国保	男性	1,320,411,603	1,265,164,140	105,779,210	2,691,354,953
	女性	908,741,271	1,138,698,060	133,513,552	2,180,952,883
	計	2,229,152,874	2,403,862,200	239,292,762	4,872,307,836
被用者保険	男性	650,189,216	1,246,121,440	170,791,950	2,067,102,606
	女性	584,802,536	1,270,475,880	204,749,930	2,060,028,346
	計	1,234,991,752	2,516,597,320	375,541,880	4,127,130,952
後期高齢者	男性	2,466,931,247	2,014,558,930	117,447,272	4,598,937,449
	女性	3,170,576,137	2,402,111,110	165,287,722	5,737,974,969
	計	5,637,507,384	4,416,670,040	282,734,994	10,336,912,418
合計	男性	4,437,532,066	4,525,844,510	394,018,432	9,357,395,008
	女性	4,664,119,944	4,811,285,050	503,551,204	9,978,956,198
	計	9,101,652,010	9,337,129,560	897,569,636	19,336,351,206

※調剤費用額は、入院外に含む



(2) 医療費諸率

① 受診率

$$\text{受診率 (\%)} = \text{レセプト件数 (件)} \div \text{加入者数 (人)} \times 100$$

受診率は、合計で 103.6% と 100% を超している。

男女別では女性が高く、診療区分別では入院外、制度別では後期高齢者が最も高い。

(%)

制度	性別	入 院	入院外	歯 科	合 計
国保	男性	3.5	81.9	14.4	99.8
	女性	2.5	89.8	18.6	110.9
	計	3.0	86.0	16.6	105.5
被用者保険	男性	0.9	56.0	12.2	69.1
	女性	0.9	64.8	15.3	81.0
	計	0.9	60.4	13.7	75.0
後期高齢者	男性	7.4	130.9	16.4	154.7
	女性	6.3	128.7	14.6	149.6
	計	6.7	129.6	15.3	151.6
合計	男性	3.1	79.8	13.7	96.5
	女性	3.0	90.9	15.8	109.7
	計	3.0	85.7	14.8	103.6

② 1 件当たり費用額

$$\text{1 件当たり費用額 (円)} = \text{費用額 (円)} \div \text{レセプト件数 (件)}$$

1 件当たり費用額は、合計で 39,790 円である。男女別では男性が高く、診療区分別では入院、制度別では後期高齢者が最も高い。

(円)

制度	性別	入 院	入院外	歯 科	合 計
国保	男性	688,073	28,365	13,477	49,500
	女性	631,948	22,091	12,519	34,265
	計	664,031	25,001	12,925	41,284
被用者保険	男性	633,713	19,574	12,366	26,333
	女性	555,368	17,312	11,820	22,450
	計	594,032	18,363	12,063	24,240
後期高齢者	男性	659,255	30,450	14,214	58,837
	女性	627,713	23,360	14,199	48,008
	計	641,136	26,136	14,205	52,290
合計	男性	663,606	25,948	13,168	44,341
	女性	618,420	21,124	12,707	36,296
	計	639,655	23,216	12,905	39,790

※調剤費用額は入院外費用額に含む

③ 1人当たり費用額

$$1人当たり費用額(円) = 費用額(円) \div 加入者数(人)$$

1人当たり費用額は、合計で41,218円である。

男女別では男性が高く、診療区分別では入院外、制度別では後期高齢者が最も高い。

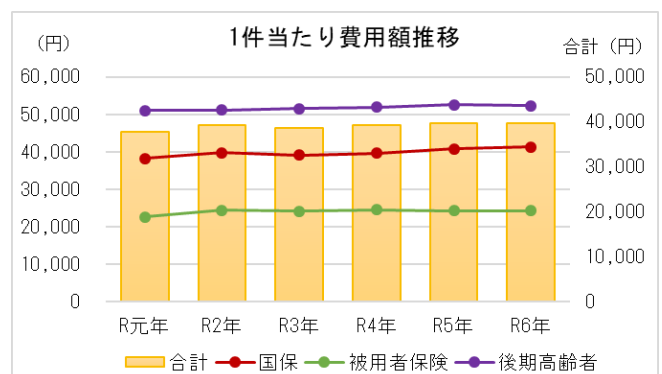
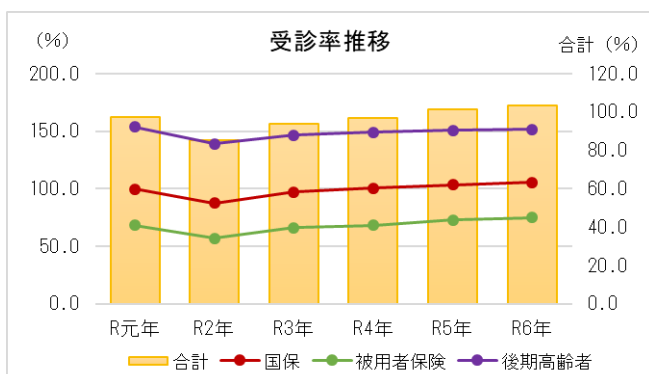
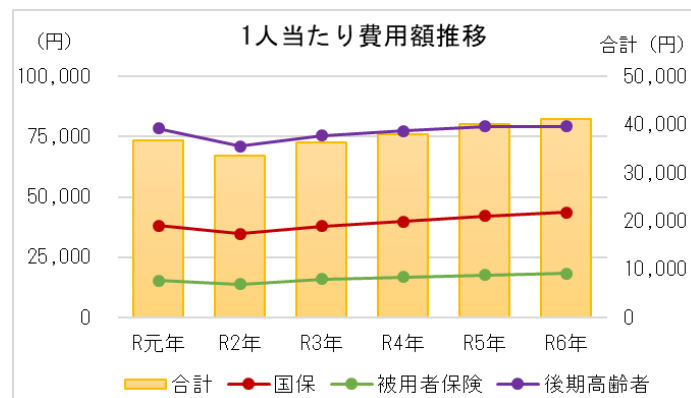
(円)

制度	性別	入 院	入院外	歯 科	合 計
国保	男性	24,243	23,229	1,942	49,414
	女性	15,838	19,845	2,327	38,010
	計	19,931	21,493	2,140	43,563
被用者保険	男性	5,722	10,967	1,503	18,193
	女性	5,163	11,217	1,808	18,187
	計	5,443	11,092	1,655	18,190
後期高齢者	男性	48,827	39,873	2,325	91,025
	女性	39,696	30,075	2,069	71,840
	計	43,234	33,871	2,168	79,273
合計	男性	20,299	20,703	1,802	42,804
	女性	18,618	19,205	2,010	39,833
	計	19,401	19,903	1,913	41,218

※調剤費用額は入院外に含む

④ 諸率の推移

経年でみると、1人当たり費用額は増加傾向。このことは、1件当たり費用額は横ばいであるため、受診率が増加したためと思われる。



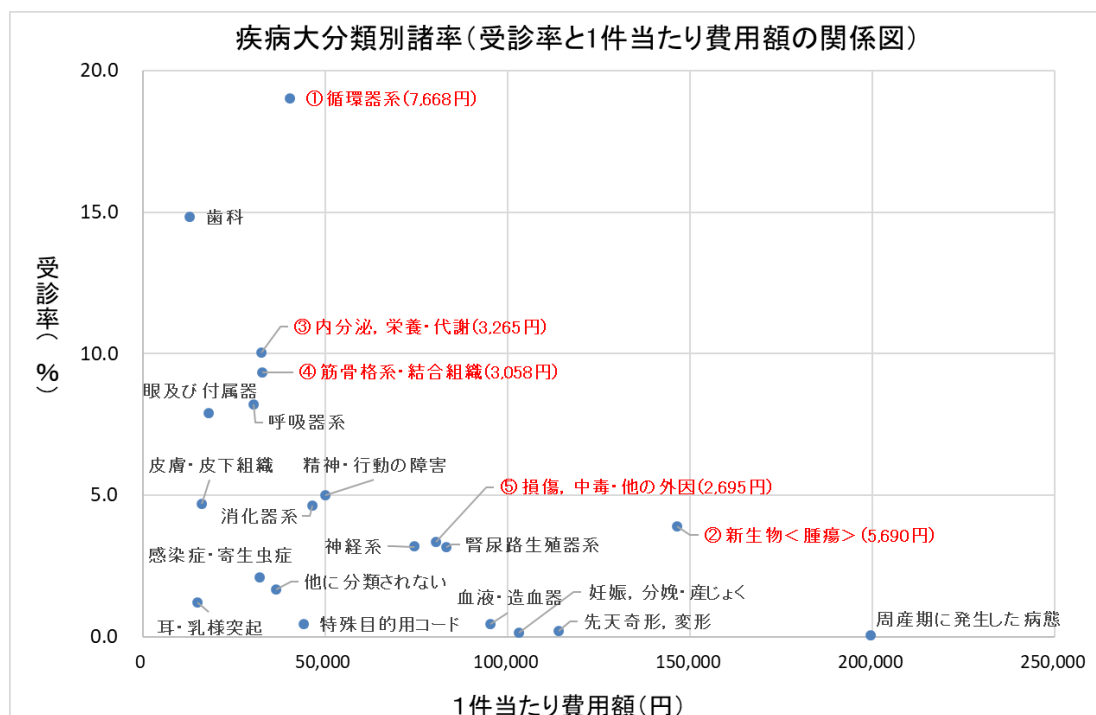
(3) 疾病統計

① 大分類別医療費諸率

疾病大分類別に1人当たり費用額をみると、「循環器系の疾患」が最も高く、「新生物<腫瘍>」が続く。循環器系疾患は受診率、「新生物<腫瘍>」は1件当たり費用額が高いことが1人当たり費用額の高さに起因する。

※表中の塗りつぶしは上位5疾病

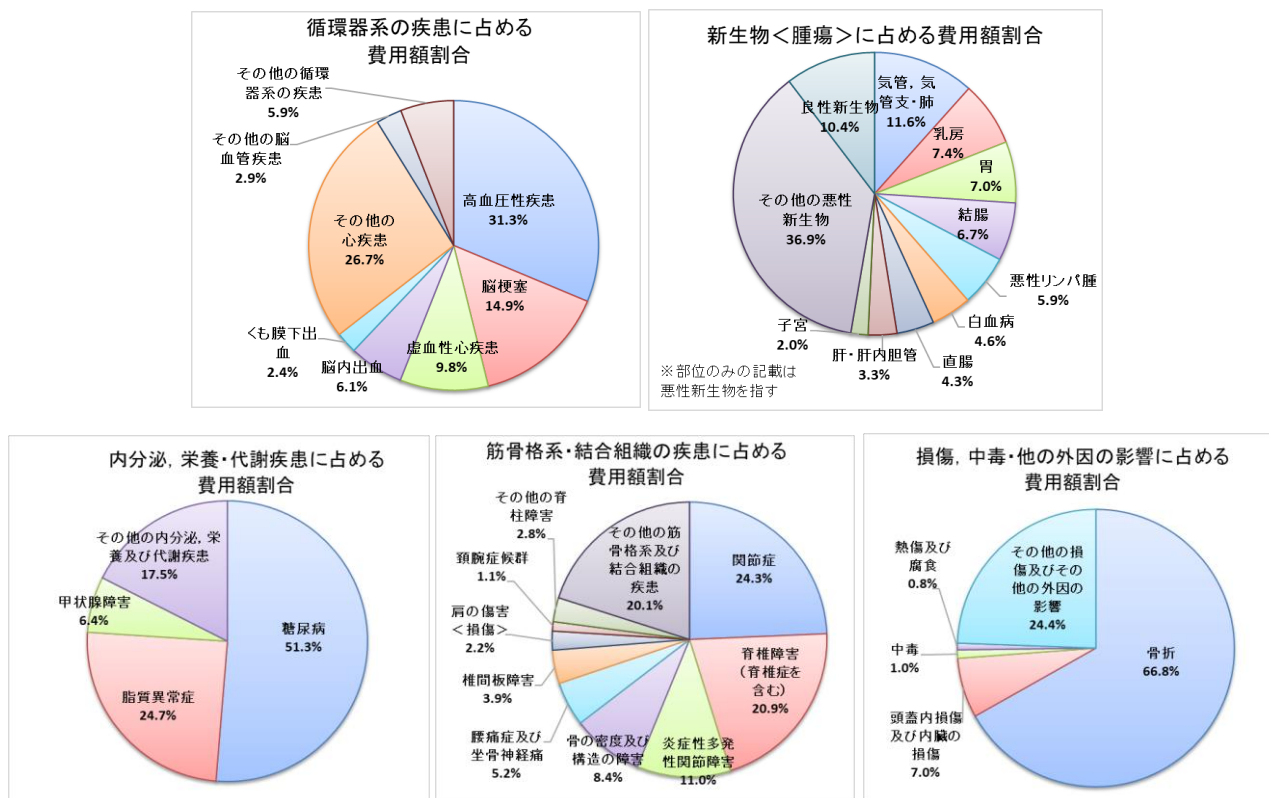
疾病(大分類)	件数 (件)	費用額(円)	受診率 (%)	1件当たり 費用額(円)	1人当たり 費用額(円)
感染症・寄生虫症	9,884	316,297,326	2.1	32,001	674
新生物<腫瘍>	18,238	2,669,456,744	3.9	146,368	5,690
血液・造血器疾患、免疫機構障害	2,077	197,805,808	0.4	95,236	422
内分泌、栄養・代謝疾患	47,059	1,531,556,113	10.0	32,545	3,265
精神・行動の障害	23,428	1,174,063,464	5.0	50,114	2,503
神経系の疾患	14,959	1,115,086,405	3.2	74,543	2,377
眼及び付属器の疾患	37,079	671,638,168	7.9	18,114	1,432
耳・乳様突起の疾患	5,600	83,847,384	1.2	14,973	179
循環器系の疾患	89,243	3,597,472,663	19.0	40,311	7,668
呼吸器系の疾患	38,451	1,165,514,725	8.2	30,312	2,484
消化器系の疾患(歯科を除く)	21,776	1,014,577,164	4.6	46,592	2,163
皮膚・皮下組織の疾患	21,991	358,155,106	4.7	16,286	763
筋骨格系・結合組織の疾患	43,842	1,434,537,543	9.3	32,721	3,058
腎尿路生殖器系の疾患	14,858	1,235,044,480	3.2	83,123	2,633
妊娠、分娩・産じょく	636	65,588,864	0.1	103,127	140
周産期に発生した病態	232	46,267,770	0.0	199,430	99
先天奇形、変形・染色体異常	930	106,112,414	0.2	114,099	226
他に分類されないもの	7,766	283,047,691	1.7	36,447	603
損傷、中毒・他の外因の影響	15,712	1,264,262,219	3.3	80,465	2,695
特殊目的用コード	2,034	89,691,914	0.4	44,096	191
歯科	69,551	897,569,636	14.8	12,905	1,913
分類不明	617	18,757,605	0.1	30,401	40
総計	485,963	19,336,351,206	103.6	39,790	41,218



② 中分類別費用額

大分類別費用額上位 5 疾病における中分類別費用額割合をみると、「高血圧性疾患」、「糖尿病」といった生活習慣病が占める割合が高い。また、損傷、中毒その他外因の影響では、「骨折」が最も高い。

＜大分類別費用額上位 5 疾病に占める中分類費用額の割合＞



なお、中分類別費用額上位 10 疾病は次のとおり。

＜費用額上位 10 疾病＞

順位	制度計			国保	被用者保険	後期高齢者
	男女計	男性	女性			
1位	高血圧性疾患	他の悪性新生物＜腫瘍＞	高血圧性疾患	他の悪性新生物＜腫瘍＞	歯科	高血圧性疾患
2位	他の悪性新生物＜腫瘍＞	高血圧性疾患	骨折	統合失調症、妄想性障害	高血圧性疾患	他の心疾患
3位	他の心疾患	他の心疾患	歯科	歯科	他の悪性新生物＜腫瘍＞	骨折
4位	歯科	腎不全	他の心疾患	高血圧性疾患	他の消化器系の疾患	他の悪性新生物＜腫瘍＞
5位	骨折	糖尿病	糖尿病	腎不全	糖尿病	糖尿病
6位	糖尿病	歯科	他の悪性新生物＜腫瘍＞	糖尿病	他の心疾患	脳梗塞
7位	腎不全	脳梗塞	他の消化器系の疾患	他の神経系の疾患	他の神経系の疾患	腎不全
8位	他の消化器系の疾患	他の消化器系の疾患	関節症	他の心疾患	良性新生物・他の新生物＜腫瘍＞	他の呼吸器系の疾患
9位	脳梗塞	虚血性心疾患	統合失調症、妄想性障害	他の消化器系の疾患	脂質異常症	他の消化器系の疾患
10位	他の神経系の疾患	他の呼吸器系の疾患	脂質異常症	気管、肺の悪性新生物＜腫瘍＞	皮膚炎・湿疹	歯科

③ 生活習慣病

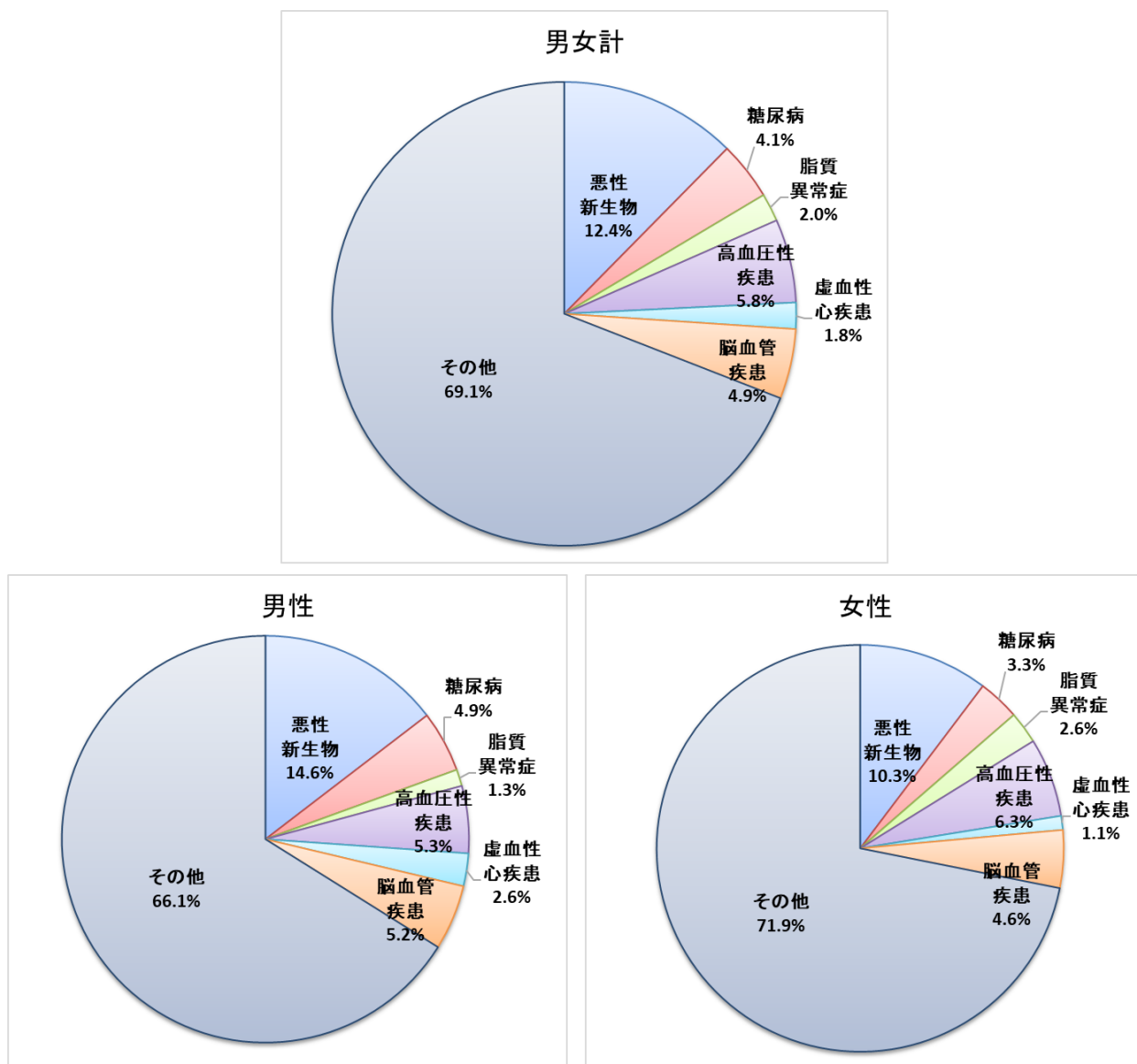
次の疾病分類コード（P3、4 参照）を生活習慣病と定義する。

- 悪性新生物：0201～0210
- 糖 尿 病：0402
- 脂 質 異 常 症：0403
- 高血圧性疾患：0901
- 虚血性心疾患：0902
- 脳 血 管 疾 患：0904～0908

ア 費用額に占める生活習慣病の割合

費用額に占める生活習慣病の割合は、男女計で約 31%である。内訳は、「悪性新生物」が最も高く、「高血圧性疾患」が次いで高い。

男女別では、男性は約 34%、女性は約 28%を生活習慣病が占めており、男女とも「悪性新生物」が最も高い。

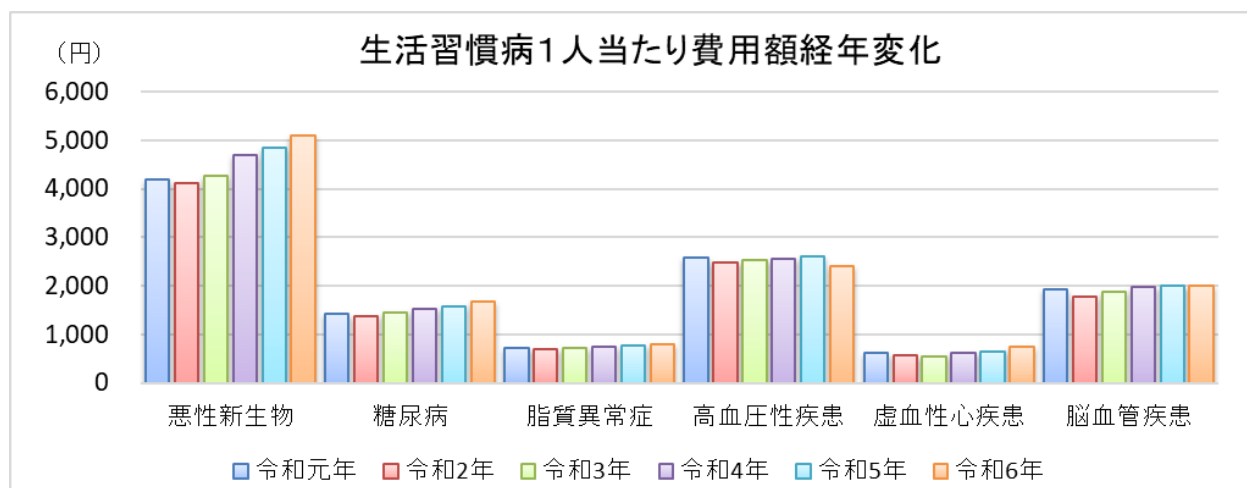
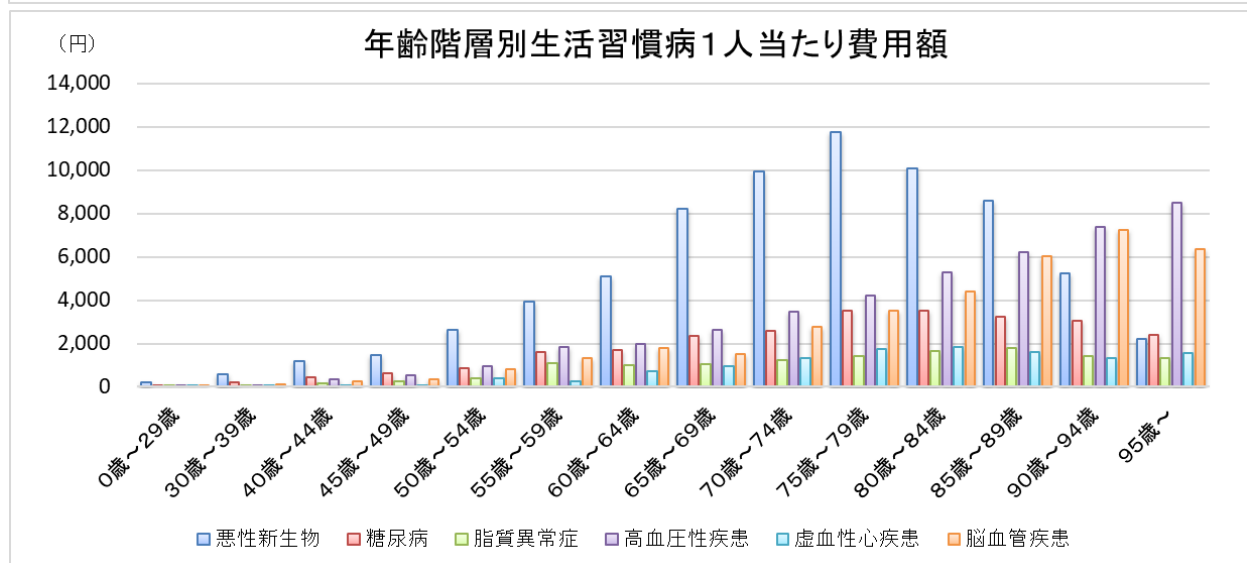
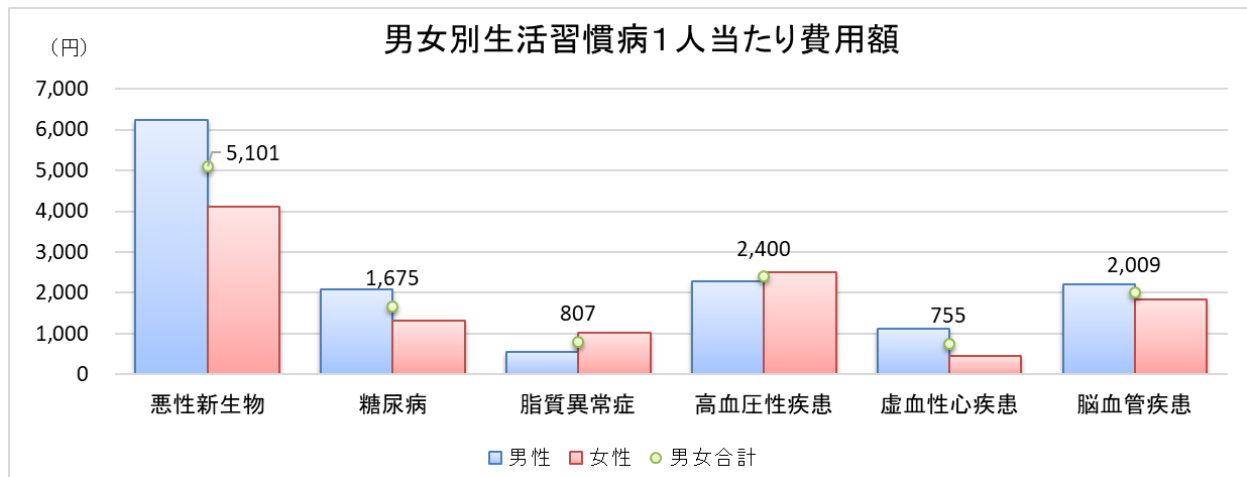


イ 生活習慣病の1人当たり費用額

1人当たり費用額を男女別に比較すると、「脂質異常症」及び「高血圧性疾患」は女性が高く、その他の疾病については男性が高い。

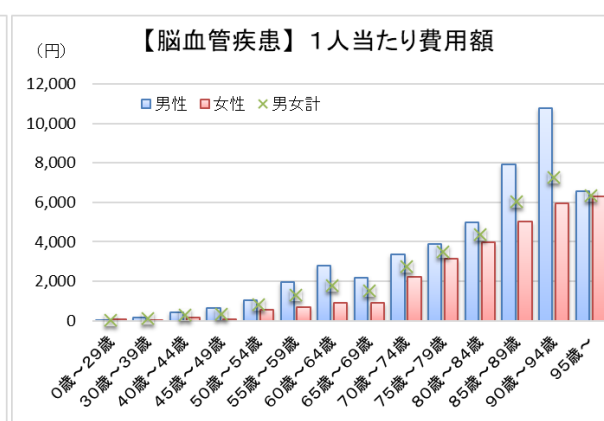
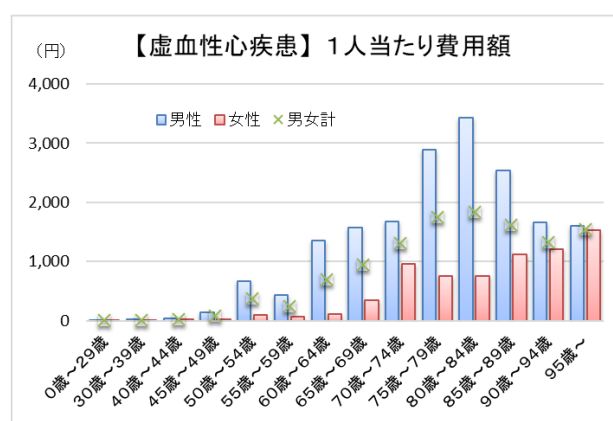
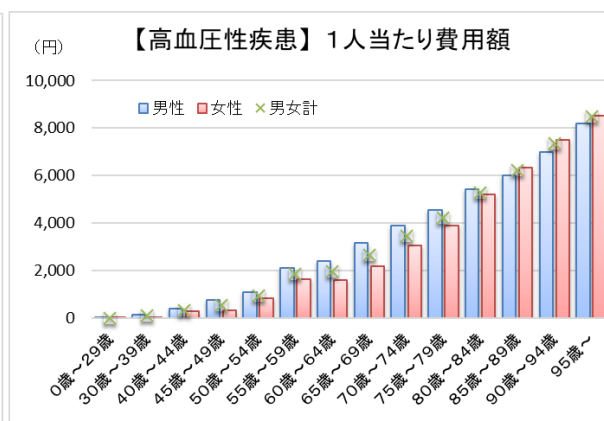
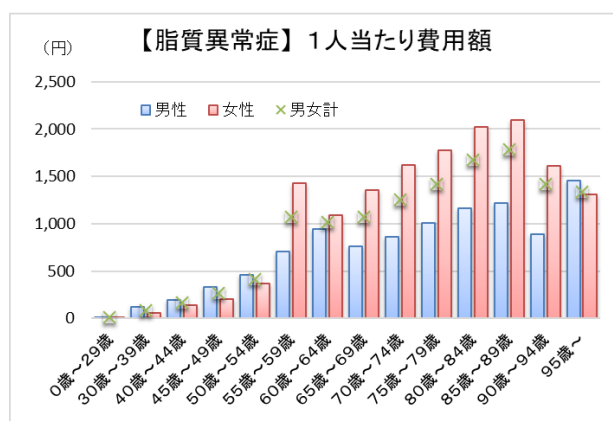
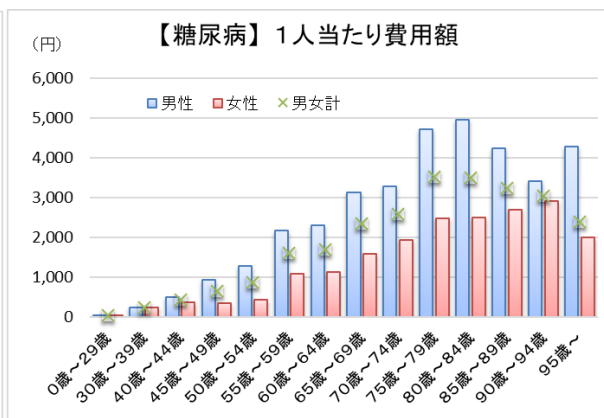
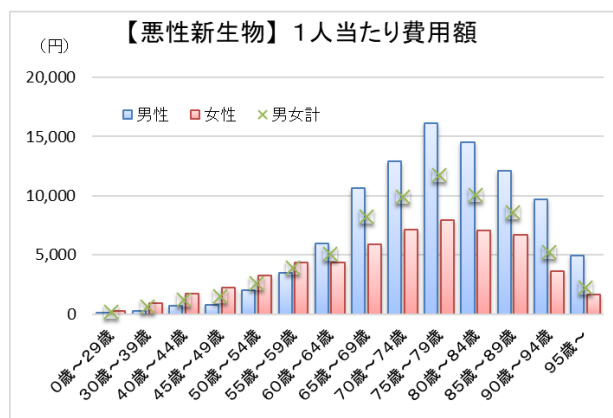
年齢階層別にみると、ほとんどの疾病は加齢とともに増加の傾向がみられるが、「悪性新生物」は75歳～79歳までは増加し、以降減少に転じる。

経年で比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響から令和2年は一旦減少したが、その後、「悪性新生物」、「糖尿病」等増加傾向にある疾病がある。



1人当たり費用額について性年齢階層別に比較すると、「高血圧性疾患」は、男女とも加齢とともに増加の傾向がみられるが、他の疾病では75歳～89歳に最も高くなる。

なお、脂質異常症のみ女性が高い傾向にある。

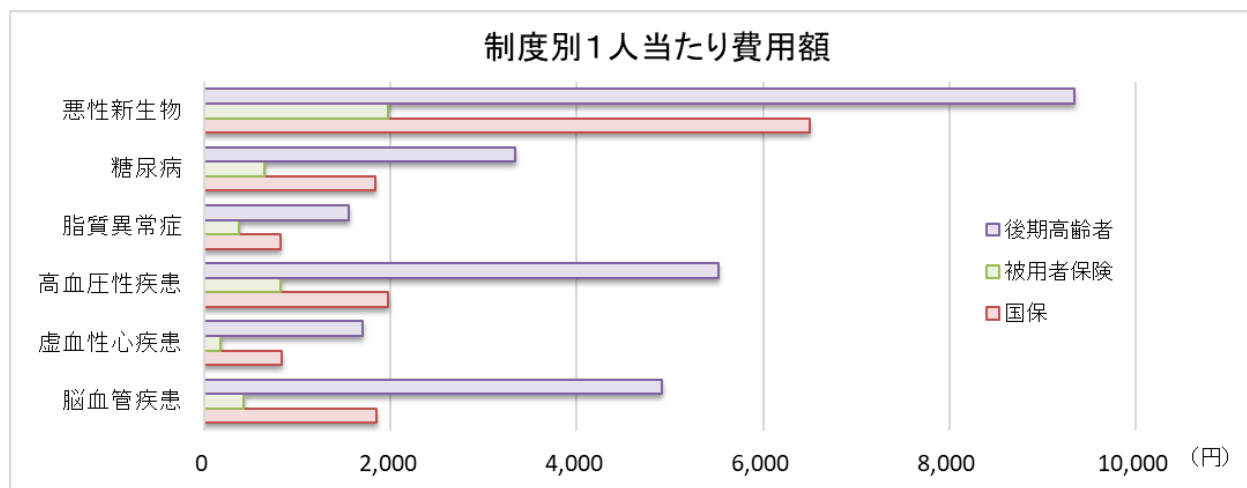
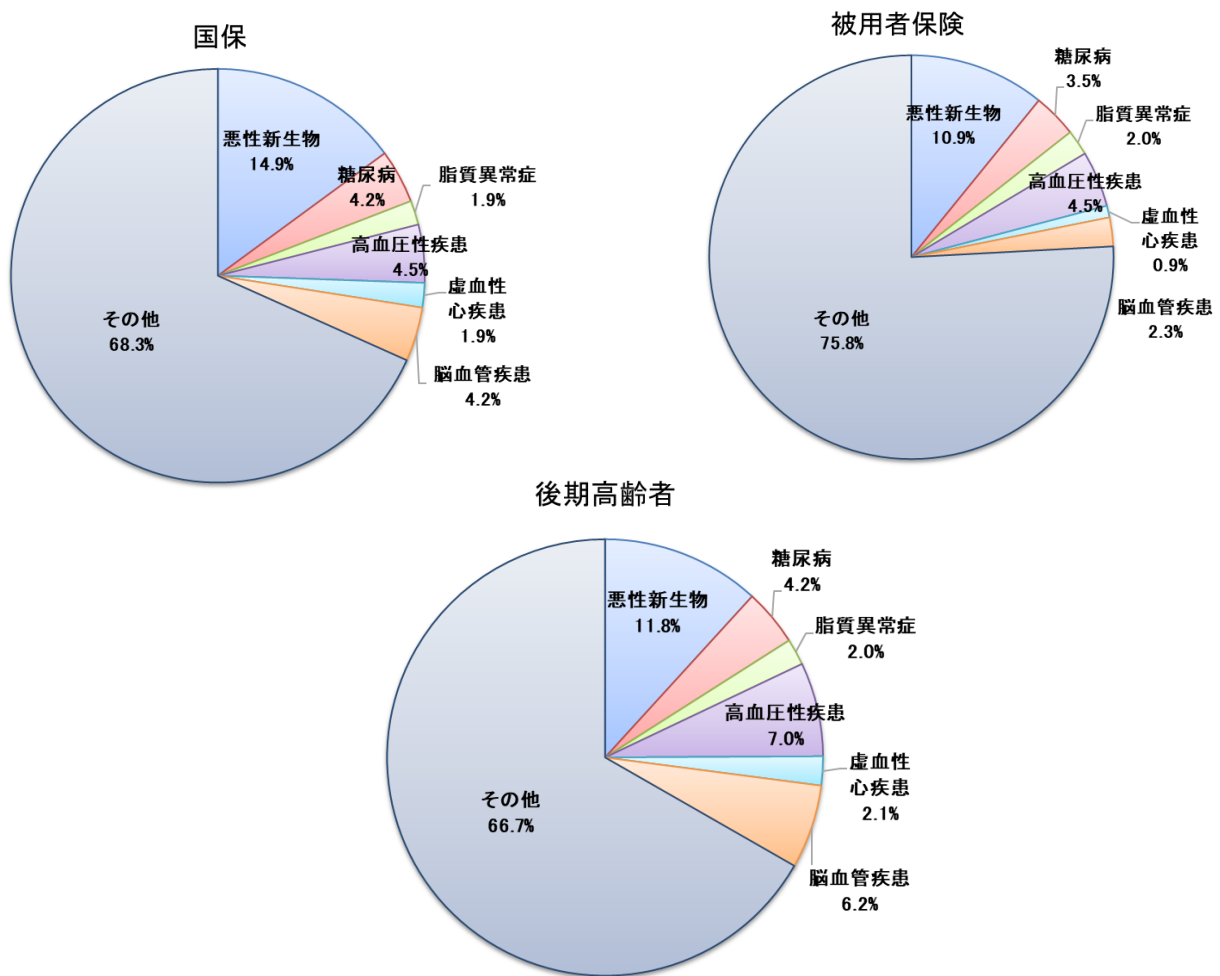


ウ 制度別生活習慣病の状況

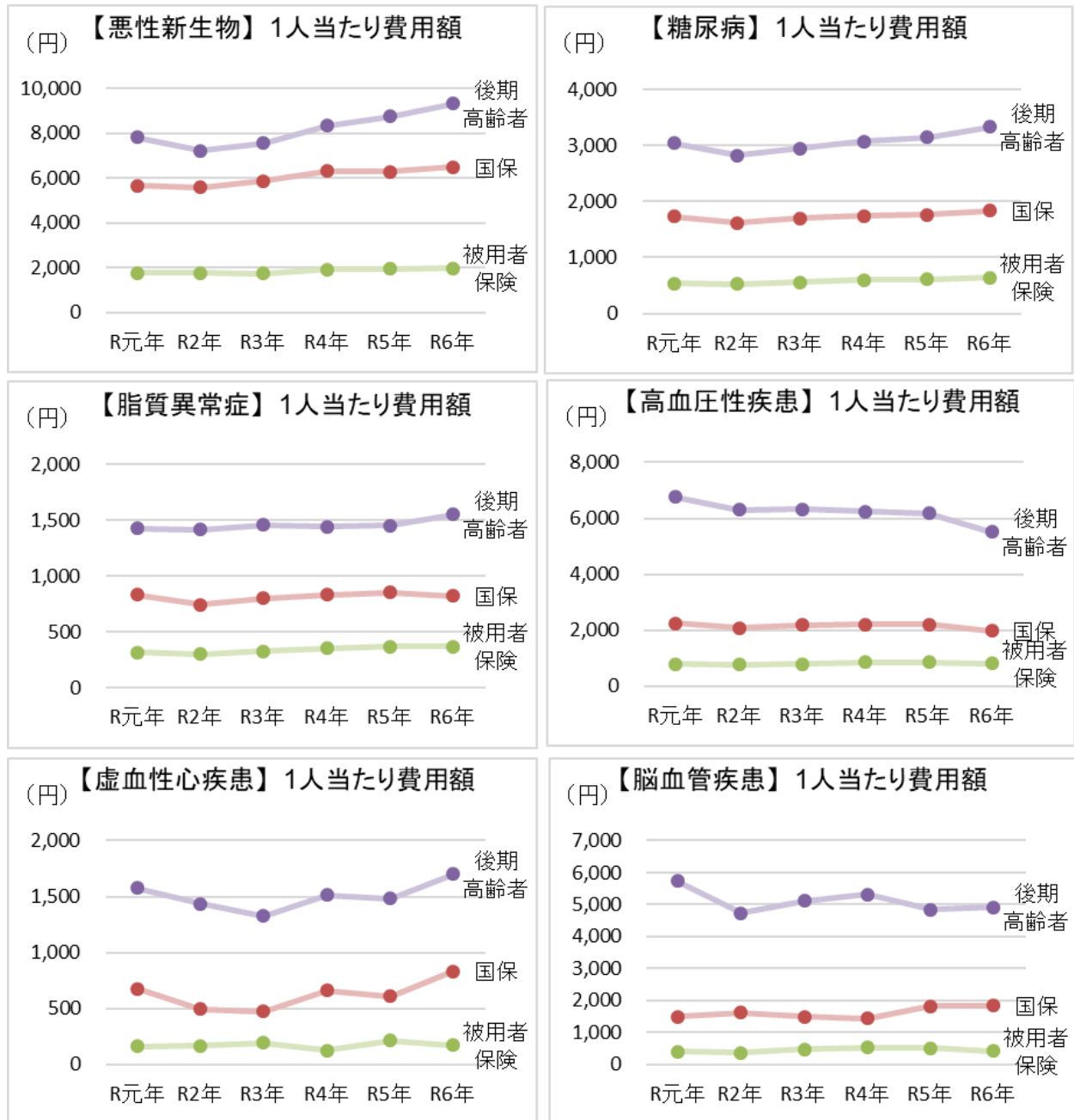
費用額に占める生活習慣病の割合は、国保及び後期高齢者が 30%を超している状況に対して、被用者保険は約 24%と低い。

なお、全ての制度において「悪性新生物」が最も高く、次いで「高血圧性疾患」が高い。3 番目に高い疾病は、国保は「糖尿病」と「脳血管疾患」同様、後期高齢者が「脳血管疾患」、被用者保険が「糖尿病」である。

制度別 1 人当たり費用額は、すべての生活習慣病において後期高齢者が高く、国保が次いで高い。



経年で比較すると、「悪性新生物」、「糖尿病」、「脂質異常症」は増加傾向にある。



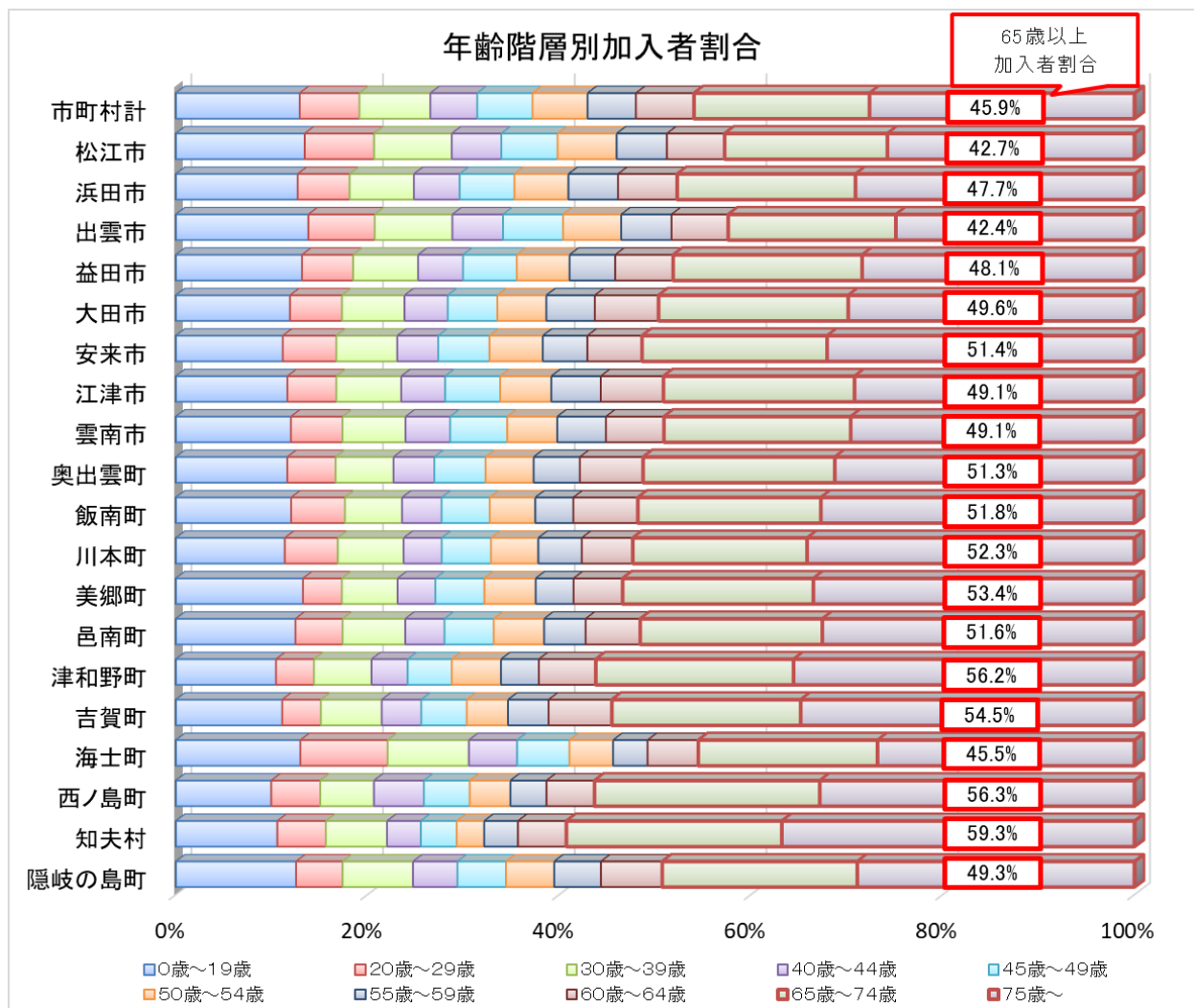
2 市町村別の状況

※市町村別の状況には、島根県医師国民健康保険組合のデータを含まないため、市町村計と前章の島根県（合計）とは一致しない。

（１）加入者数

本統計における加入者のうち 65 歳以上の割合は、市町村計で 45.9%を占める。
市町村別にみると知夫村が最も高く 59.3%。

なお、19 市町村のうち 10 市町村が 50%を超えている。



① 医療費諸率

市町村	受診率（％）	１件当たり費用額（円）	１人当たり費用額（円）
松江市	106.11	37,704	40,007
浜田市	107.73	38,673	41,660
出雲市	102.59	39,554	40,577
益田市	106.49	37,811	40,264
大田市	106.97	42,332	45,282
安来市	104.14	44,144	45,973
江津市	99.06	45,258	44,834
雲南市	102.32	41,056	42,009
奥出雲町	94.69	41,071	38,888
飯南町	99.06	42,400	42,001
川本町	92.82	52,897	49,097
美郷町	109.89	44,642	49,059
邑南町	99.63	38,879	38,737
津和野町	111.93	41,810	46,798
吉賀町	102.35	40,432	41,382
海士町	79.82	51,796	41,343
西ノ島町	88.47	44,626	39,479
知夫村	102.42	42,127	43,148
隠岐の島町	82.91	43,426	36,005
市町村計	103.71	39,825	41,302

1人当たり費用額が最も高い川本町を市町村計と比較すると、受診率は低いが1件当たり費用額が高い。次いで1人当たり費用額が高い美郷町は、受診率、1件当たり費用額ともに高く、大田市、安来市及び津和野町も同様である。出雲市及び邑南町は、受診率、1件当たり費用額ともに市町村計より低い。



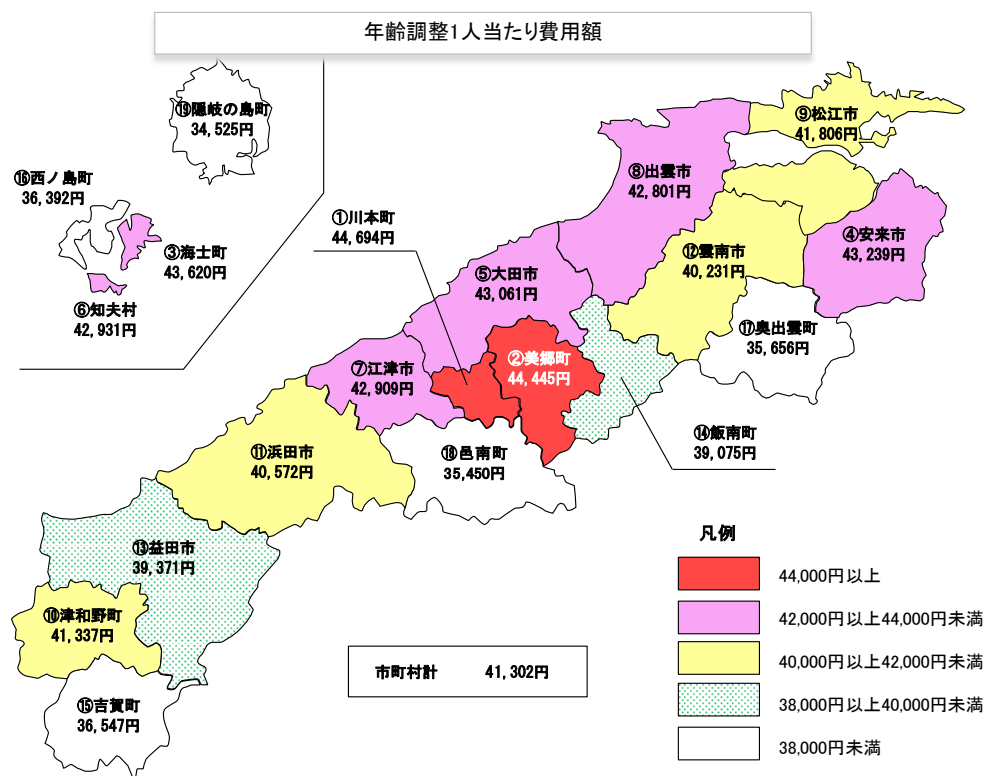
② 年齢調整 1 人当たり費用額

1 人当たり費用額は、加入者の年齢構成が影響すると考えられることから、直接法による年齢調整を行った。

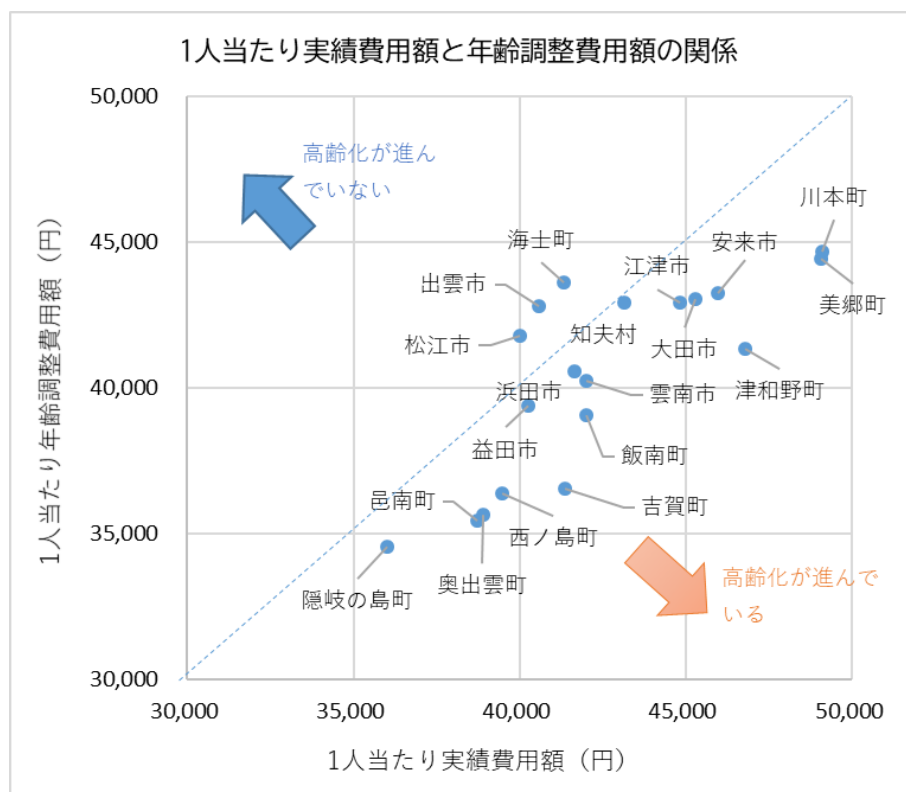
直接法による年齢調整 1 人当たり費用額

…各市町村の年齢階層別 1 人当たり費用額を算出して計算

$$= \Sigma (\text{市町村別年齢階層別 1 人当たり費用額} \times \text{年齢階層別基準人口}) / \text{市町村計加入者}$$



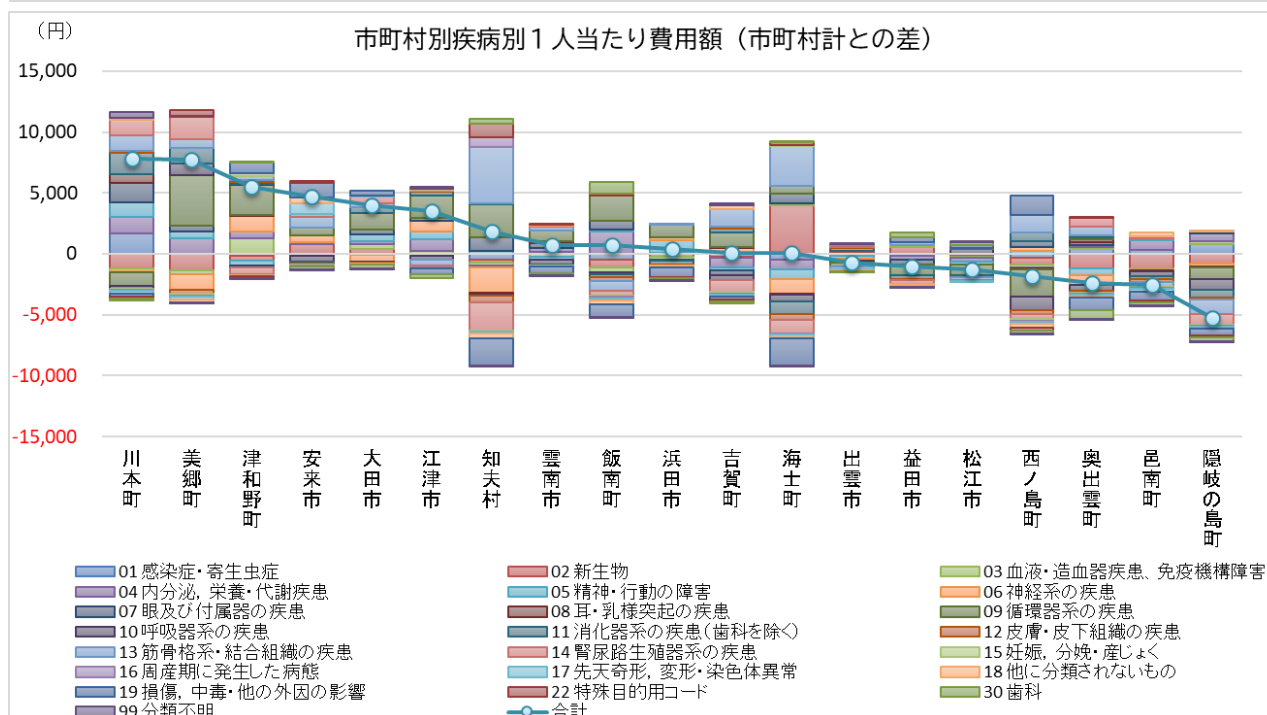
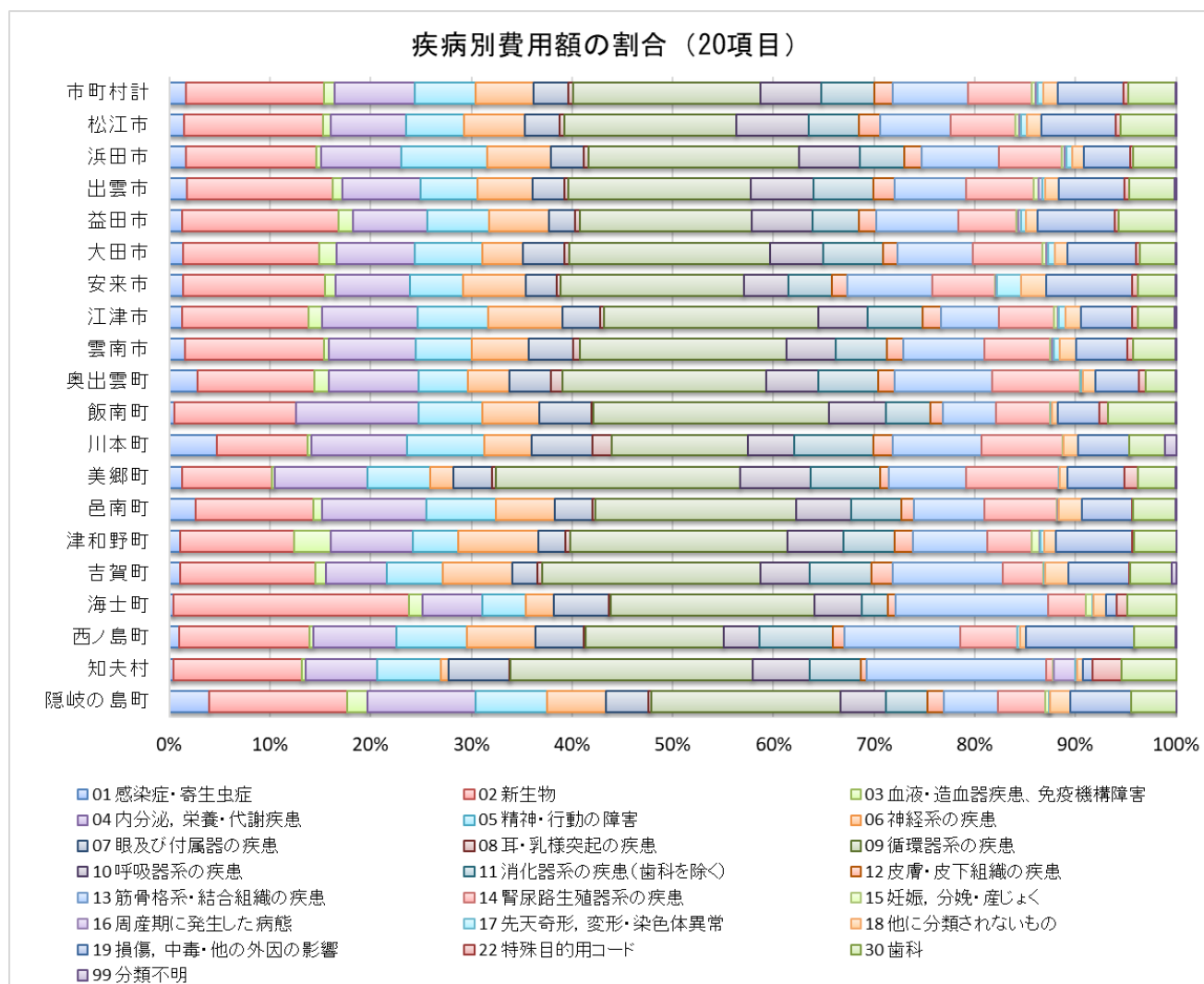
< 参考 >



(3) 疾病統計

① 大分類別費用額

総費用額に占める疾病大分類別費用額の割合をみると、海士町を除く市町村で「循環器系の疾患」が最も高い。



② 中分類別 1 人当たり費用額

疾病中分類別 1 人当たり費用額を市町村別にみると、9 市町村で「高血圧性疾患」が 1 位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	糖尿病	腎不全	他の呼吸器系の疾患	他の消化器系の疾患	他の神経系の疾患
浜田市	高血圧性疾患	他の心疾患	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	統合失調症、妄想性障害	腎不全	脳梗塞	骨折	アルツハイマー病
出雲市	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	歯科	他の心疾患	腎不全	糖尿病	他の消化器系の疾患	脳梗塞	他の神経系の疾患
益田市	骨折	高血圧性疾患	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	脳梗塞	他の心疾患	腎不全	他の消化器系の疾患	統合失調症、妄想性障害
大田市	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	歯科	統合失調症、妄想性障害	虚血性心疾患	他の消化器系の疾患
安来市	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	他の心疾患	高血圧性疾患	歯科	糖尿病	腎不全	他の神経系の疾患	他に分類されないもの	他の消化器系の疾患
江津市	高血圧性疾患	他の心疾患	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	歯科	腎不全	他の消化器系の疾患	統合失調症、妄想性障害	他の神経系の疾患
雲南市	他の心疾患	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	歯科	腎不全	他の消化器系の疾患	骨折	他の眼・付属器の疾患	脳梗塞
奥出雲町	高血圧性疾患	他の心疾患	糖尿病	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	脊椎障害(脊椎症を含む)	歯科	脂質異常症	他の眼・付属器の疾患	他の筋骨格系・結合組織の疾患
飯南町	他の心疾患	高血圧性疾患	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	脂質異常症	統合失調症、妄想性障害	骨折	他の内分泌、栄養・代謝疾患	他の神経系の疾患
川本町	糖尿病	高血圧性疾患	腎不全	骨折	他の消化器系の疾患	歯科	他の心疾患	統合失調症、妄想性障害	関節症	屈折・調節の障害
美郷町	高血圧性疾患	くも膜下出血	糖尿病	他の心疾患	脳梗塞	他の消化器系の疾患	歯科	腎不全	統合失調症、妄想性障害	骨折
邑南町	糖尿病	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	虚血性心疾患	脳梗塞	骨折	腎不全	他の呼吸器系の疾患	脂質異常症
津和野町	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系の疾患	他の血液・造血器の疾患	糖尿病	脳梗塞	アルツハイマー病
吉賀町	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の心疾患	歯科	骨折	他の神経系の疾患	他の筋骨格系・結合組織の疾患	脳梗塞	統合失調症、妄想性障害	糖尿病
海士町	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の心疾患	歯科	白内障	脳梗塞	他の筋骨格系・結合組織の疾患	結腸の悪性新生物<腫瘍>	椎間板障害	脊椎障害(脊椎症を含む)
西ノ島町	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	他の消化器系の疾患	関節症	糖尿病	他の神経系の疾患	歯科	他の損傷・他の外因の影響	脳梗塞
知夫村	他の筋骨格系・結合組織の疾患	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の眼・付属器の疾患	歯科	糖尿病	胆石症・胆のう炎	肺炎	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
隠岐の島町	高血圧性疾患	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	他の神経系の疾患	骨折	脂質異常症	統合失調症、妄想性障害	他の心疾患	腎不全
市町村計	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	歯科	骨折	糖尿病	腎不全	他の消化器系の疾患	脳梗塞	他の神経系の疾患

※歯科は疾病コードが 1101～1103 及び 歯科レセプトの合計(以下同)

③生活習慣病

ア 年齢調整 1 人当たり費用額

生活習慣病に係る 1 人当たり費用額を年齢調整し、市町村別に比較した。

複数疾病が上位 3 市町村に入っている市町村がある。

※表中の塗りつぶしは上位 3 市町村

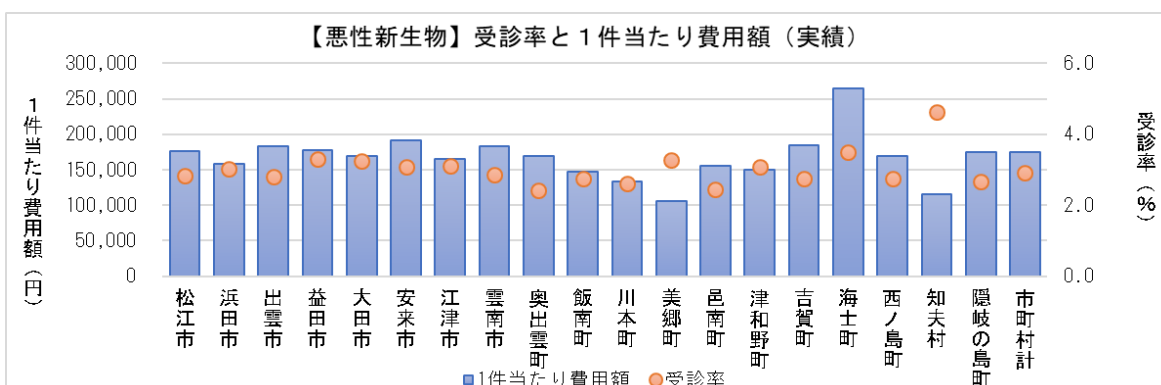
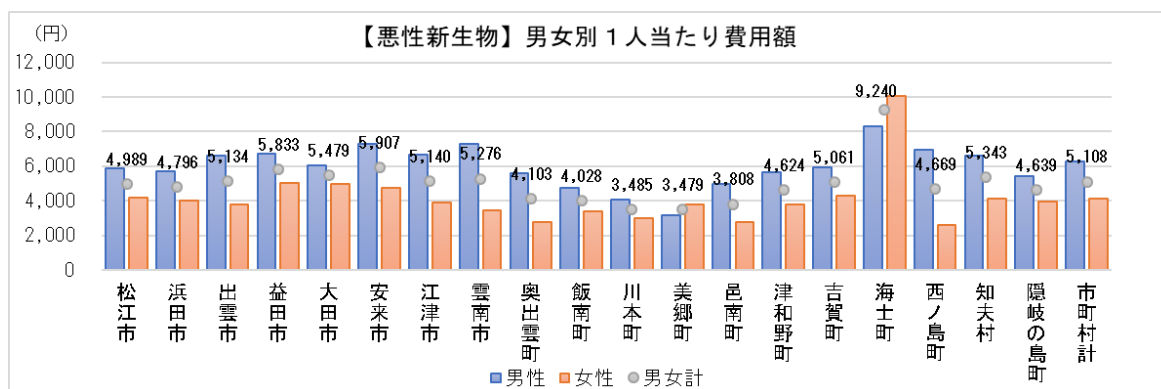
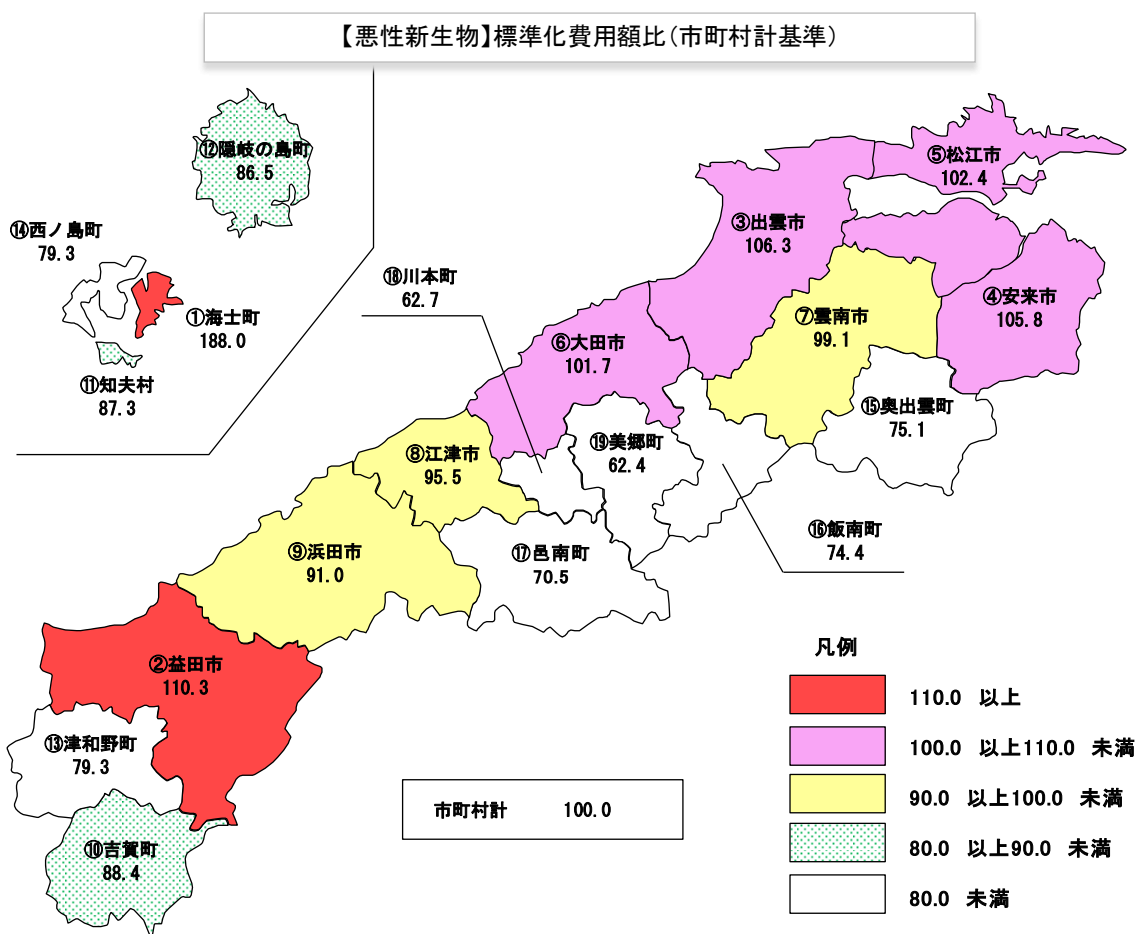
(円)

市町村	悪性新生物	糖尿病	脂質異常症	高血圧性疾患	虚血性心疾患	脳血管疾患
松江市	5,232	1,565	718	2,204	773	1,922
浜田市	4,645	1,848	749	3,198	983	1,613
出雲市	5,434	1,597	774	2,218	626	2,632
益田市	5,638	1,698	771	2,263	474	1,950
大田市	5,180	1,606	1,022	2,893	1,315	1,879
安来市	5,332	1,446	687	2,053	820	1,706
江津市	4,881	2,225	1,027	2,970	869	1,719
雲南市	5,087	1,981	788	2,507	511	1,662
奥出雲町	3,823	1,680	929	2,714	329	1,241
飯南町	3,877	1,541	1,369	2,770	854	1,545
川本町	3,331	2,739	1,062	1,795	754	1,511
美郷町	3,103	2,086	1,160	2,549	1,009	5,618
邑南町	3,587	2,209	1,047	1,957	1,562	1,916
津和野町	3,954	1,435	1,170	2,924	1,038	2,154
吉賀町	4,618	1,038	658	2,247	966	1,632
海士町	9,852	1,291	941	3,070	566	3,278
西ノ島町	4,769	1,552	1,009	2,607	351	1,187
知夫村	4,273	1,675	506	2,972	24	985
隠岐の島町	4,413	1,927	1,025	2,293	661	1,738
市町村計	5,108	1,680	808	2,407	757	2,017

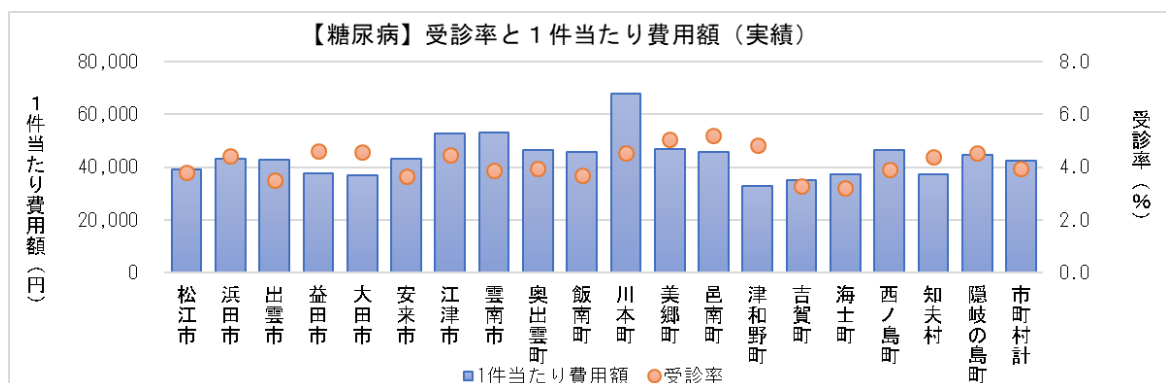
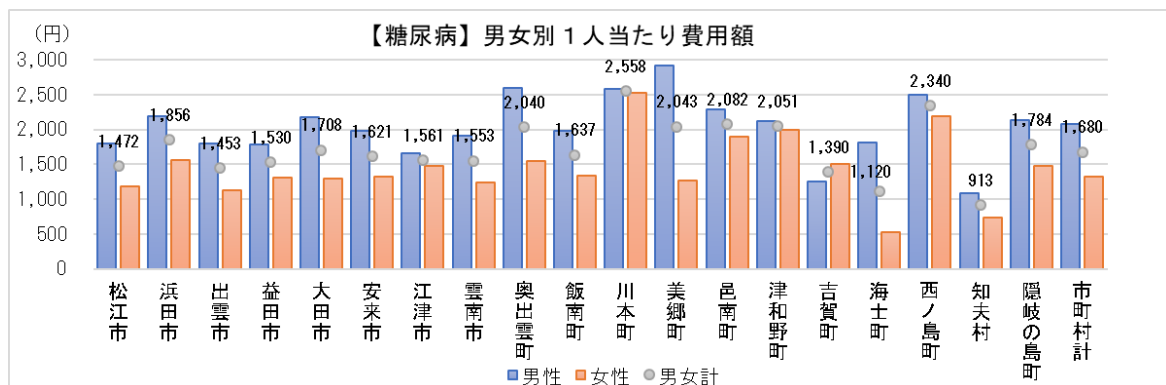
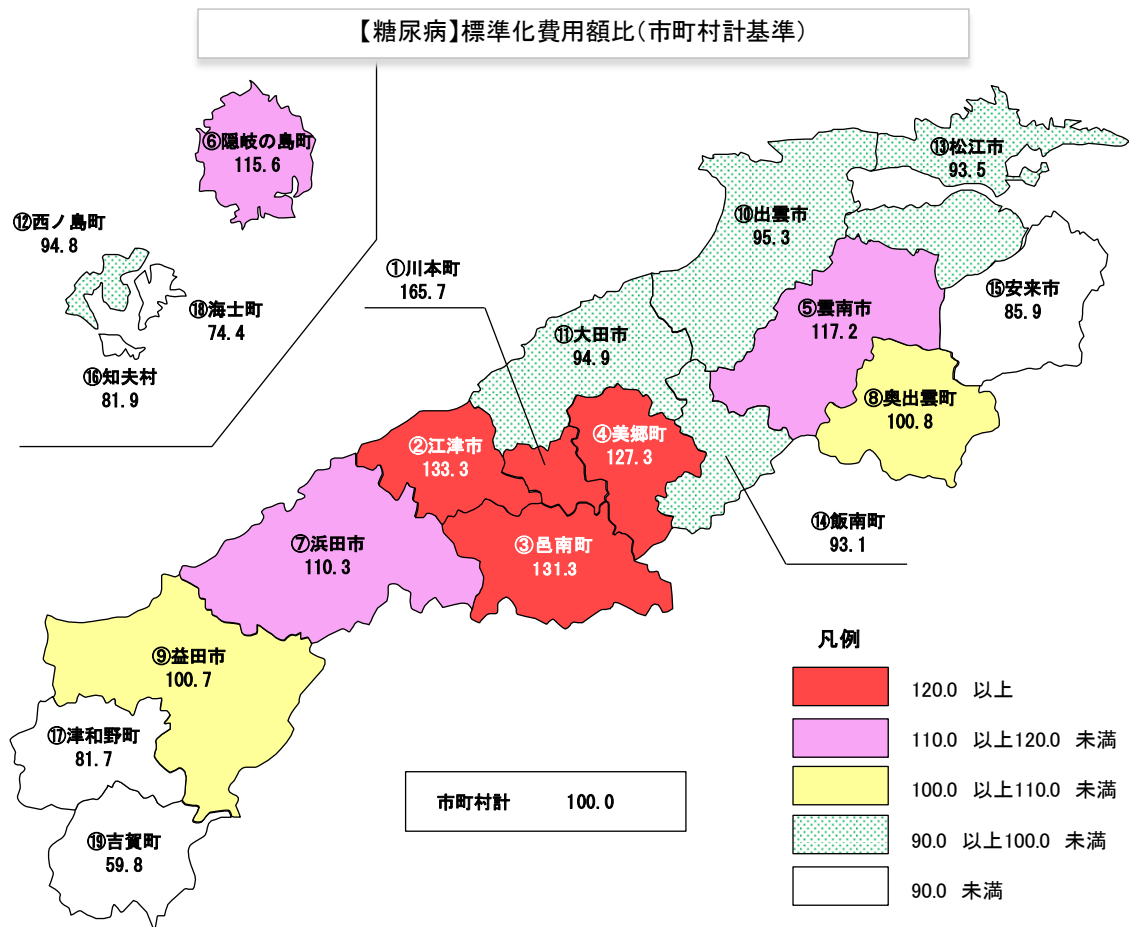
イ 標準化費用額比マップと諸率（実績額）

市町村別の生活習慣病に係る費用額について、基準とした市町村計の費用額と比較し、どのくらい高いか（低いか）を比率で示した。

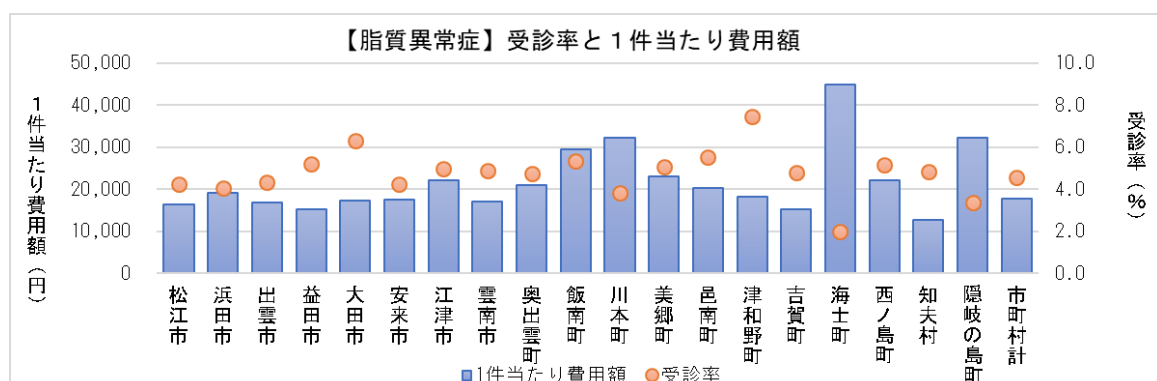
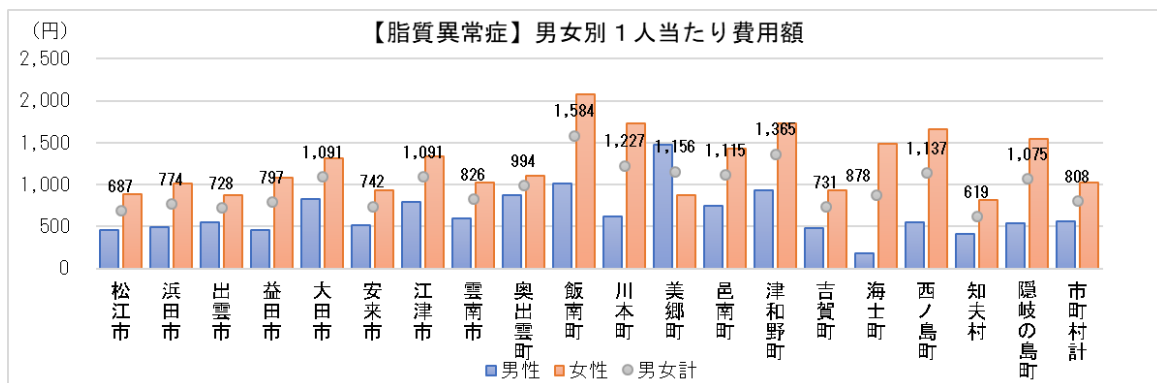
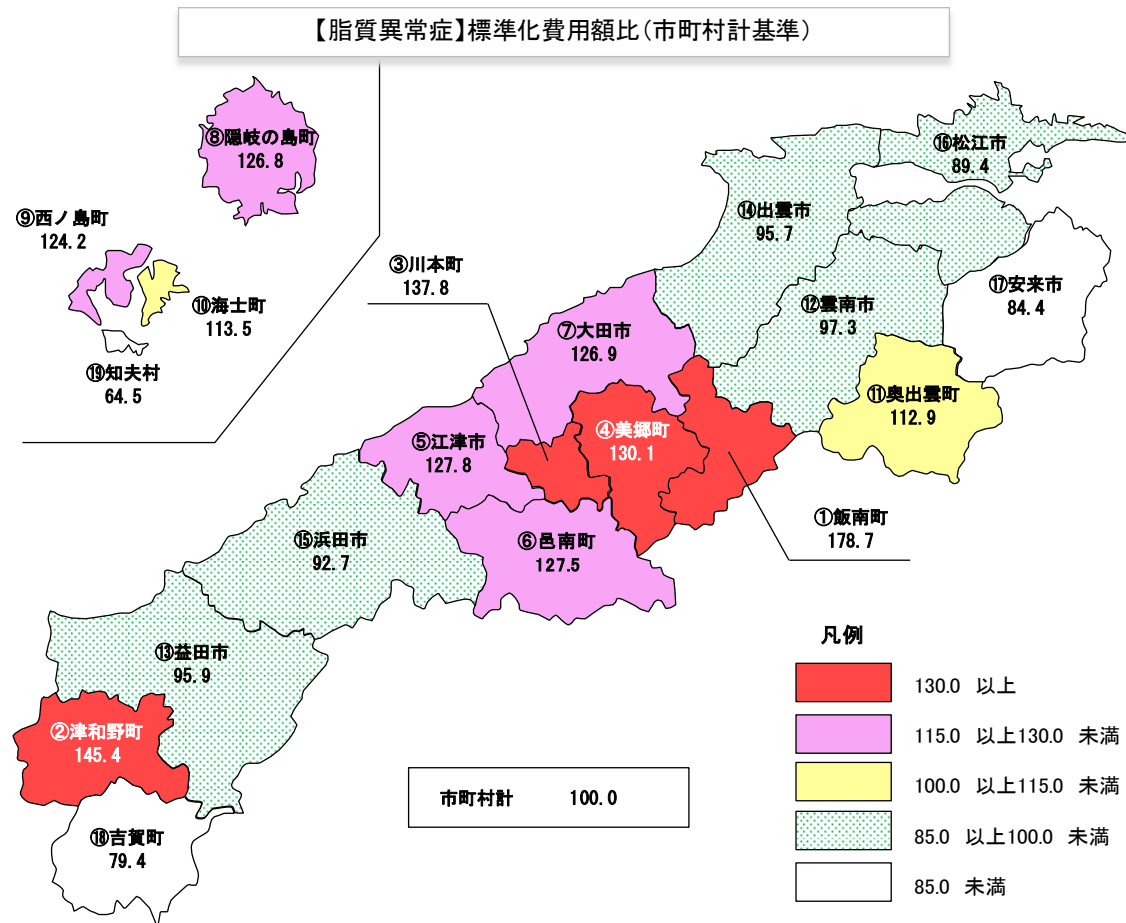
●悪性新生物



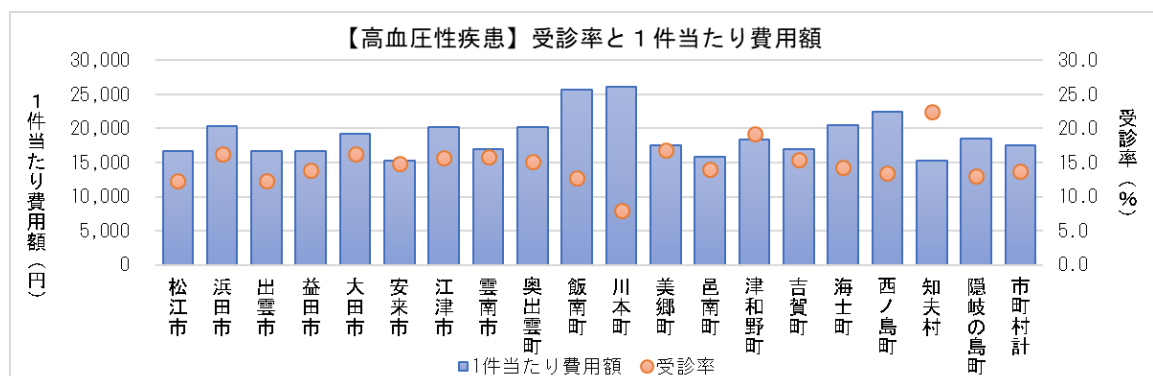
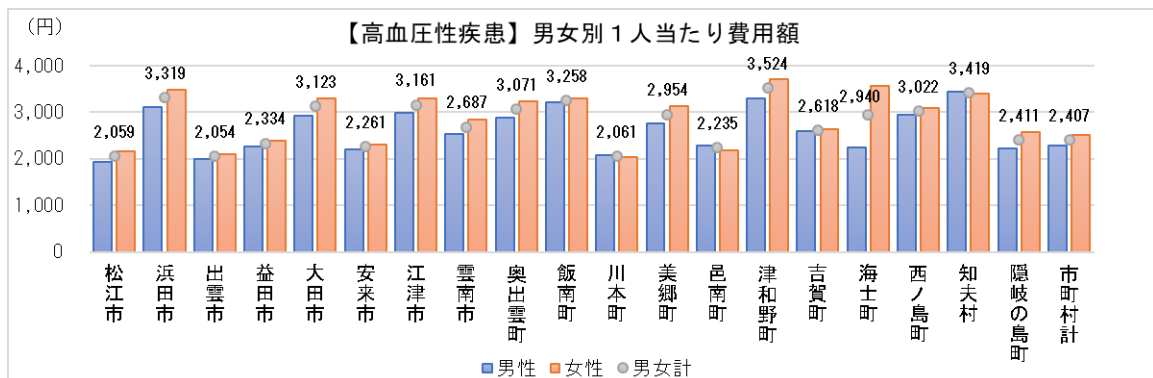
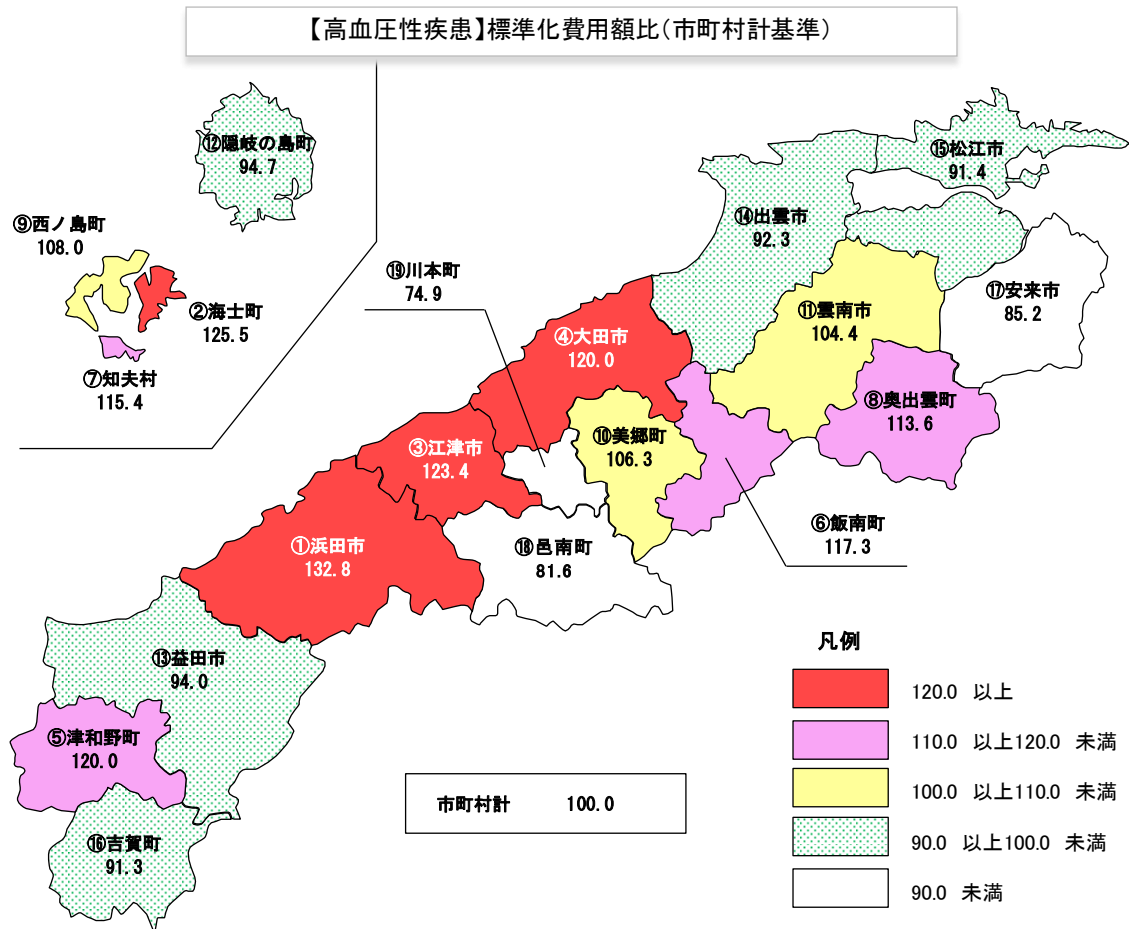
●糖尿病



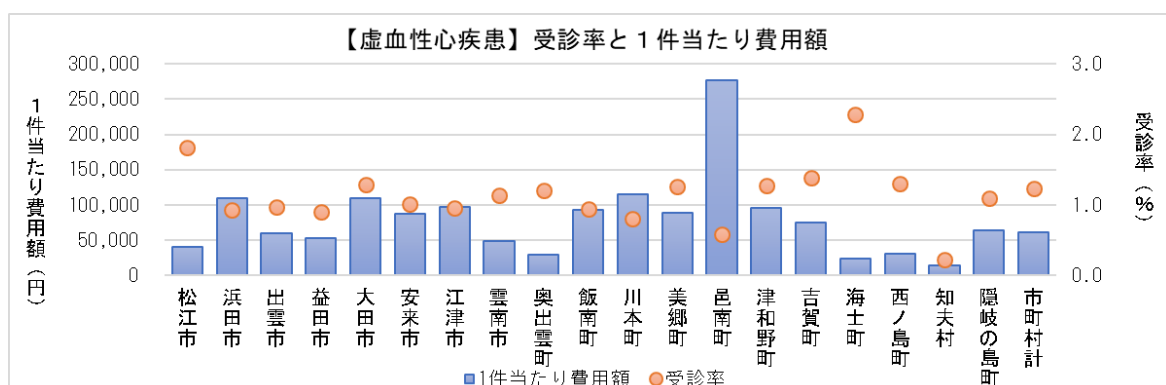
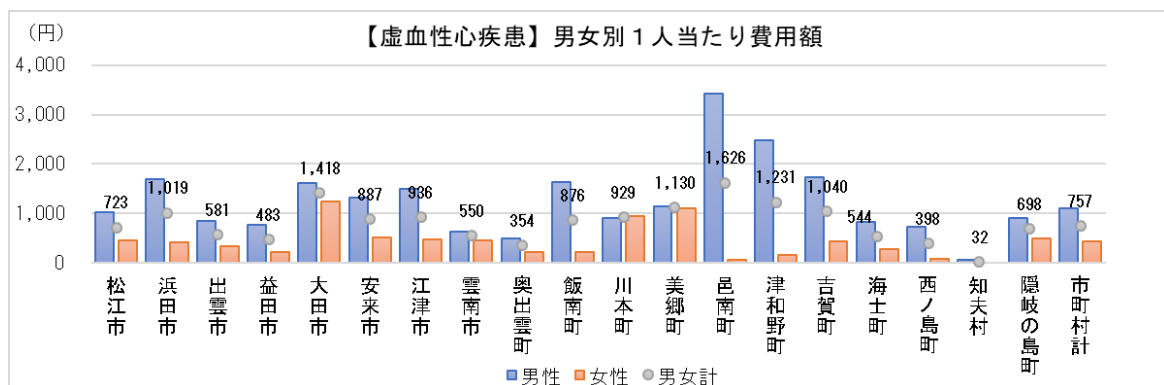
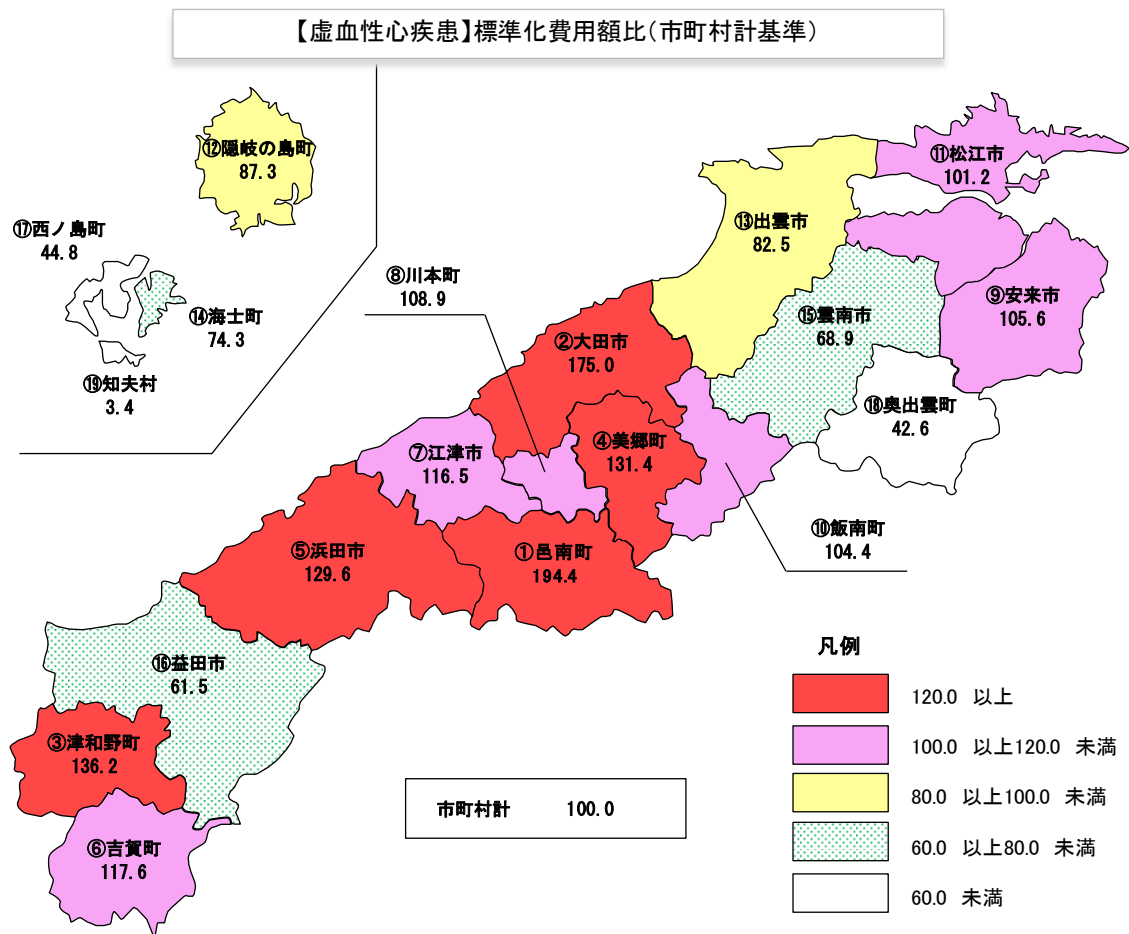
●脂質異常症



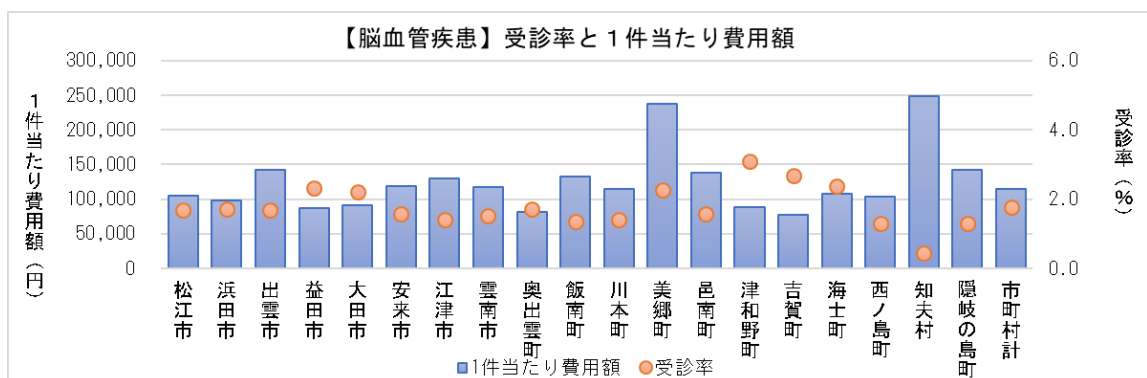
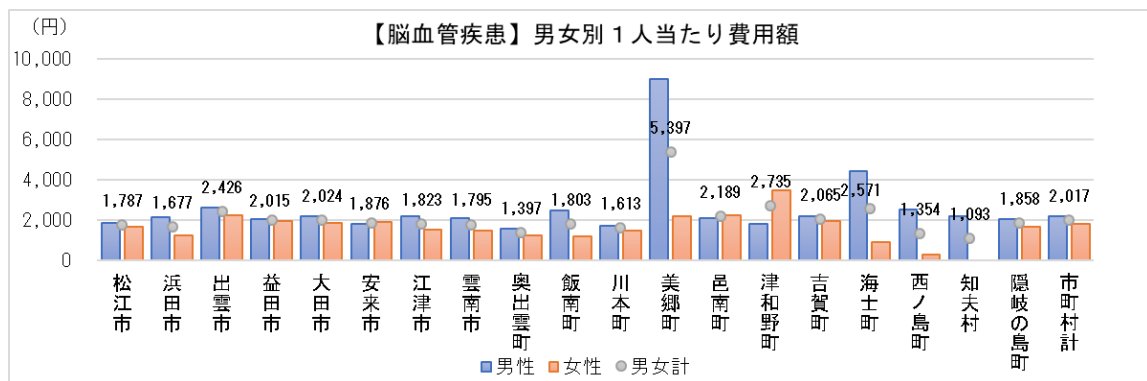
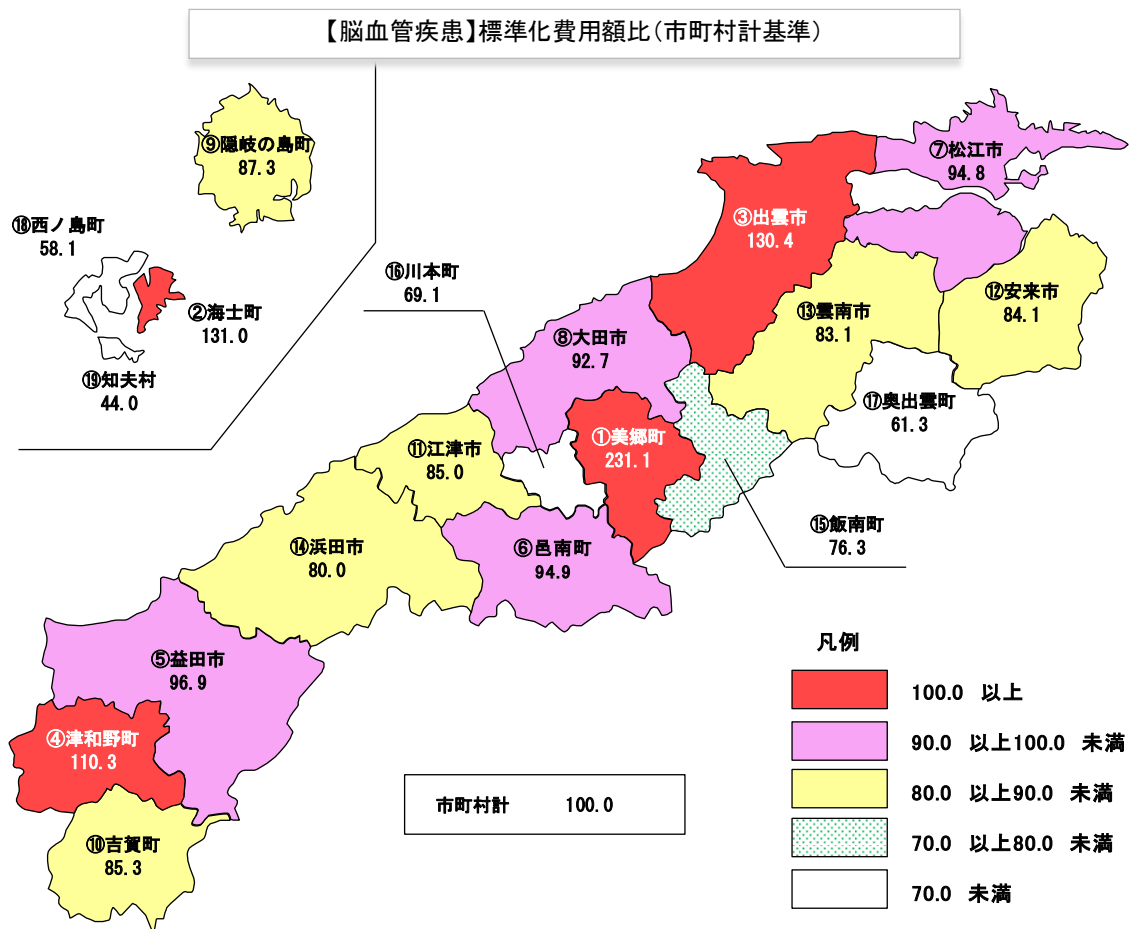
● 高血圧性疾患



●虚血性心疾患

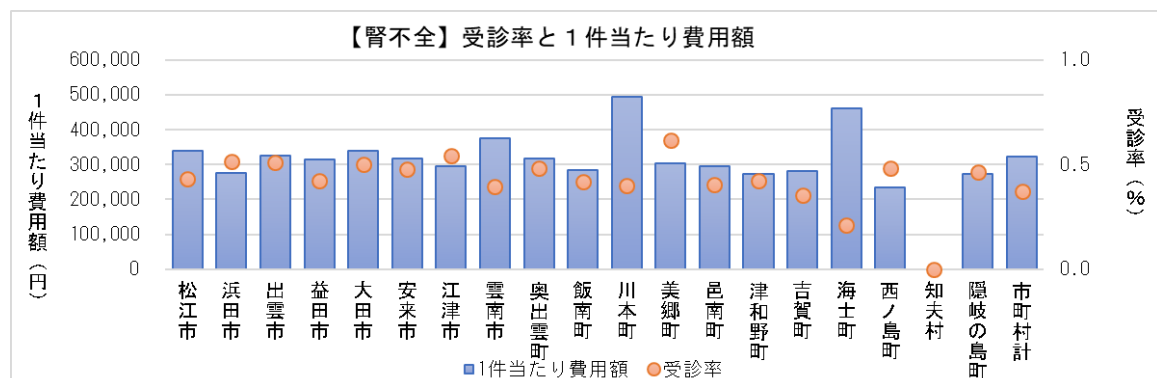
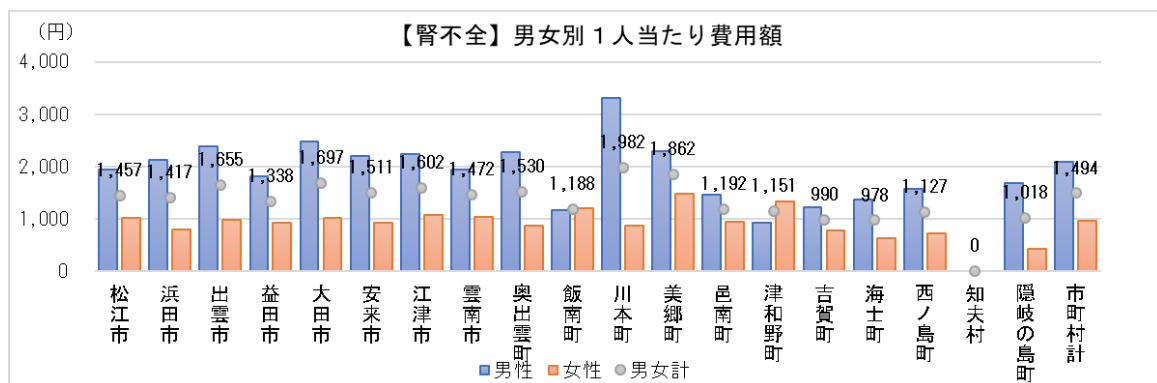
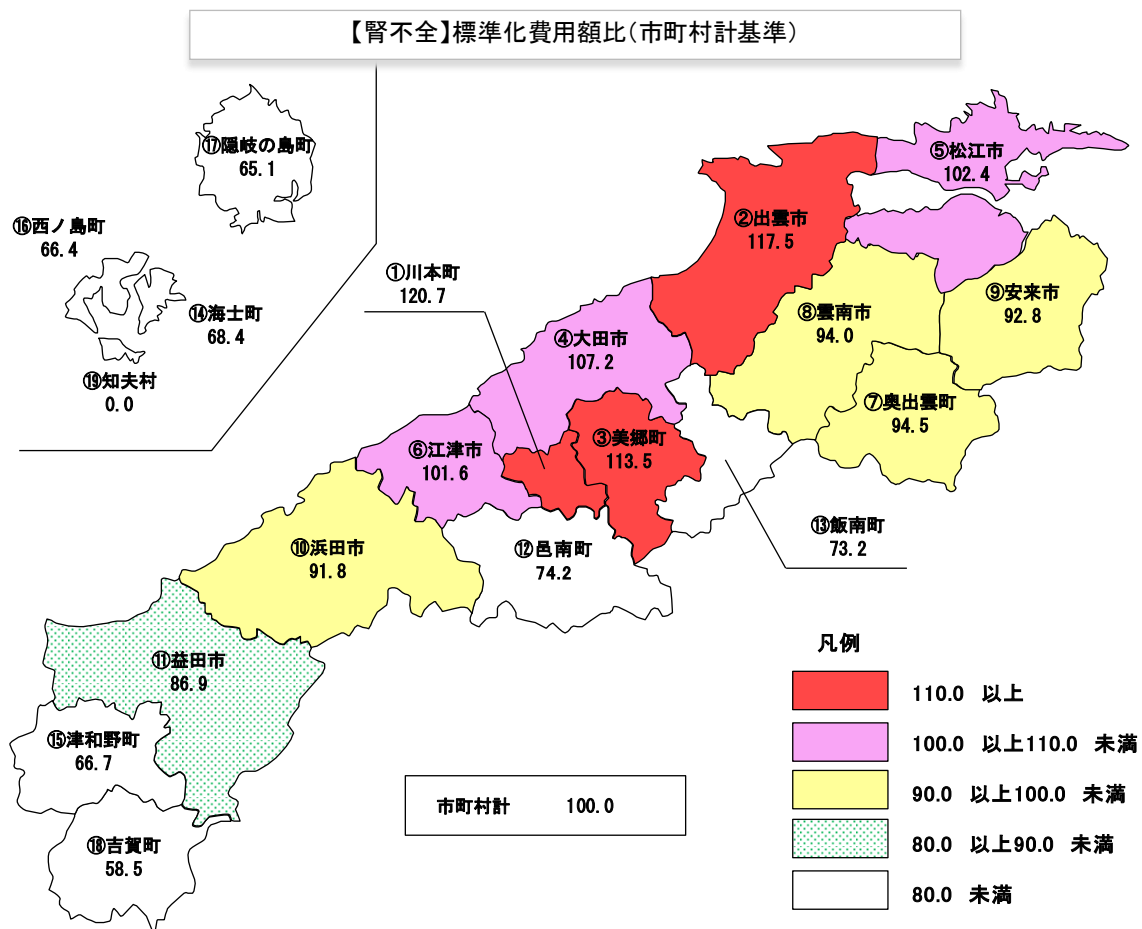


●脳血管疾患



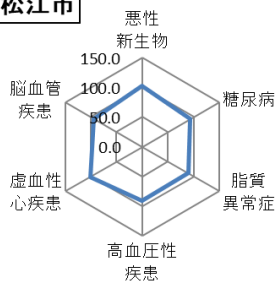
【参考】

●腎不全

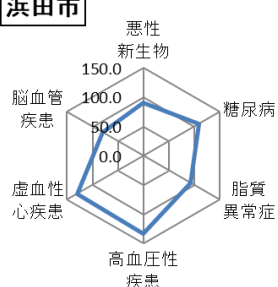


ウ 市町村別標準化費用額比の状況

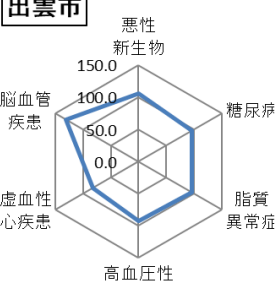
松江市



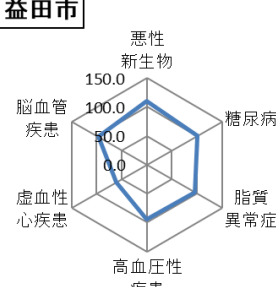
浜田市



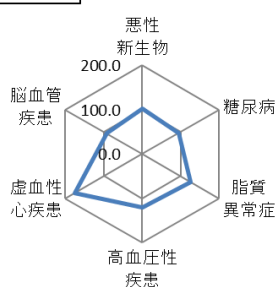
出雲市



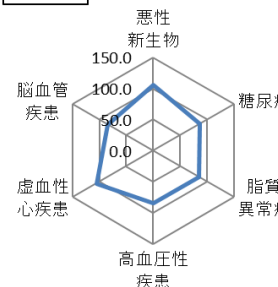
益田市



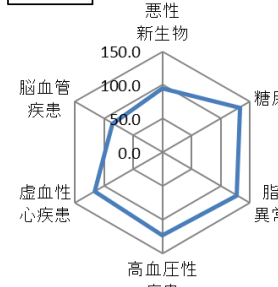
大田市



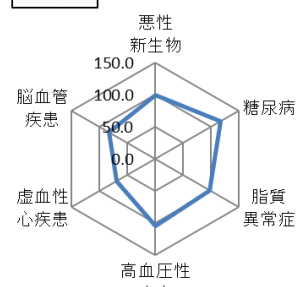
安来市



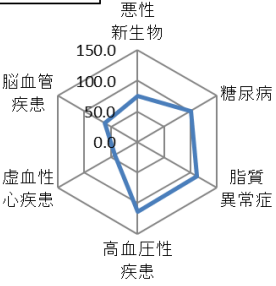
江津市



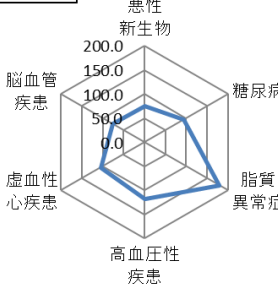
雲南市



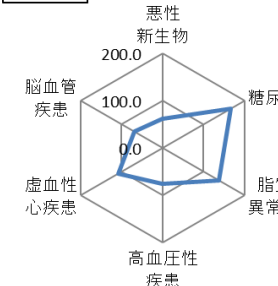
奥出雲町



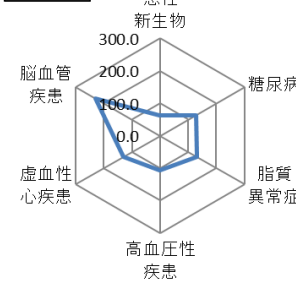
飯南町



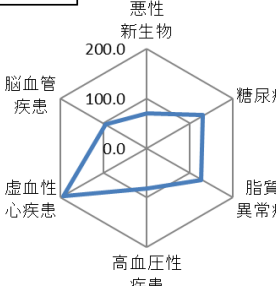
川本町



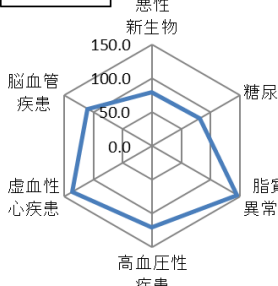
美郷町



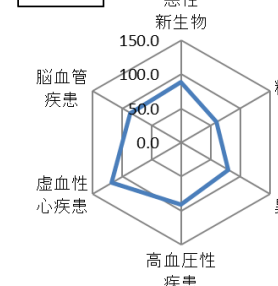
邑南町



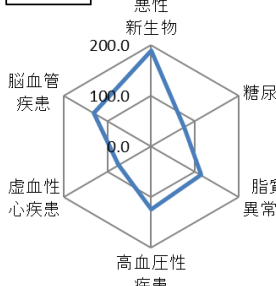
津和野町



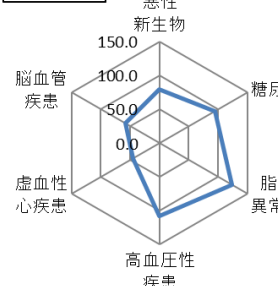
吉賀町



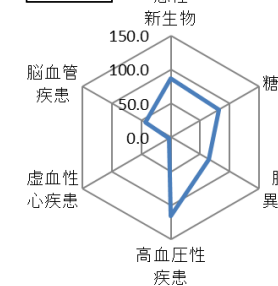
海士町



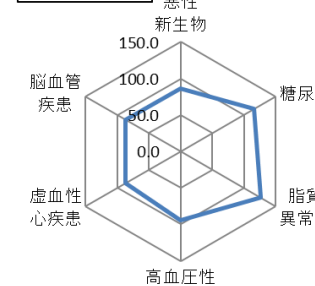
西ノ島町



知夫村



隠岐の島町



Ⅱ 特定健康診査結果統計

◆健診結果データ集計にあたって

1 使用データについて

次の県内医療保険者における、令和5年度特定健康診査結果データを集計した。

- ・ 島根県内 19 市町村国民健康保険
- ・ 島根県医師国民健康保険組合
- ・ 全国健康保険協会島根支部
- ・ 島根県市町村職員共済組合

2 分類方法（単位）

次の方法により分類する。

【制度（別）】

（1）国保

島根県内 19 市町村国民健康保険

島根県医師国民健康保険組合

（2）被用者保険

全国健康保険協会島根支部

島根県市町村職員共済組合

3 集計方法等

より多くのデータを対象とした傾向を掴むため、次の方法により集計した。

- （1）各医療保険者から提供された全ての特定健康診査結果データを使用する
（実施年度中における加入及び脱退等の異動を除外しない）。

※各医療保険者の法定報告値とは一致しない。

- （2）健診（検査・質問）項目の一部が実施されていない（欠損値がある）場合も分析対象とする。

1 県全体及び制度別の状況

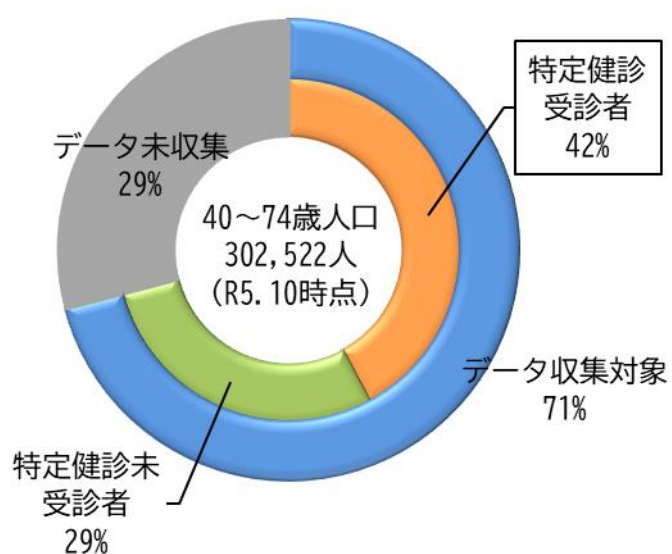
(1) 特定健診受診者数等

本統計における特定健診対象者数、受診者数及び受診率は下表のとおり。医療費統計と同様に、国保分は全保険者の健診結果データを、被用者保険分は一部の保険者のデータを収集している。

制度	性別	特定健診 対象者数 (人)	特定健診 受診者数 (人)	受診率 (%)
国保	男性	45,416	17,639	38.8
	女性	48,696	22,574	46.4
	計	94,112	40,213	42.7
被用者保険	男性	59,837	46,208	77.2
	女性	60,573	41,329	68.2
	計	120,410	87,537	72.7
合計	男性	105,253	63,847	60.7
	女性	109,269	63,903	58.5
	計	214,522	127,750	59.6

なお、本統計で取り扱う健診結果データは、令和5年10月時点における島根県の40～74歳人口約30万人のうちの4割に相当する。

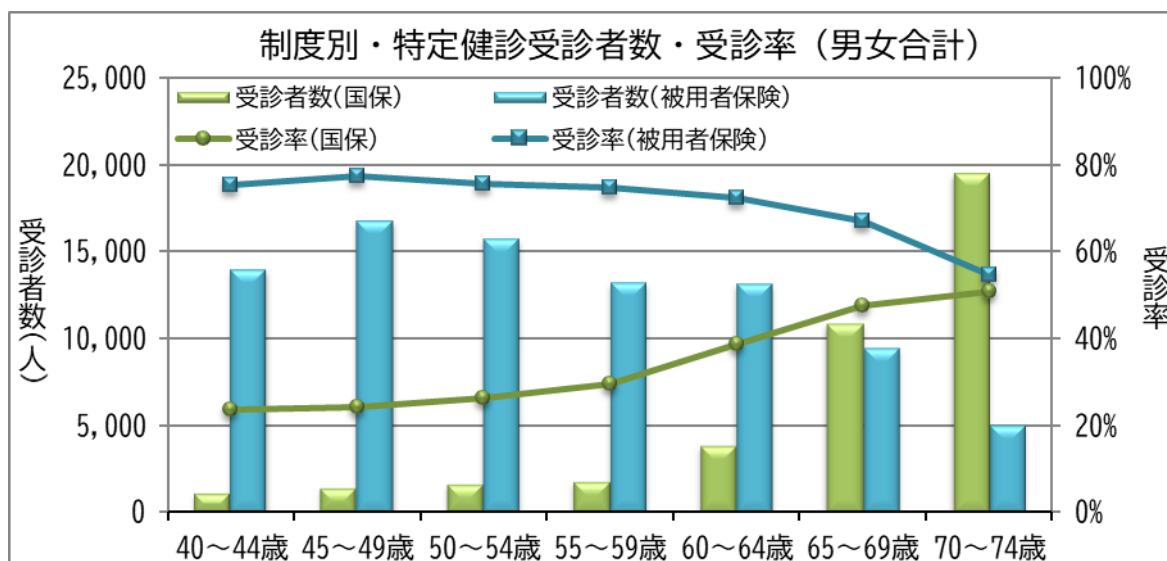
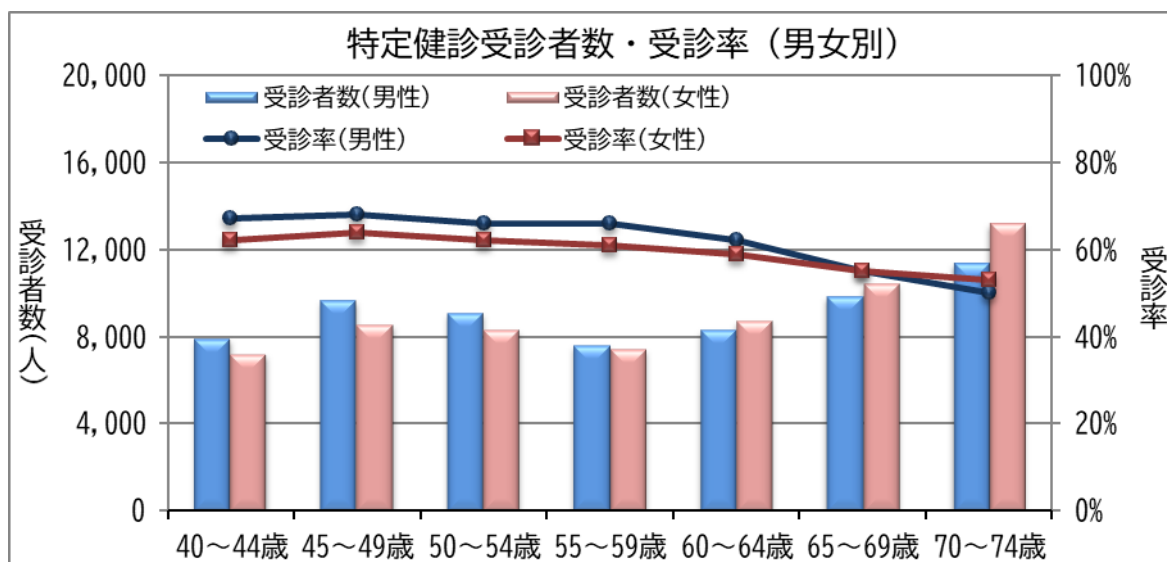
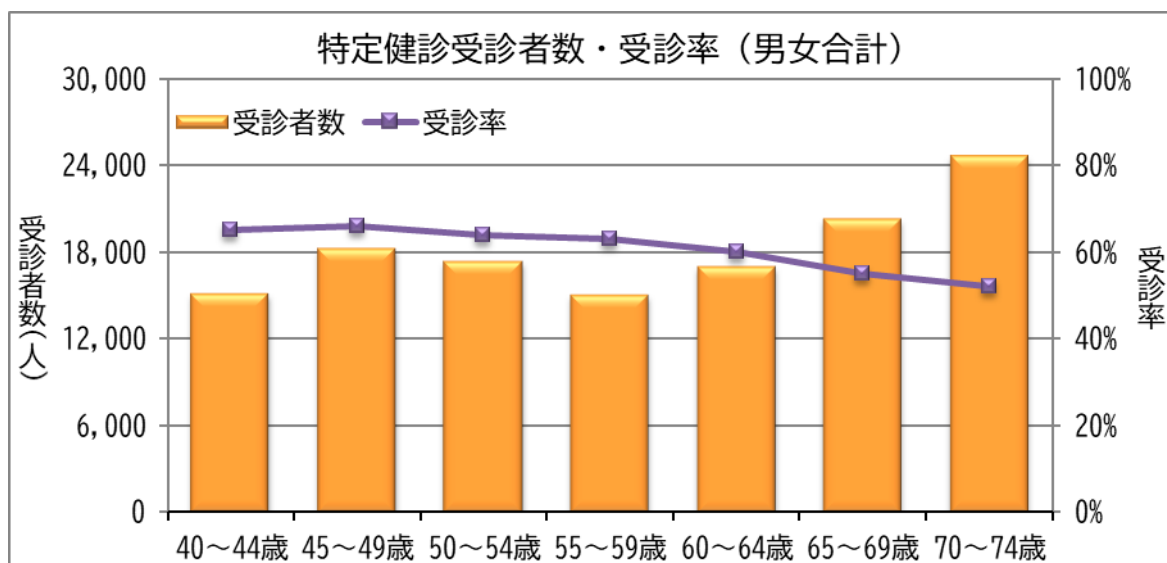
令和5年人口に占めるデータ収集状況



※人口：しまね統計情報データベースから

受診者数は70～74歳が最も多いが、受診率としては高齢者層の方がやや低い。

受診率を男女別にみると、40～59歳までは男性の方が高く、60～74歳では女性の方が高い。なお、69歳以下においては、受診者数、受診率ともに制度間で大きな差異がある。

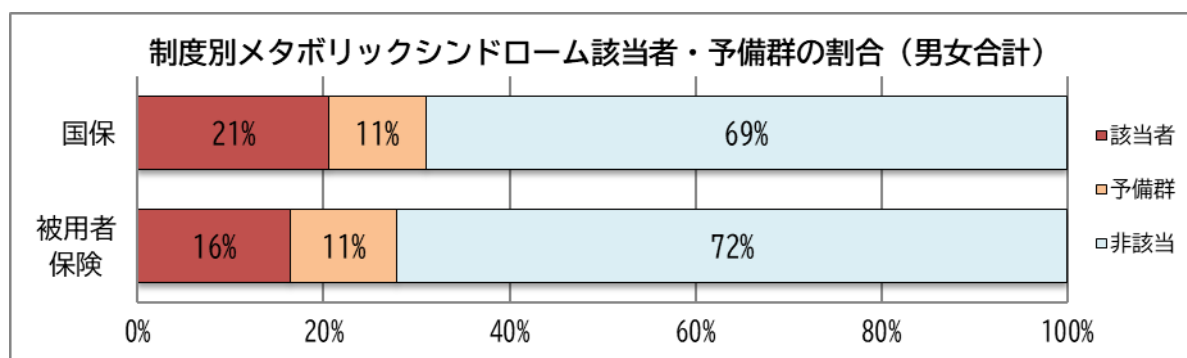
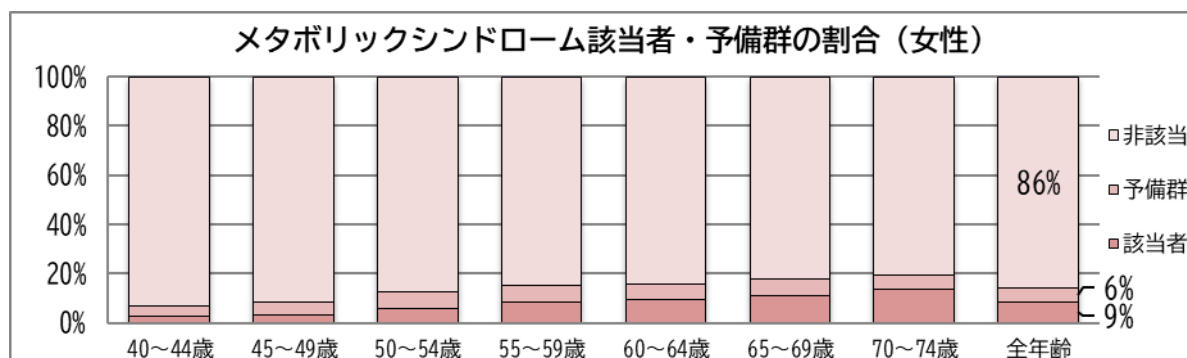
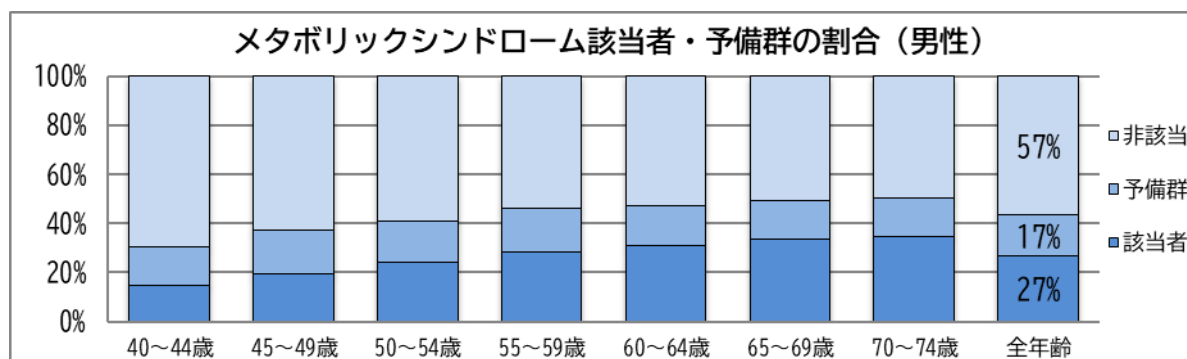
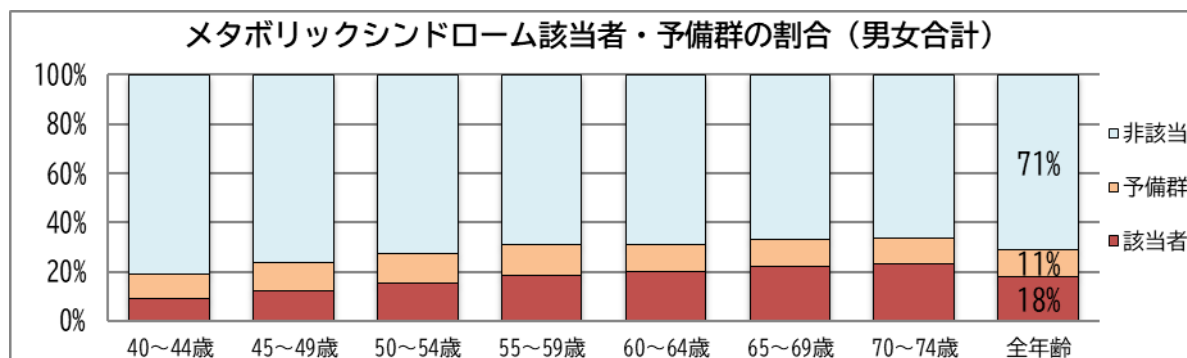


(2) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の診断基準は、次のとおりとした。

腹囲	男性 85 cm以上、女性 90 cm以上（内臓脂肪面積男女とも 100 cm ² 以上）
※腹囲の他、以下基準を 2 項目以上該当：該当者、1 項目該当：予備群該当	
血糖	空腹時血糖 110mg/dl 以上 かつ/又は HbA1c 6.0%以上
脂質	中性脂肪 150mg/dl 以上 かつ/又は HDL コレステロール 40mg/dl 未満
血圧	収縮期 130mmHg 以上 かつ/又は 拡張期 85mmHg 以上

予備群の割合は全ての年齢階層でほぼ同じ水準だが、該当者の割合は高齢になるほど高くなっている。男女別にみると、男性が女性を大きく上回っている。



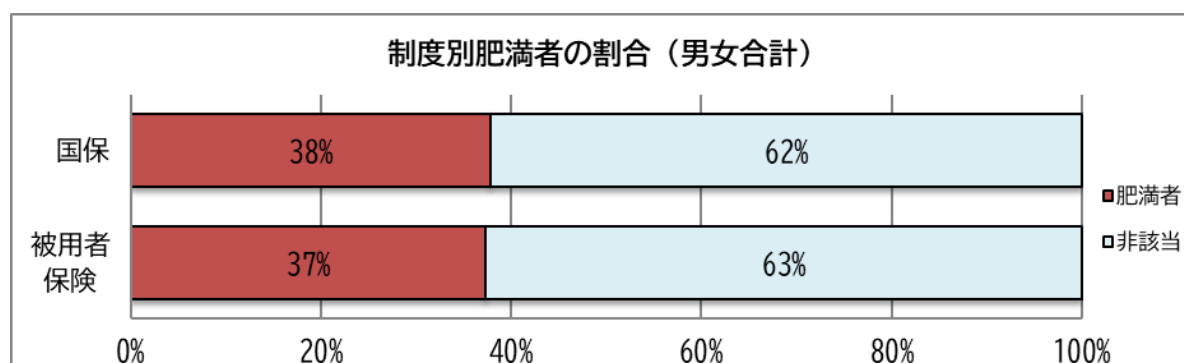
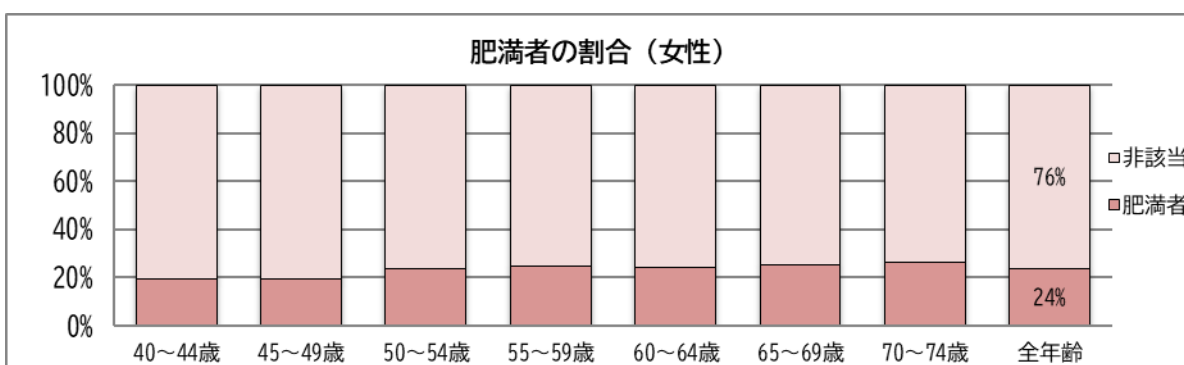
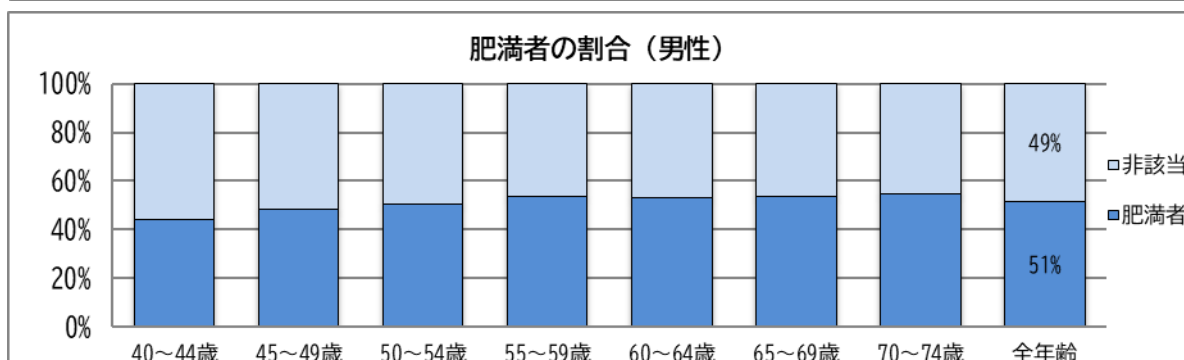
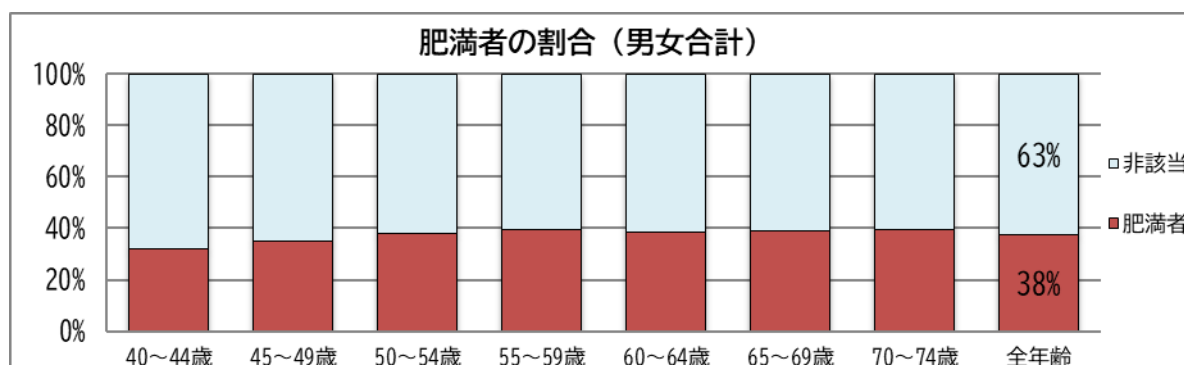
(3) 検査等結果

① 肥満者の割合

肥満者及び非肥満者の定義は、次のとおりとした。

肥 満 者	腹囲 男性 85 cm以上、女性 90 cm以上 又は BMI 25 以上 又は 内臓脂肪面積 100 cm ² 以上
非肥満者	上記以外

肥満者の割合は、年齢階層では大きな差はみられないものの、高齢者の方がやや高い傾向にある。男女別では、各年齢階層とも男性は女性の約2倍の割合となっている。

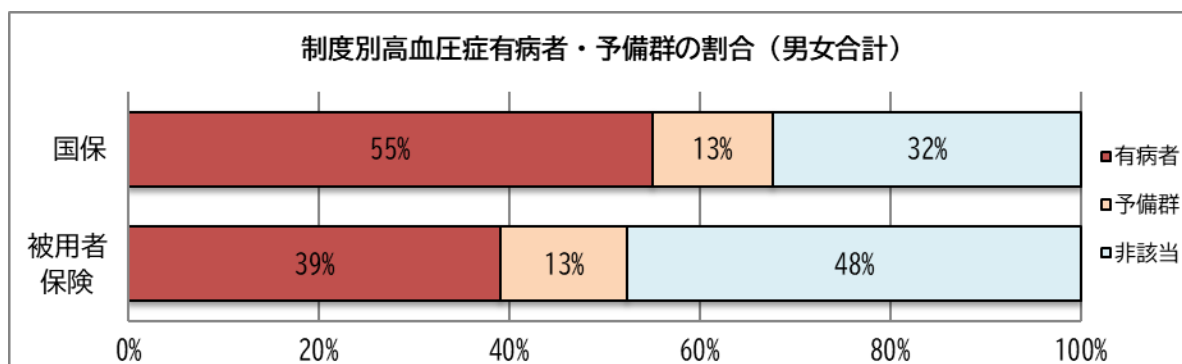
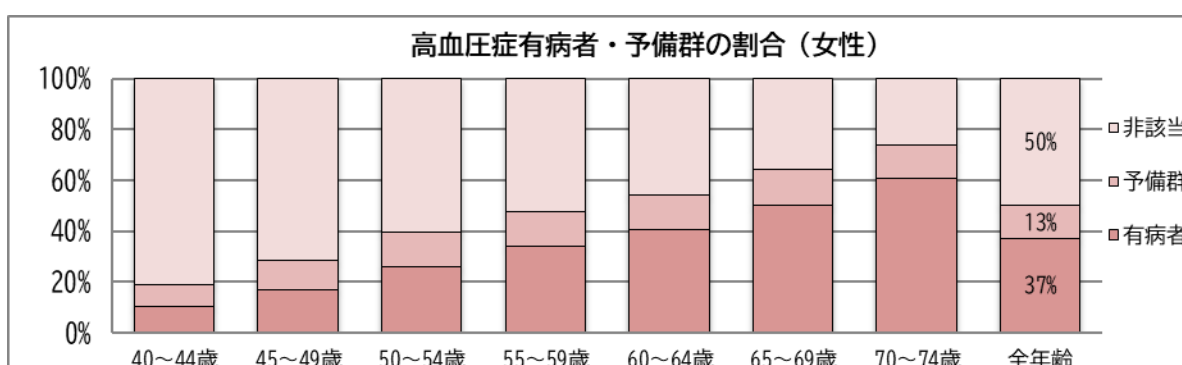
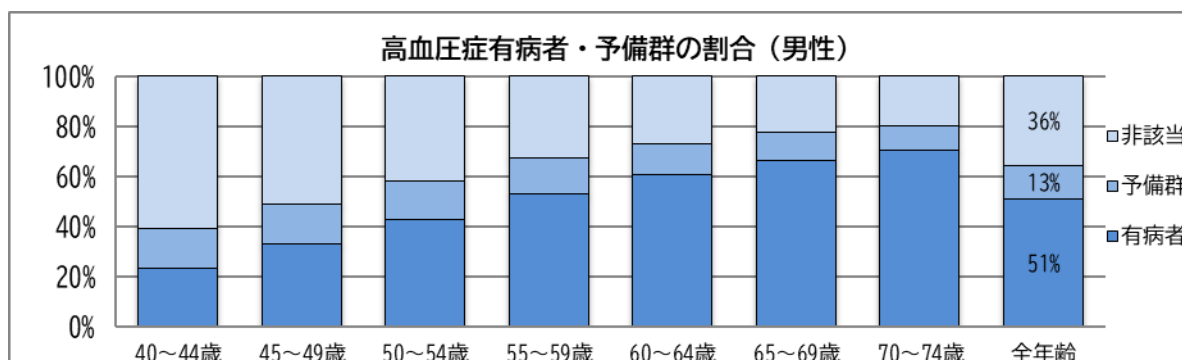
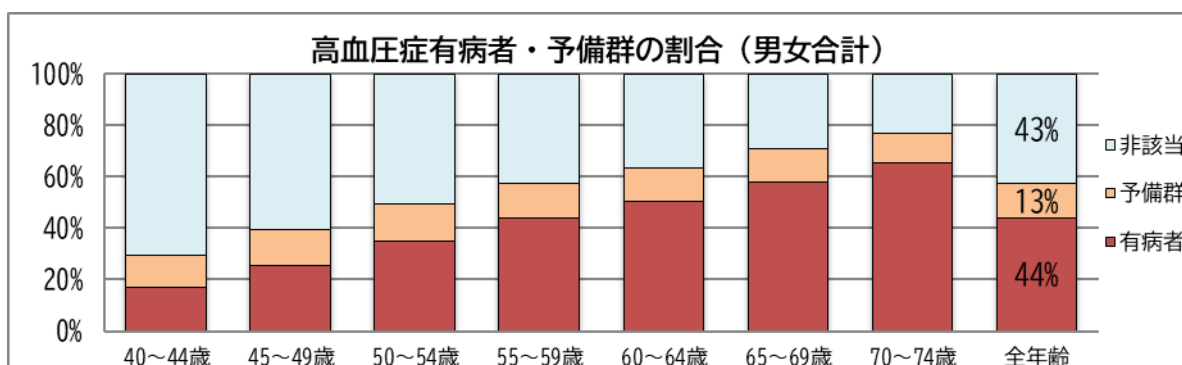


② 高血圧症有病者・予備群の割合

高血圧症有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有 病 者	服薬者
	服薬なし→収縮期血圧 140mmHg 以上、又は 拡張期血圧 90 以上（受診勧奨値）
予 備 群	収縮期血圧 130mmHg 以上 140mmHg 未満、又は 拡張期血圧 85mmHg 以上 90mmHg 未満（メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非 該 当	上記以外

年齢が高いほど有病者の割合は高い。年齢階層別に男女を比較すると、男性は若い世代から高い傾向がみられる。

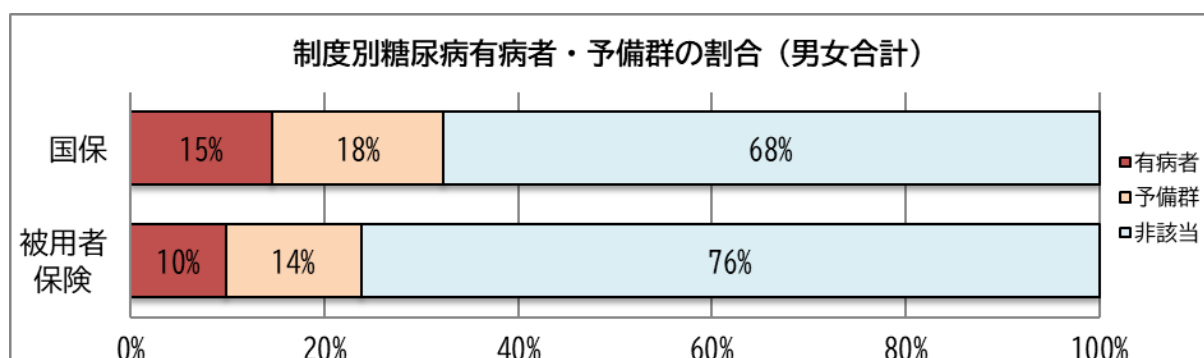
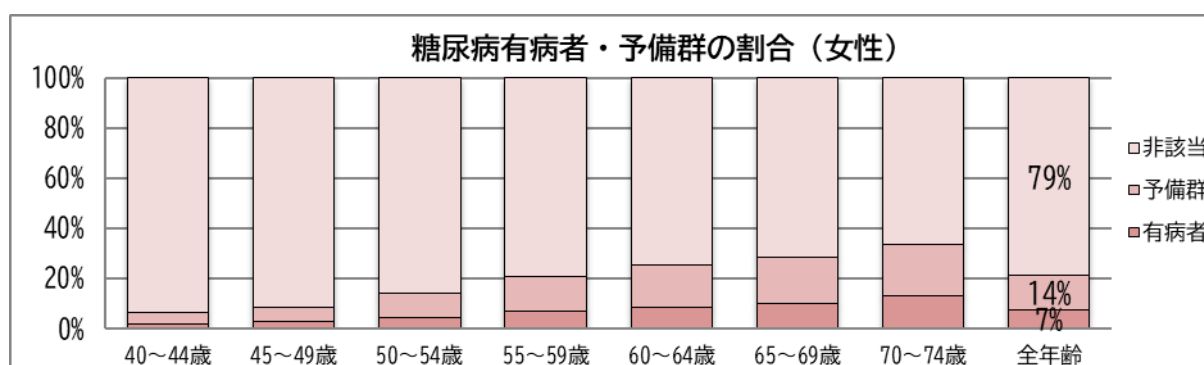
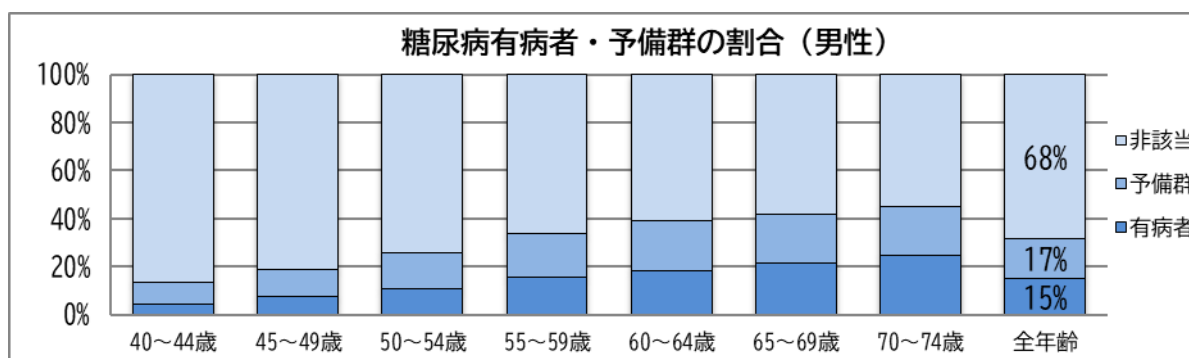
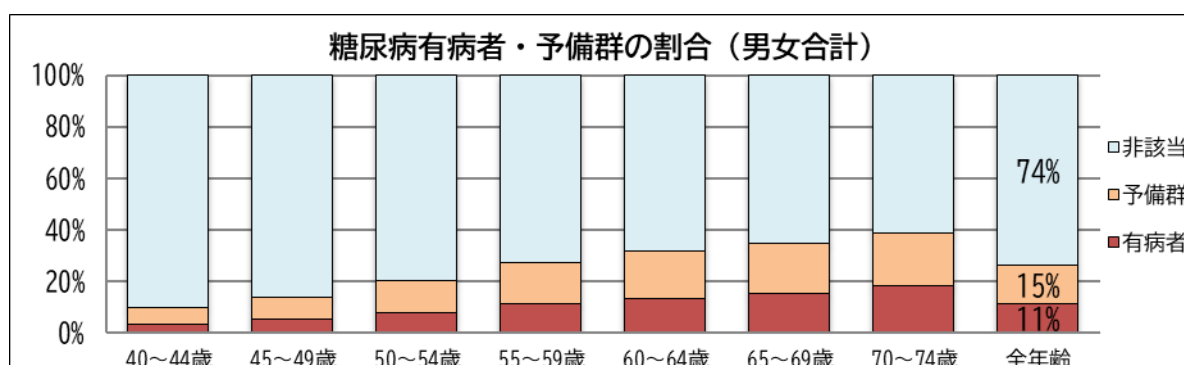


③ 糖尿病有病者・予備群の割合

糖尿病有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有 病 者	服薬者
	服薬なし→空腹時血糖 126mg/dl 以上、又は HbA1c 6.5%以上（受診勧奨値）
予 備 群	空腹時血糖 110mg/dl 以上 126mg/dl 未満、又は HbA1c 6.0%以上 6.5%未満（メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非 該 当	上記以外

年齢が高いほど有病者の割合は高い。男女別に有病者の割合をみると、男性は女性の約 1.5 倍となっている。

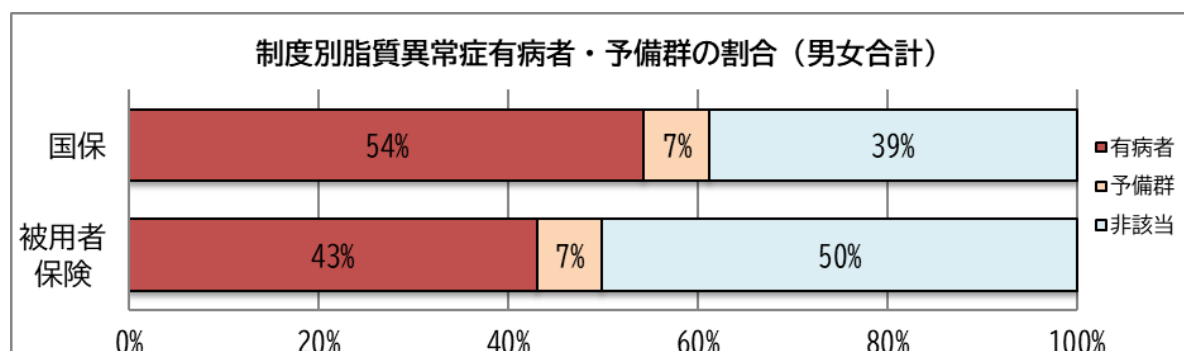
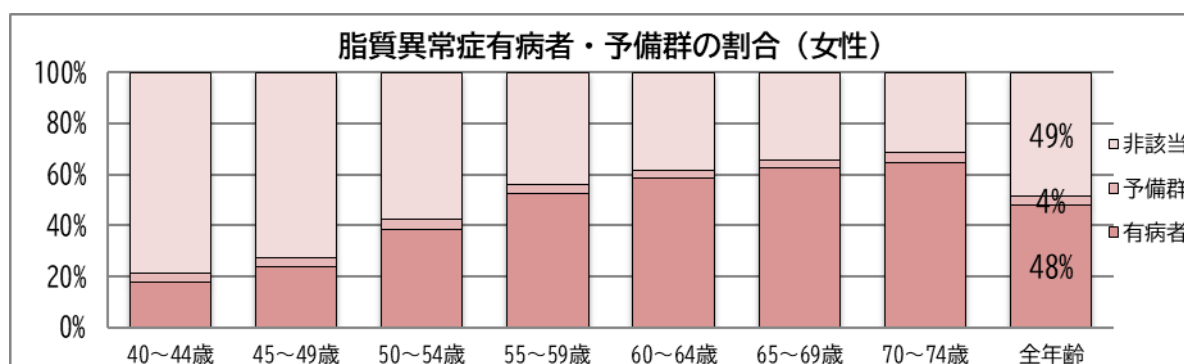
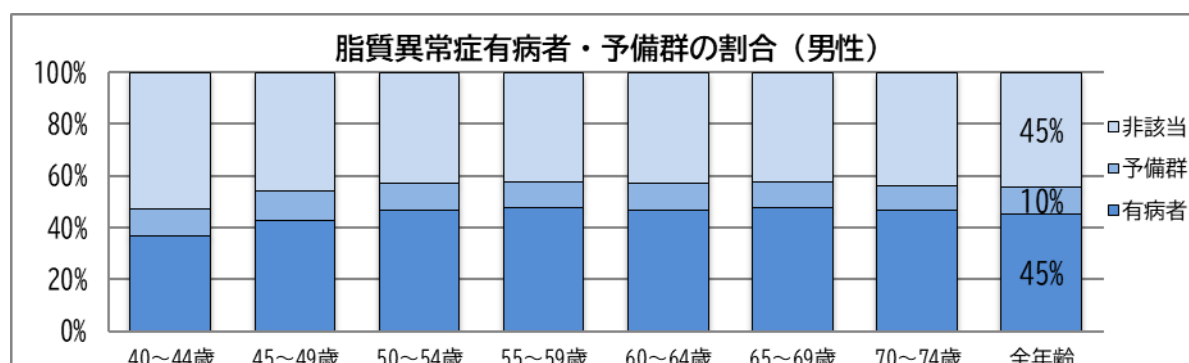
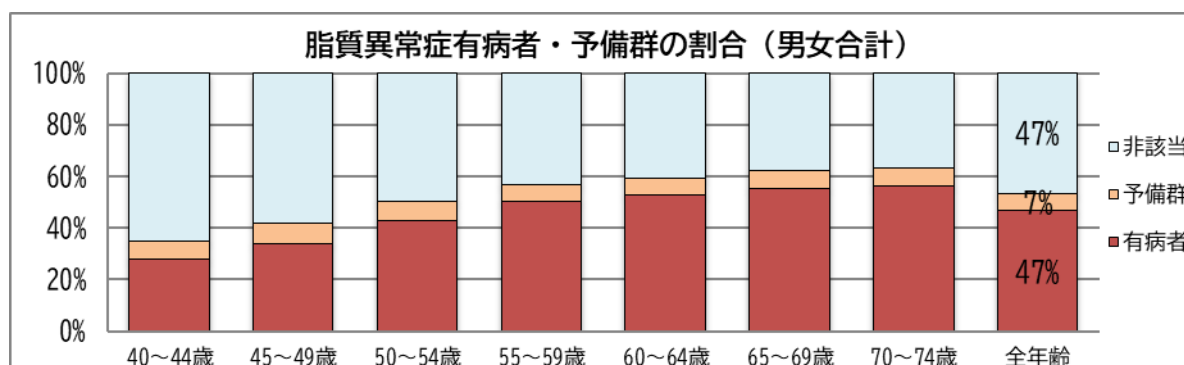


④ 脂質異常症有病者・予備群の割合

脂質異常症有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

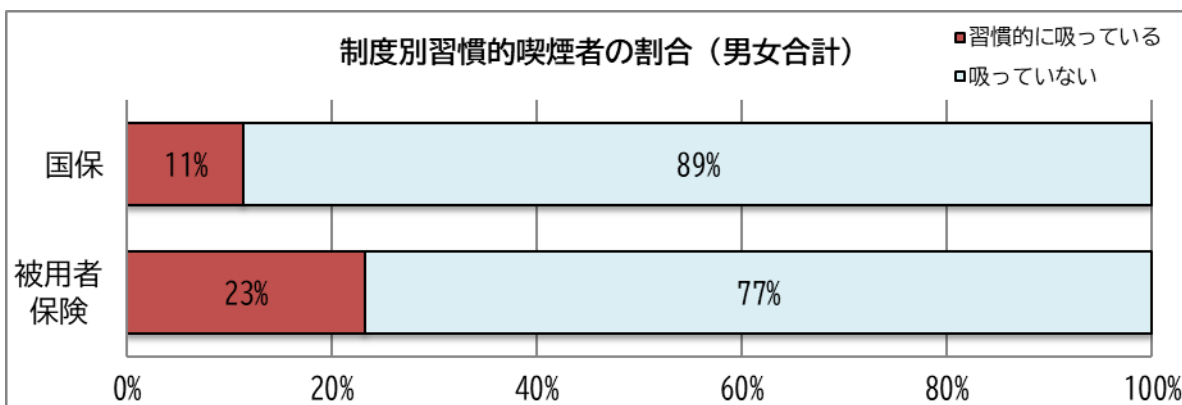
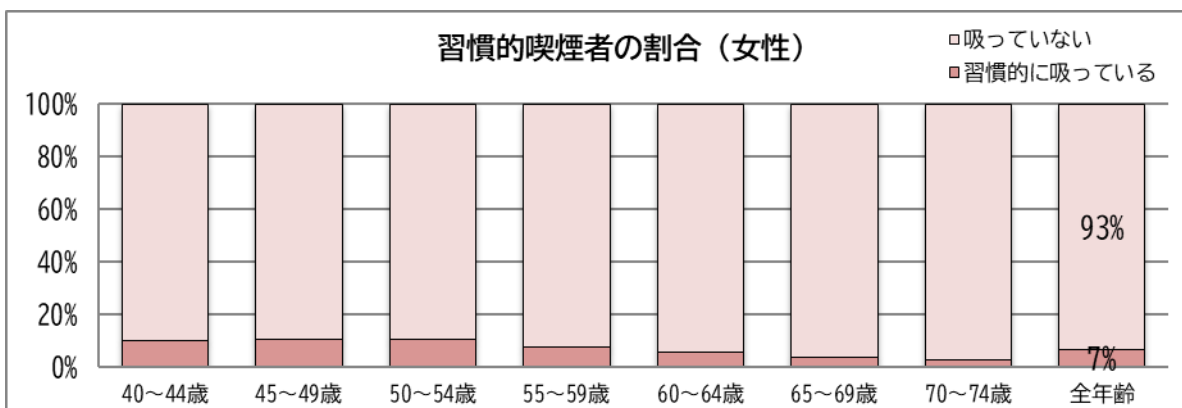
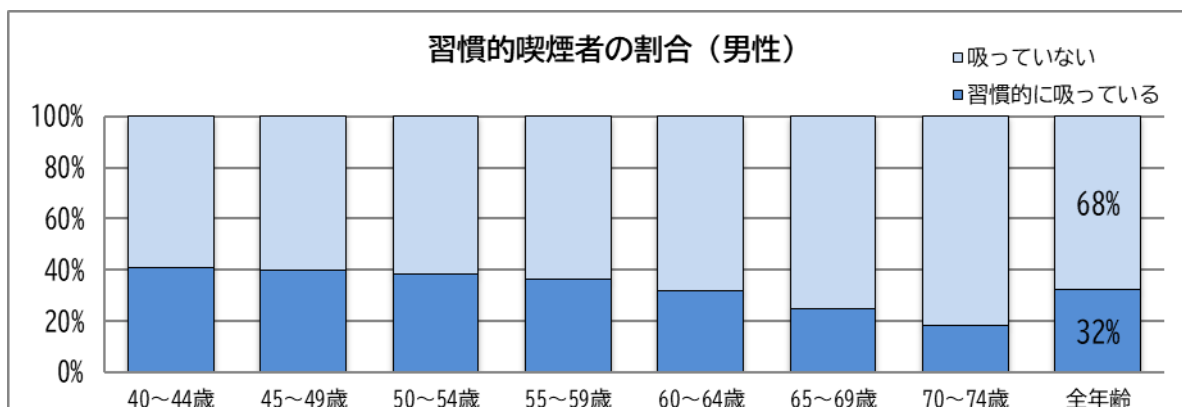
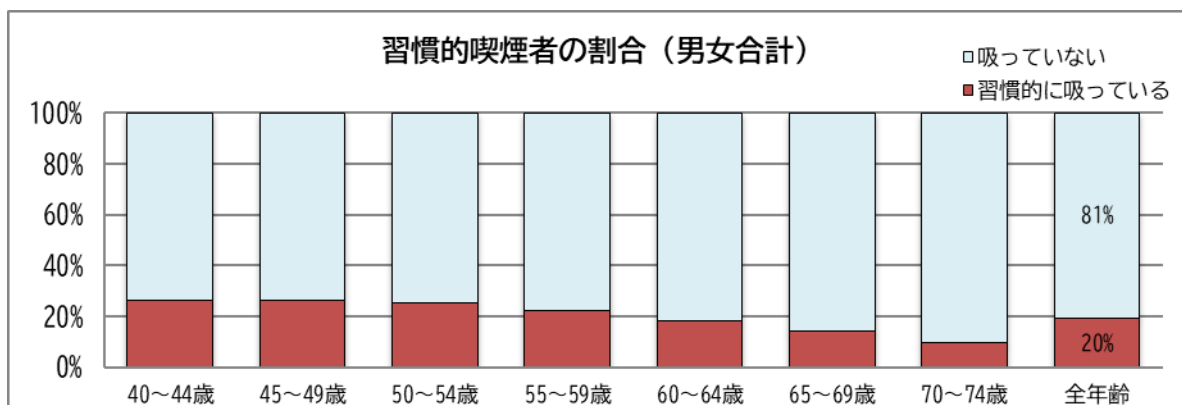
有 病 者	服薬者
	服薬なし→中性脂肪 300mg/dl 以上、又は HDL コレステロール 34mg/dl 未満、 又は LDL コレステロール 140mg/dl 以上（受診勧奨値）
予 備 群	中性脂肪 150mg/dl 以上 300mg/dl 未満、又は HDL コレステロール 40mg/dl 未満 （メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非 該 当	上記以外

年齢が高いほど有病者の割合は高い。男女別にみると、男性は年齢階層で大きな差はみられないが、女性は40～59歳にかけて有病者の増加が顕著である。



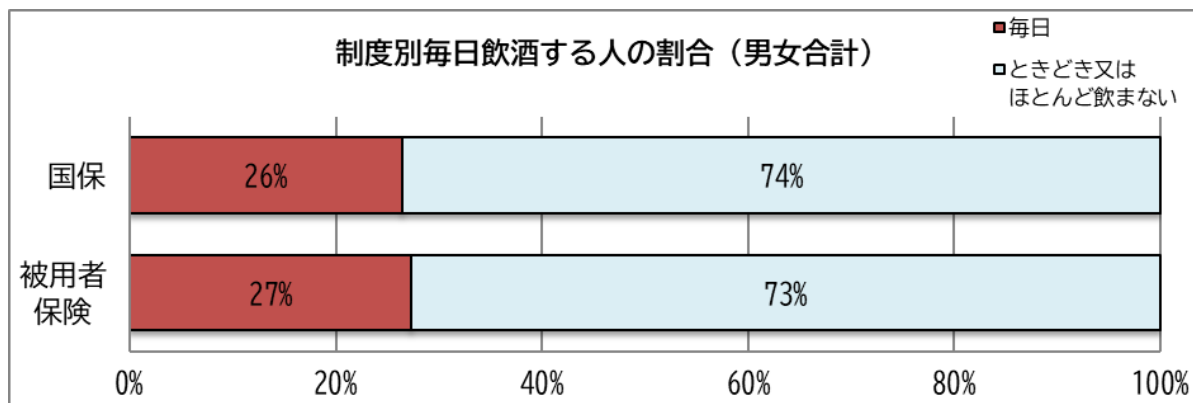
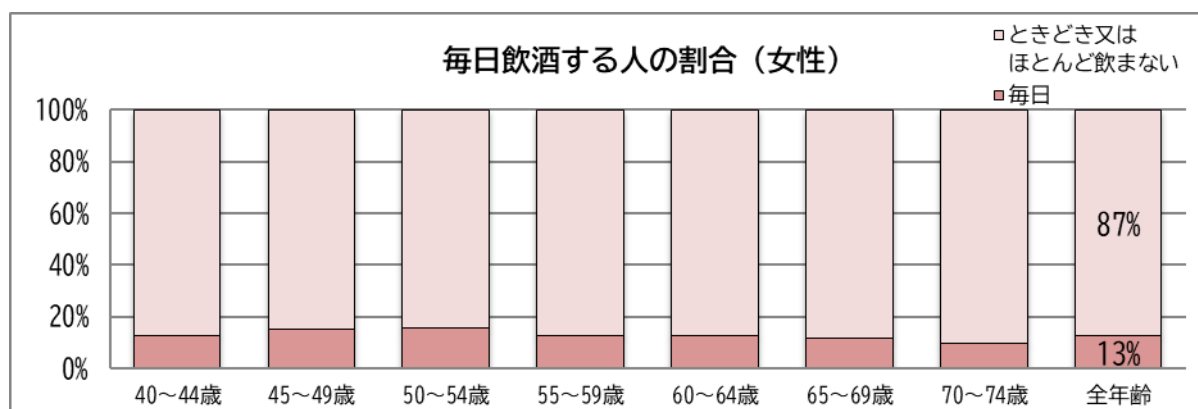
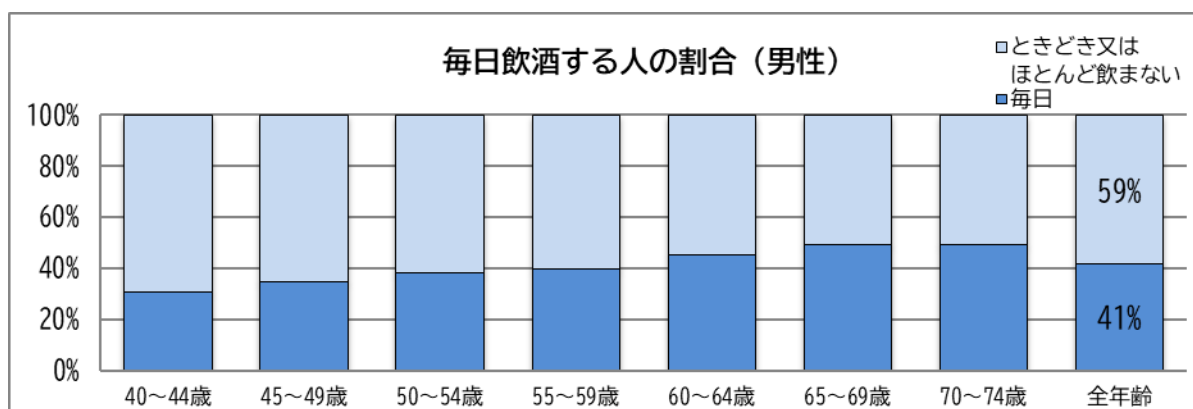
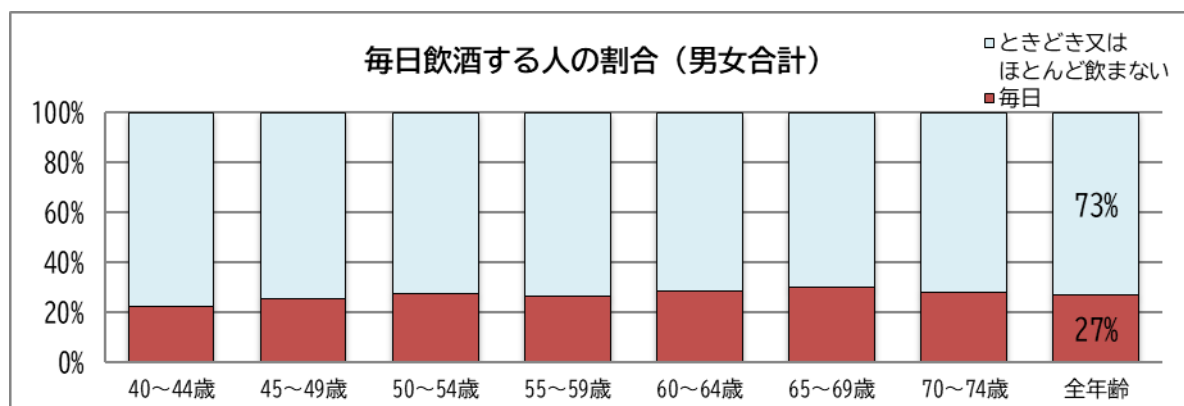
⑤ 習慣的喫煙者の割合

年齢が高いほど習慣的喫煙者の割合は低くなっている。男女ともに同じ傾向であるが、各年齢階層の割合は、男性が女性を大きく上回っている。



⑥ 毎日飲酒する人の割合

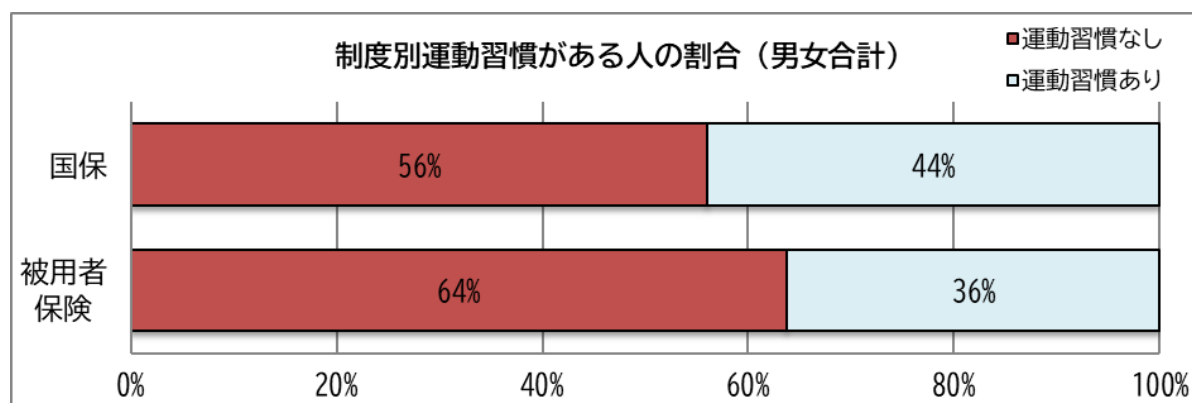
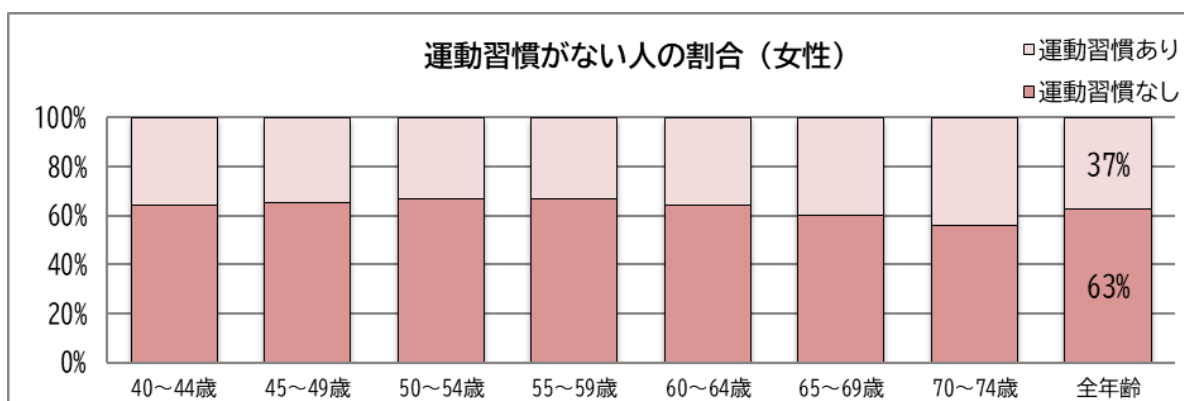
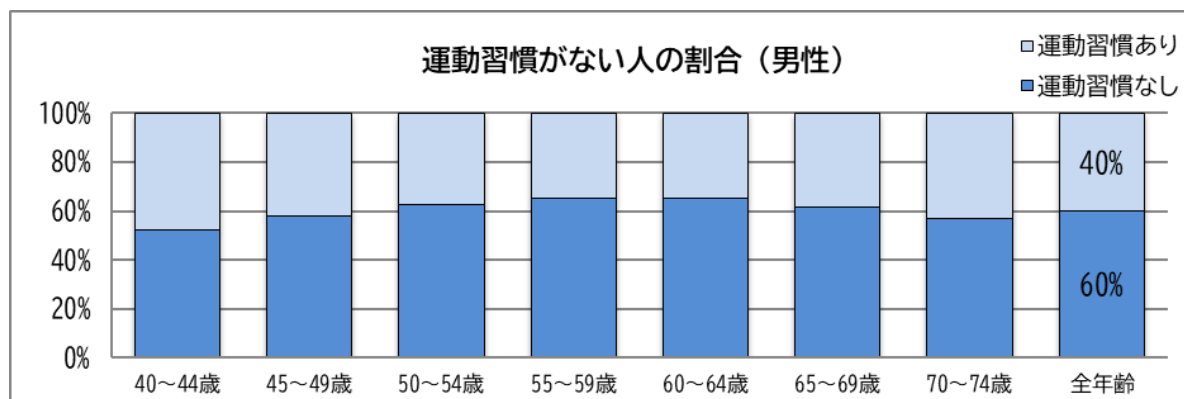
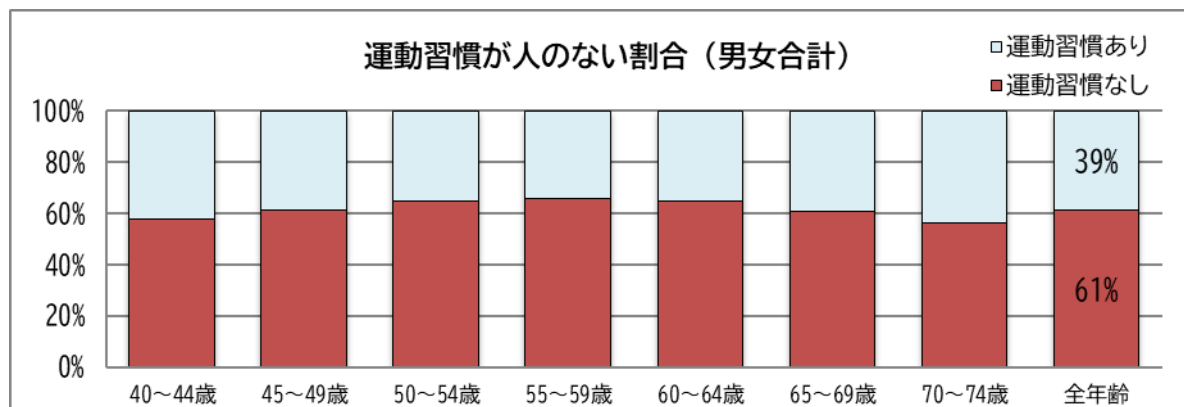
年齢が高いほど、毎日飲酒している人の割合が高い傾向が見られる。男女別にみると、男性が女性を大きく上回っている。



⑦ 運動習慣がない人の割合

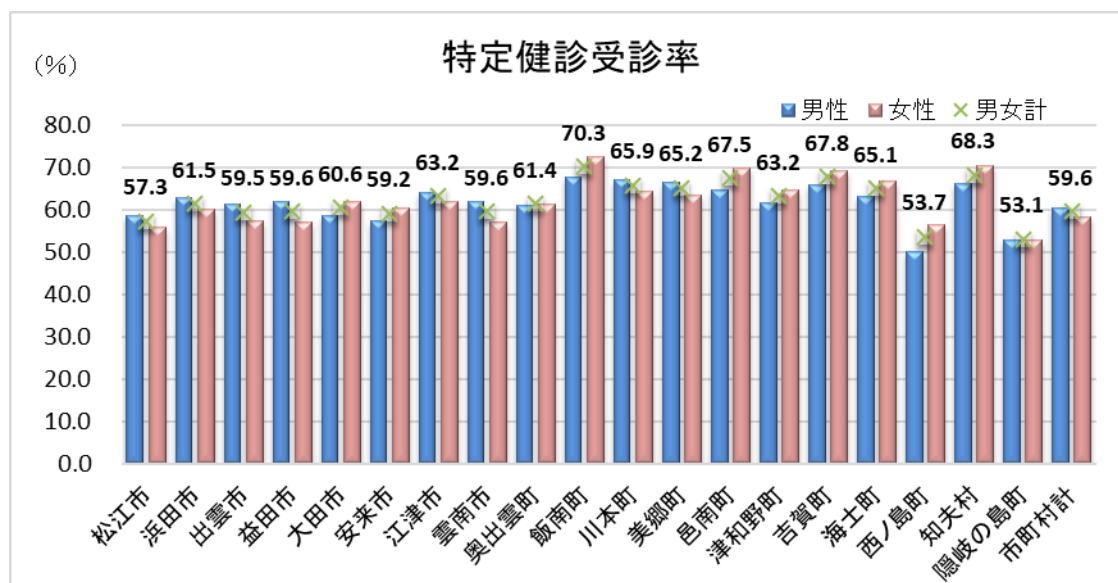
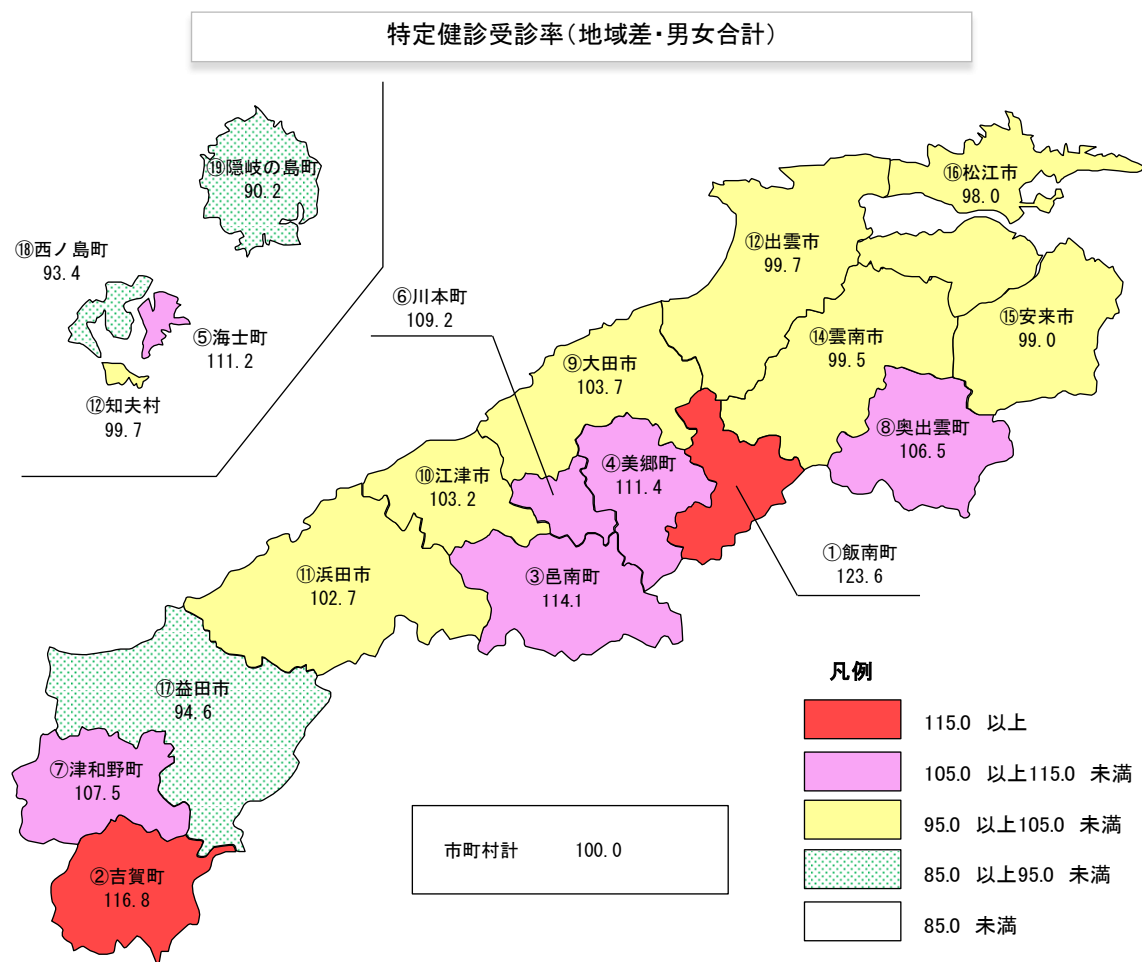
運動習慣がない人は男女とも6割を占める。男女別にみると、特に40歳代で女性が高い。

※問診項目「日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している」に該当しない人を「運動習慣がない人」として集計



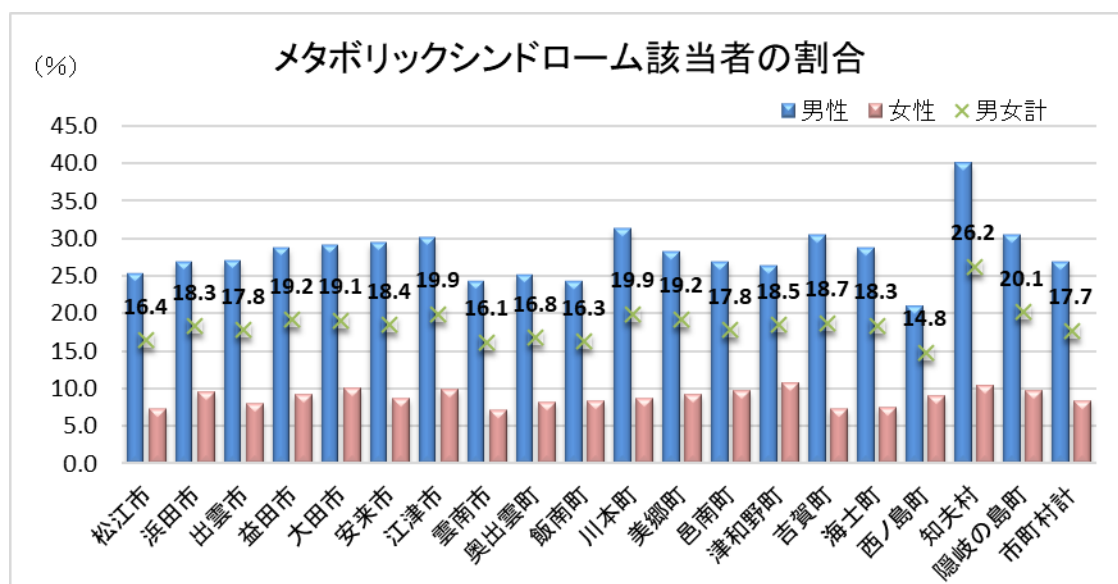
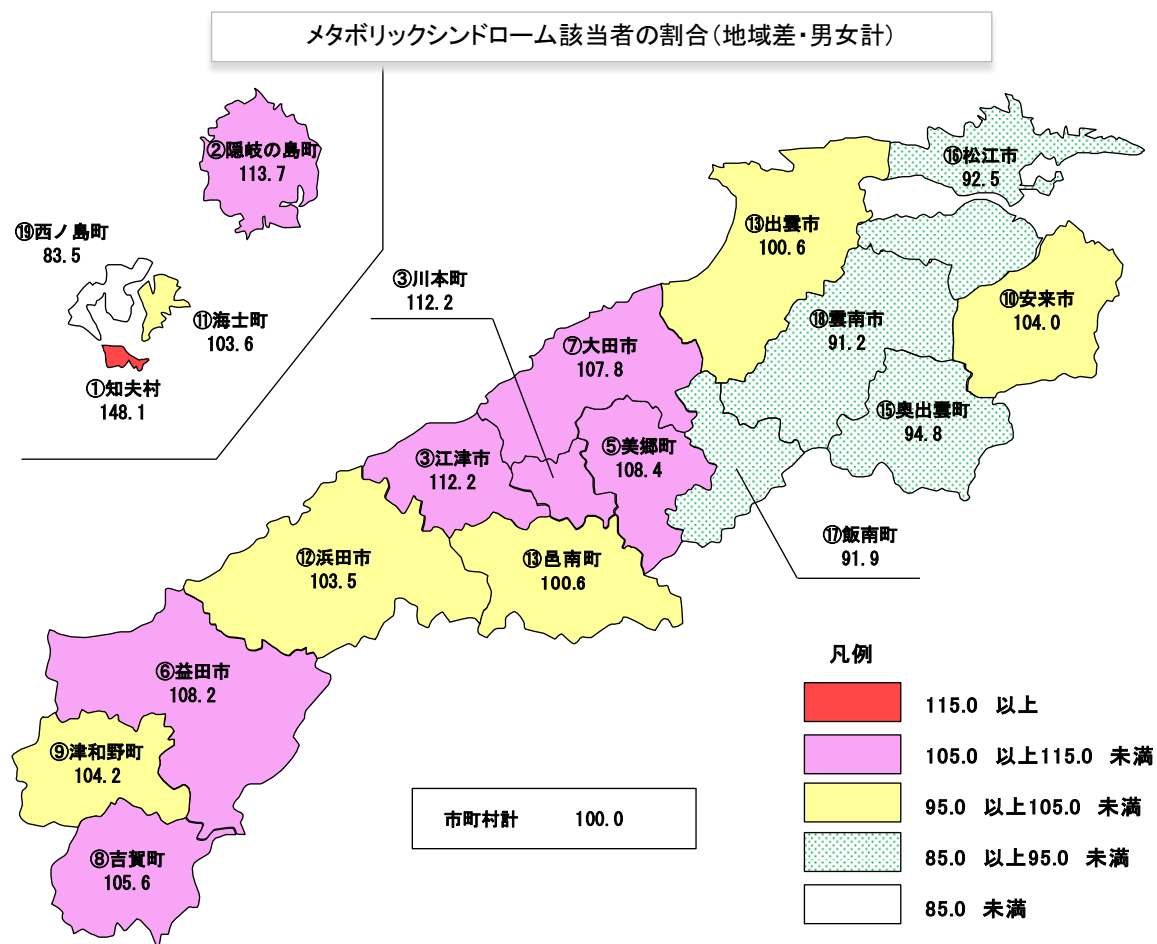
2 市町村別の状況

(1) 特定健診受診率

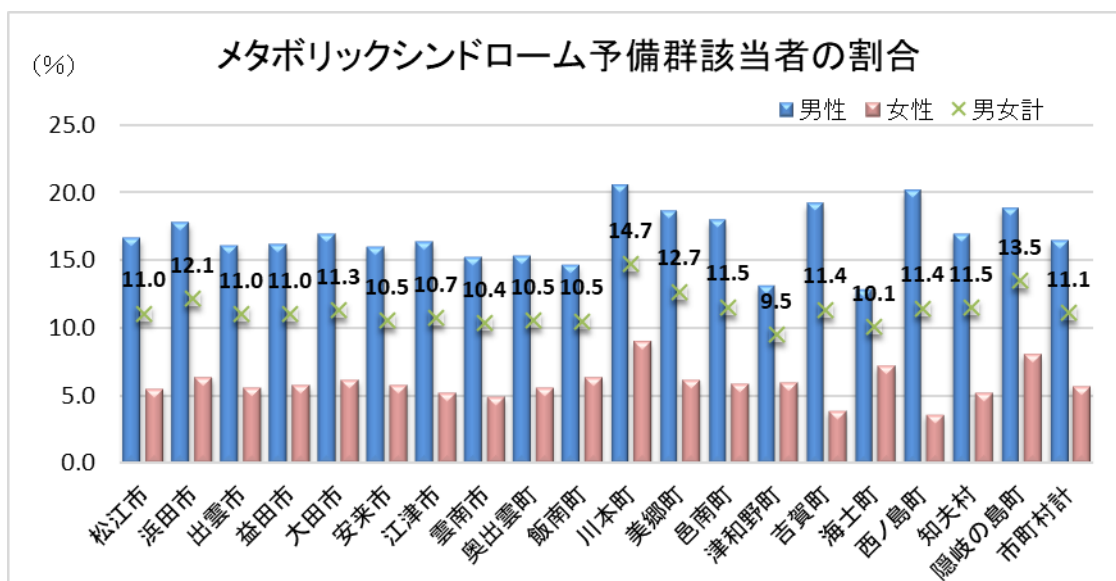
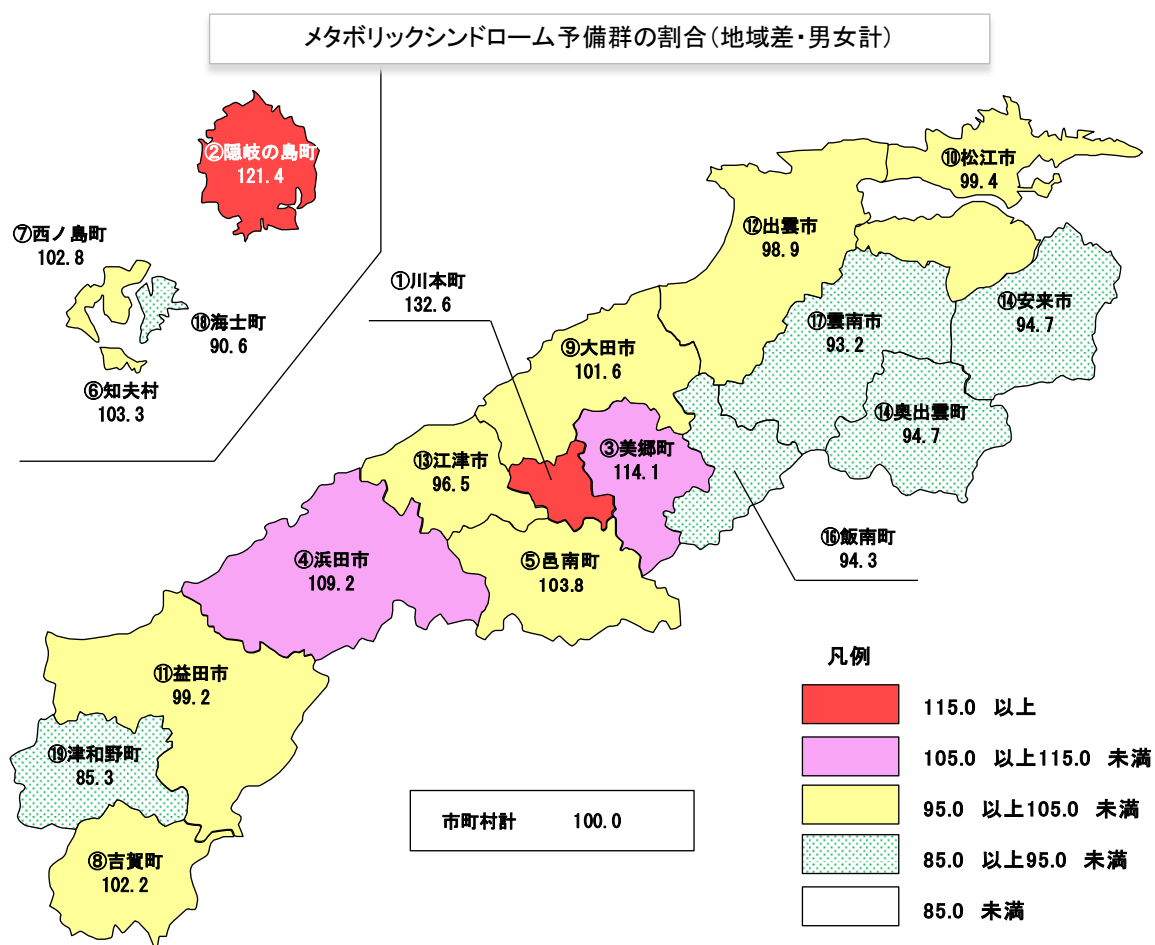


(2) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

① メタボリックシンドローム該当者の割合

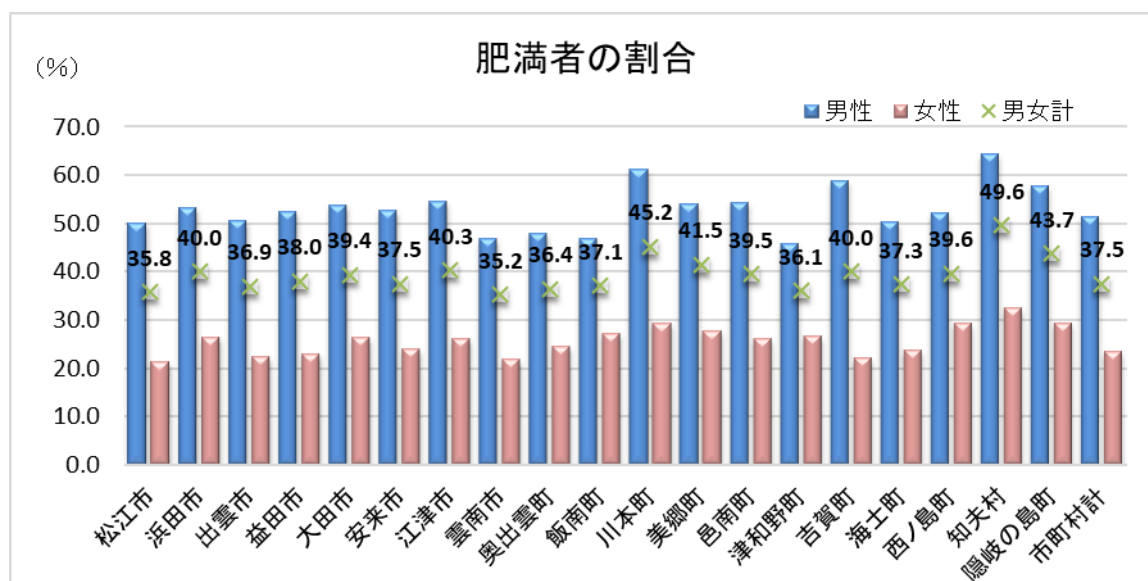
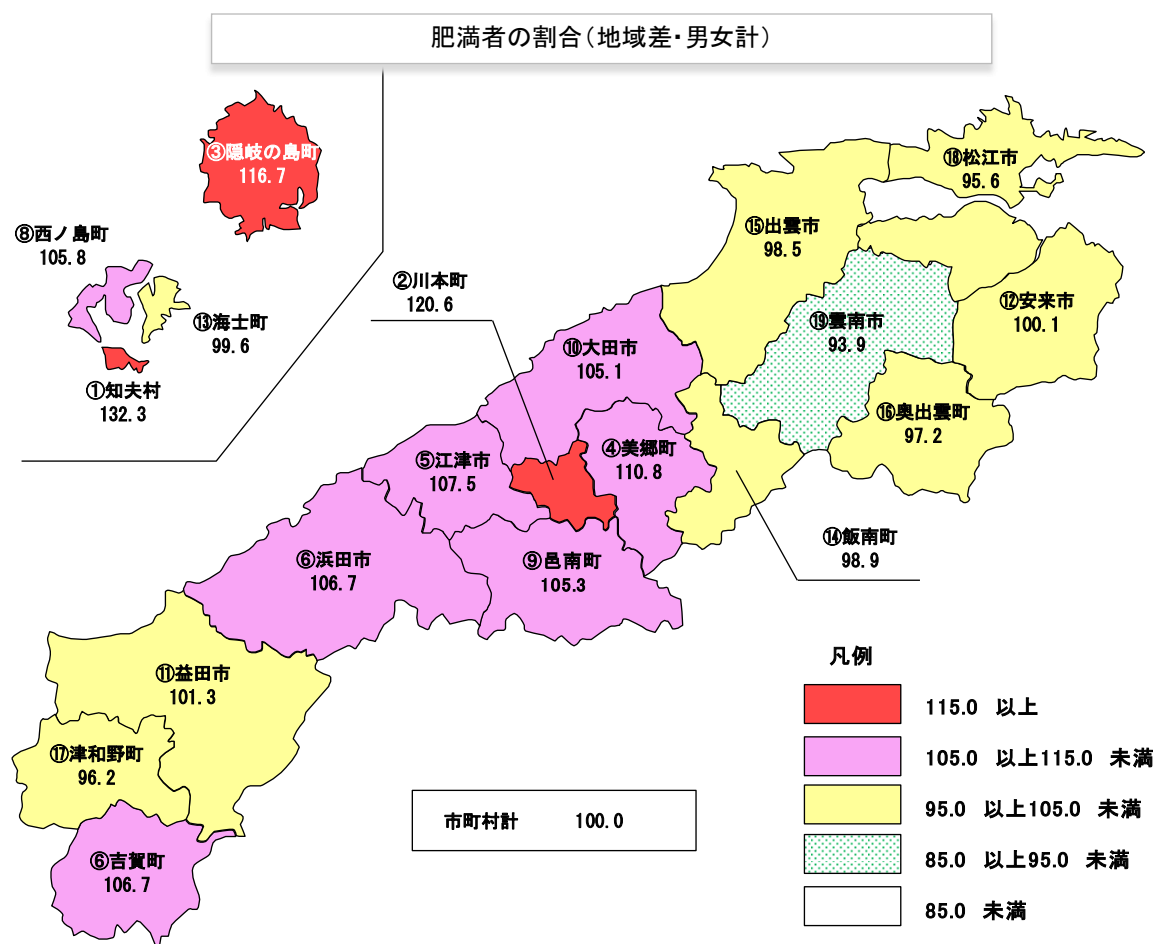


② メタボリックシンドローム予備群の割合



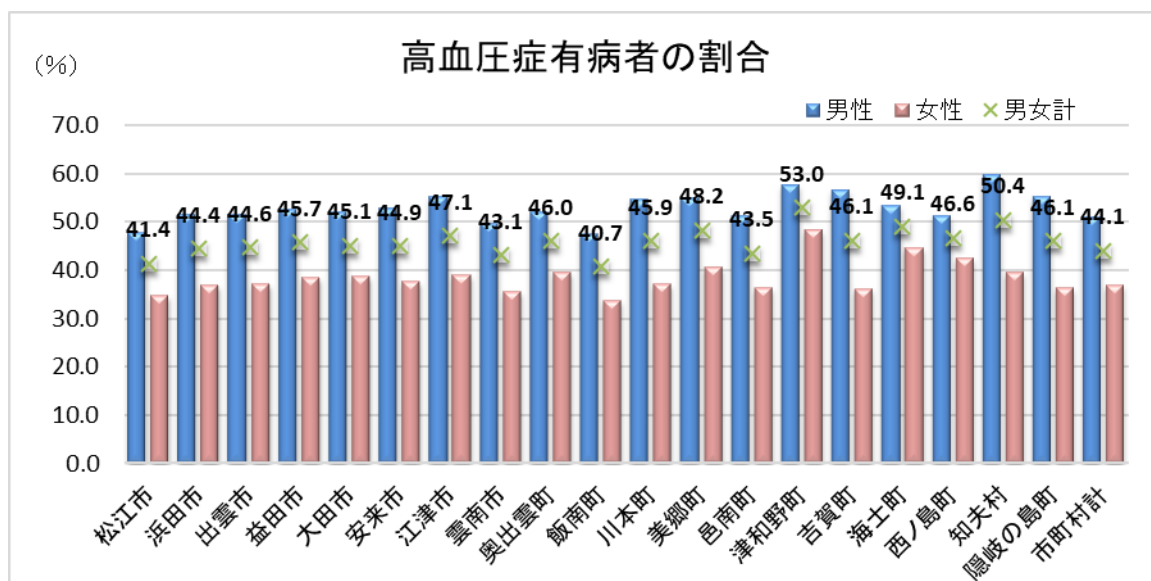
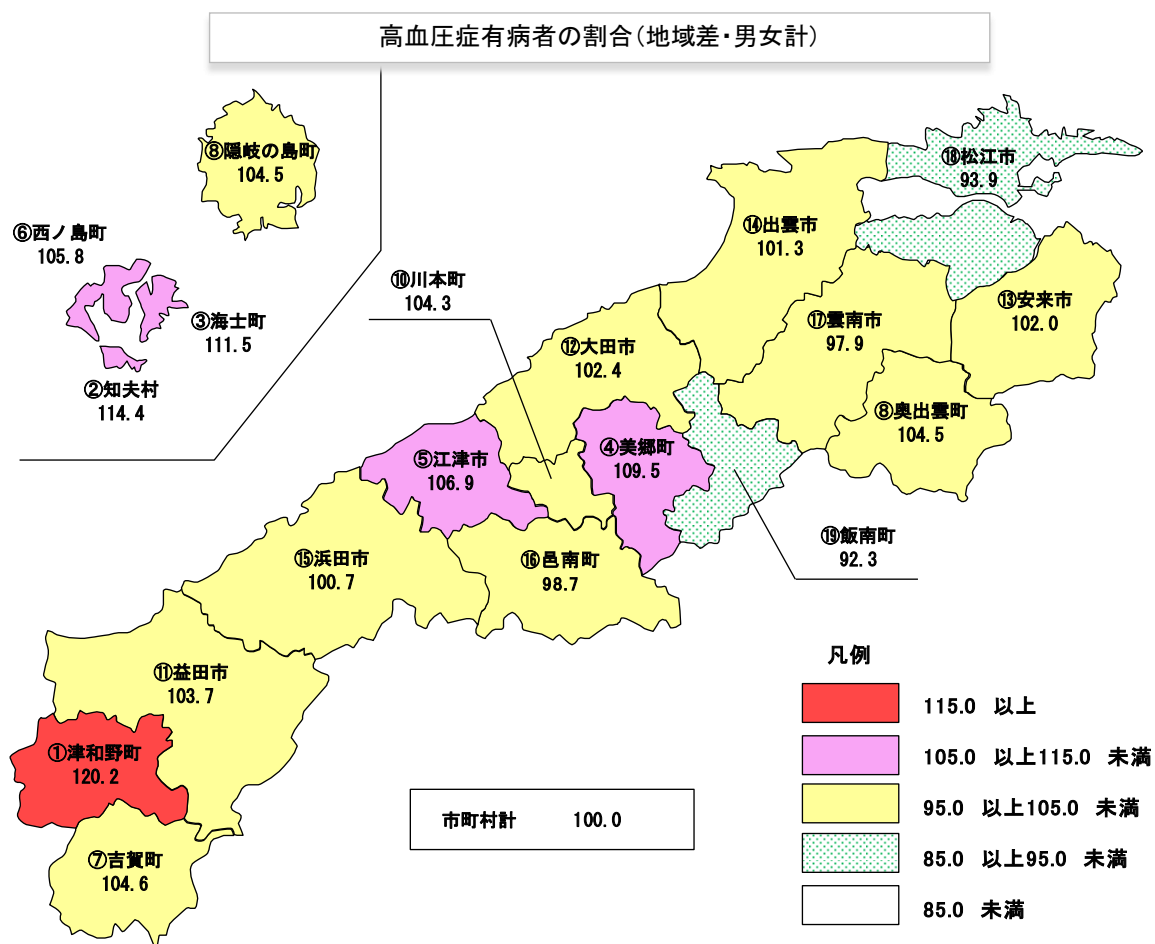
(3) 検査等結果

① 肥満者の割合

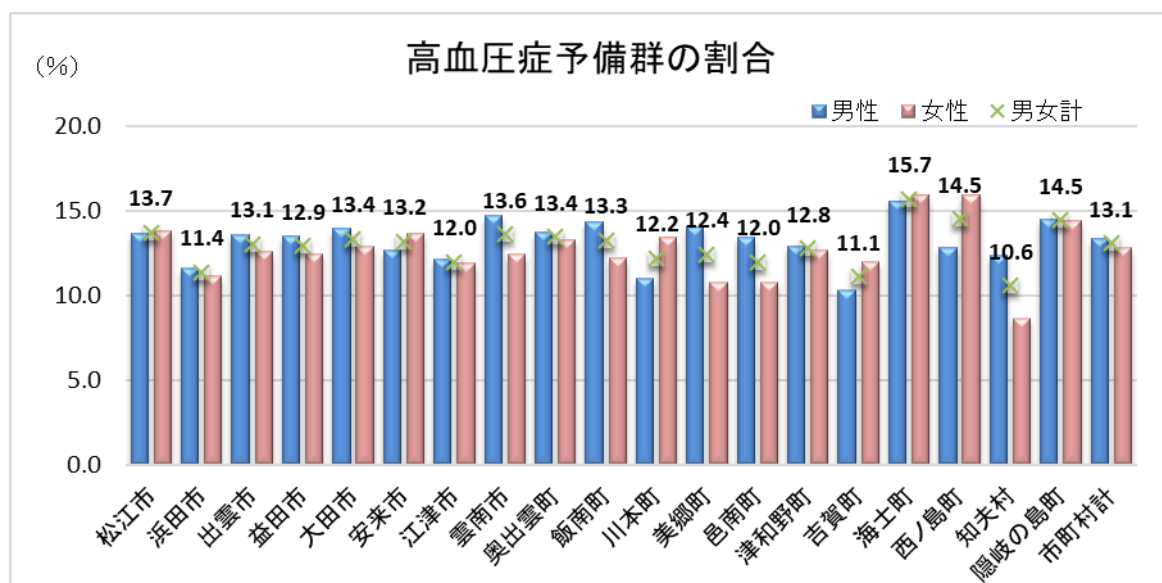
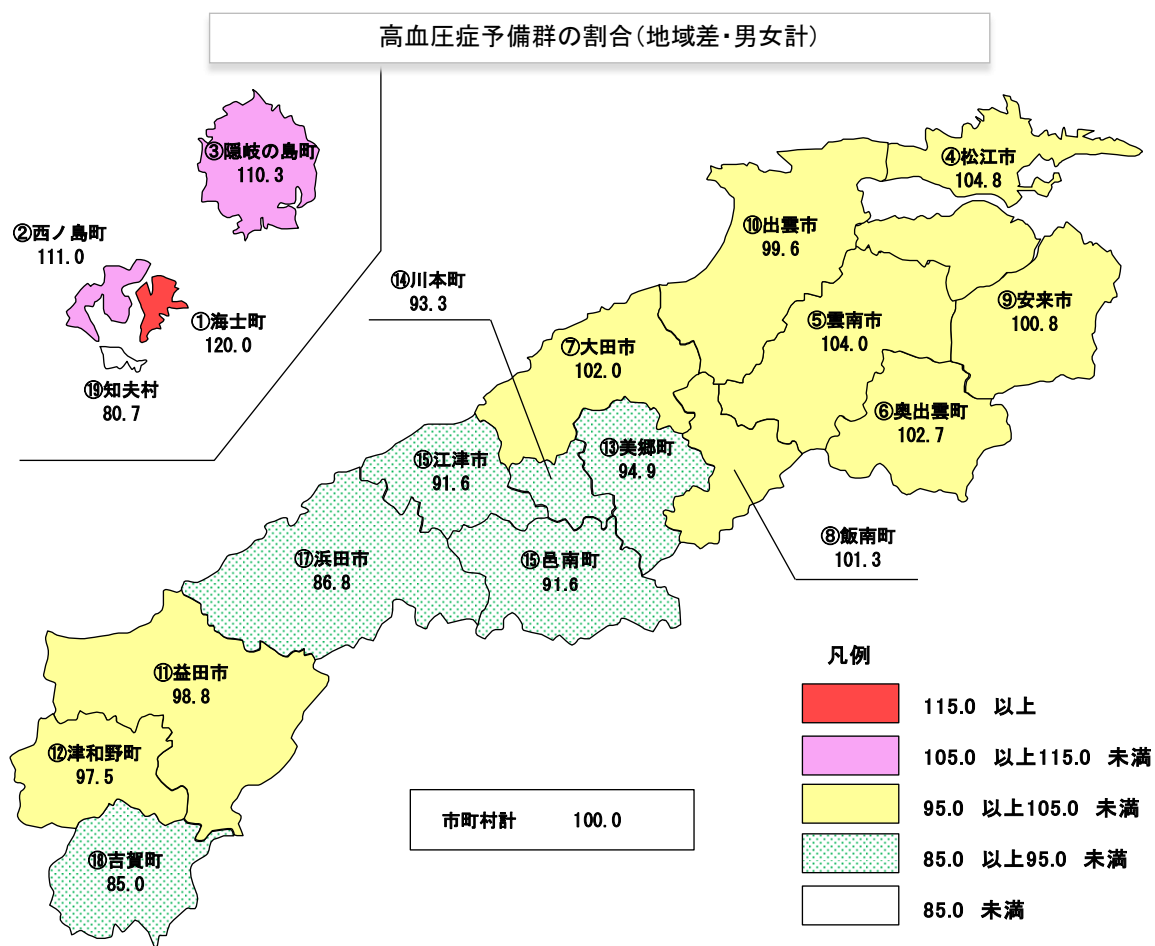


② 高血圧症有病者・予備群の割合

ア 高血圧症有病者

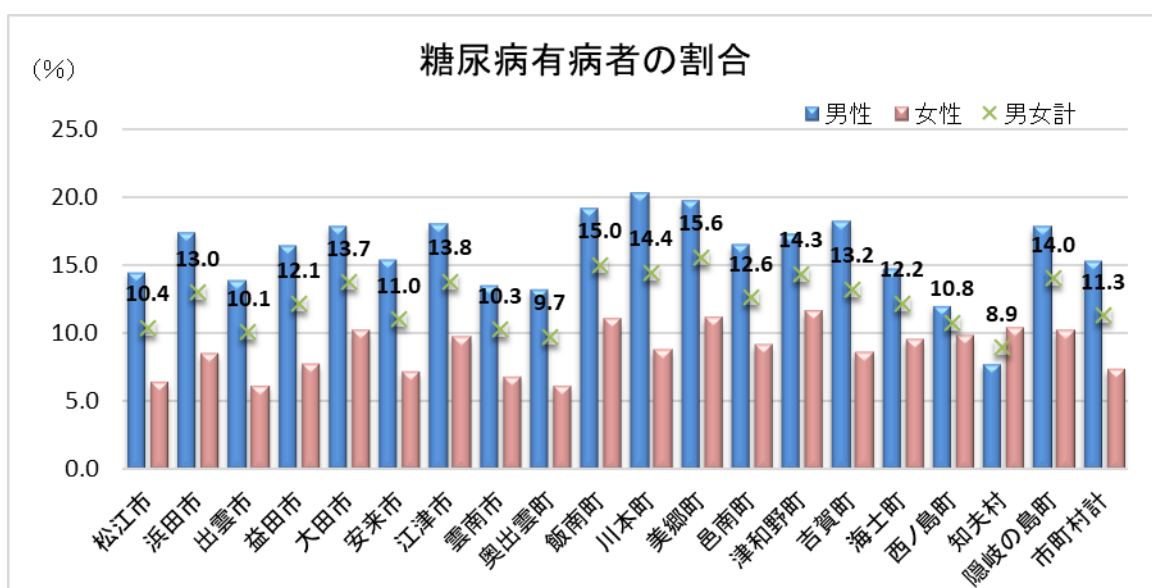
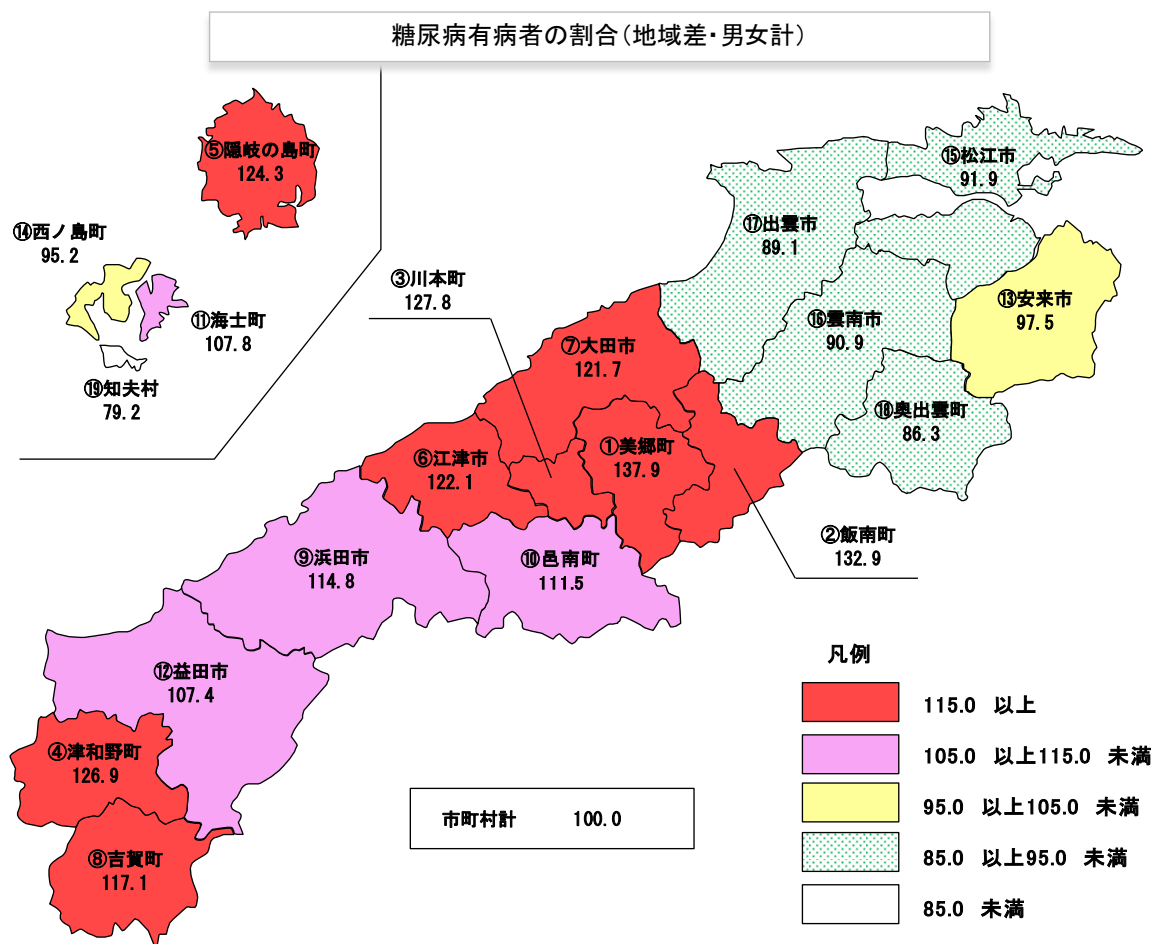


イ 高血圧症予備群

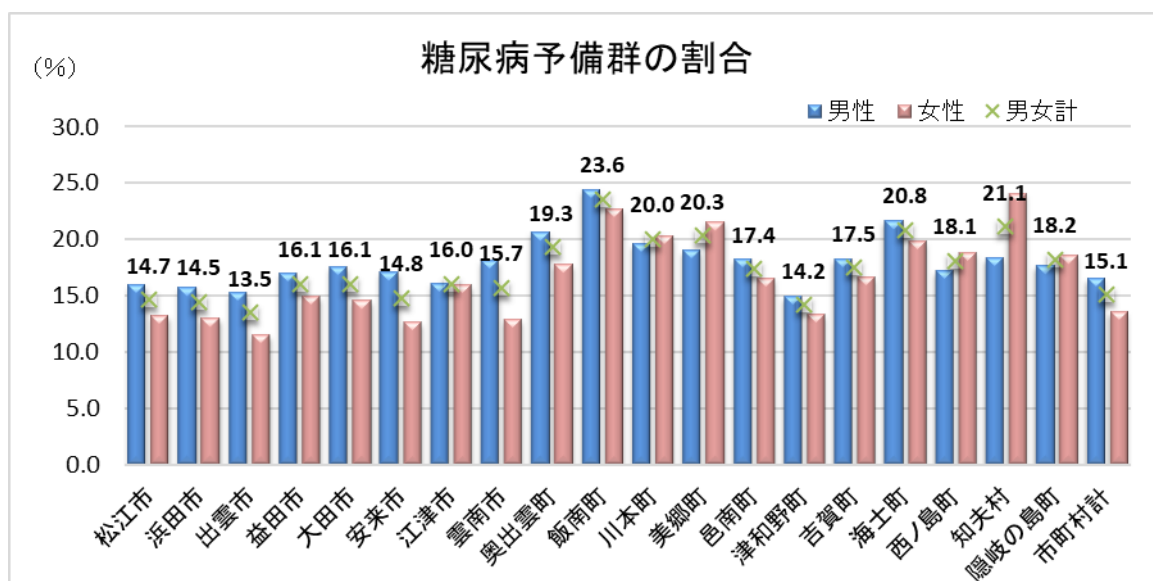
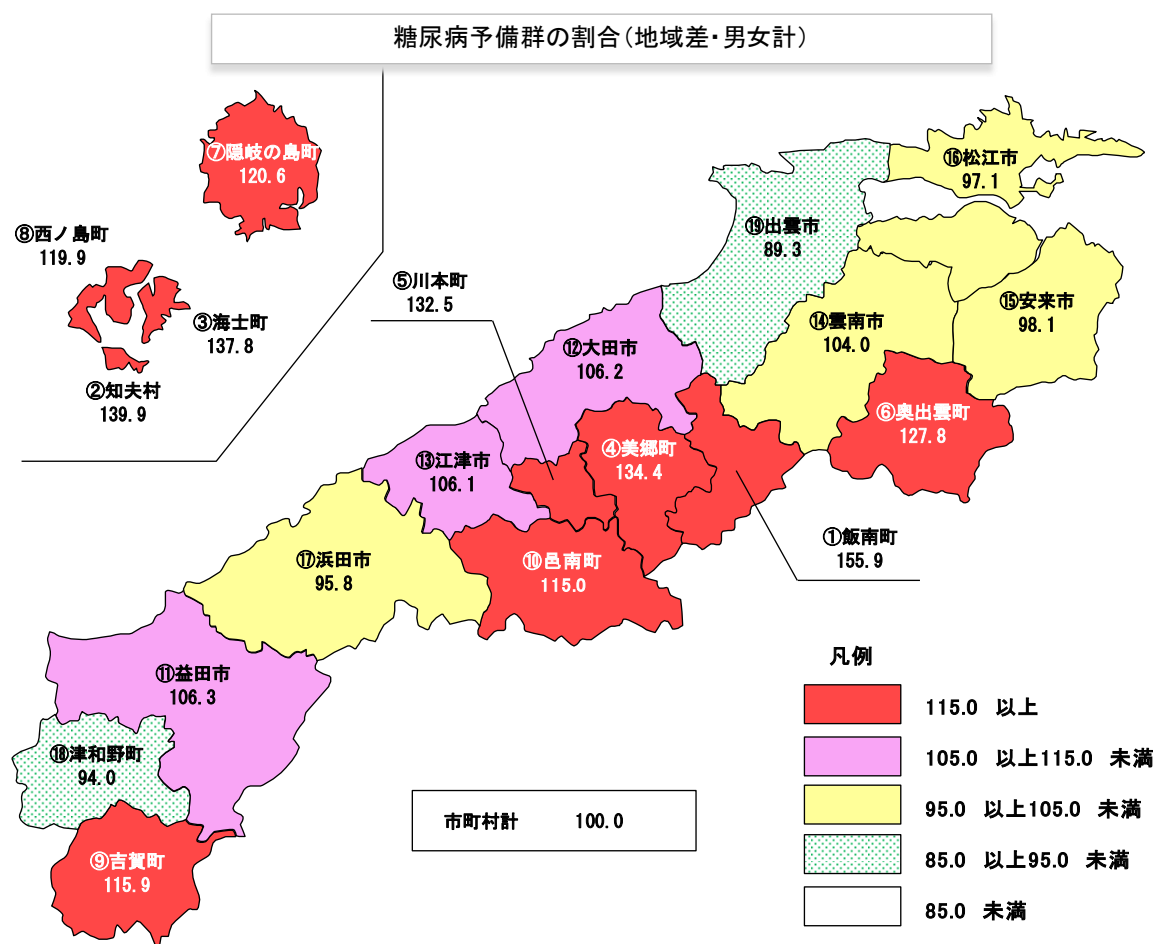


③ 糖尿病有病者・予備群の割合

ア 糖尿病有病者

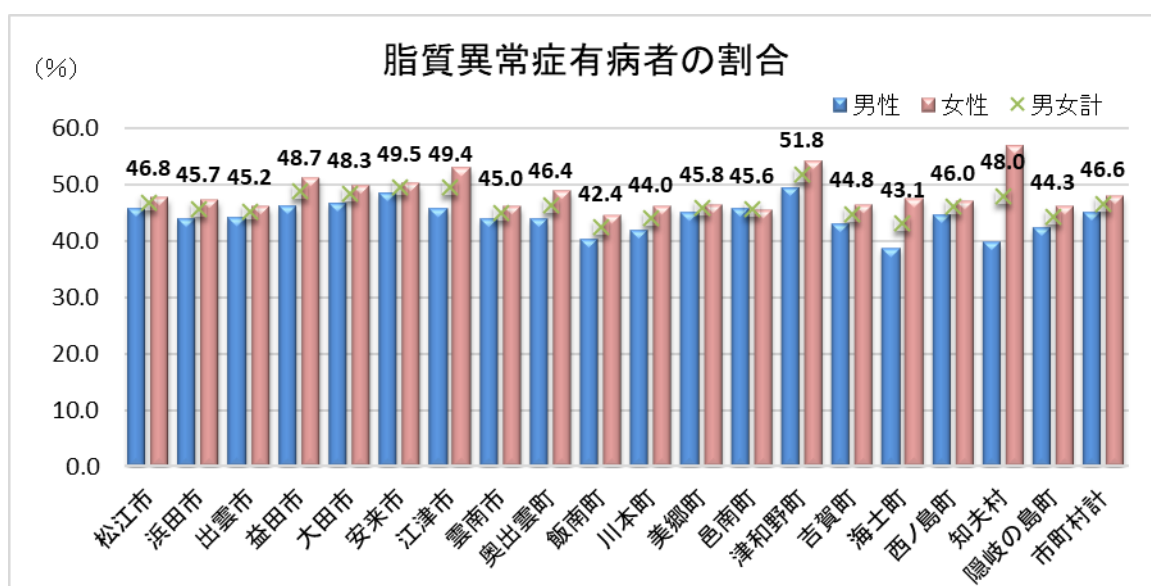
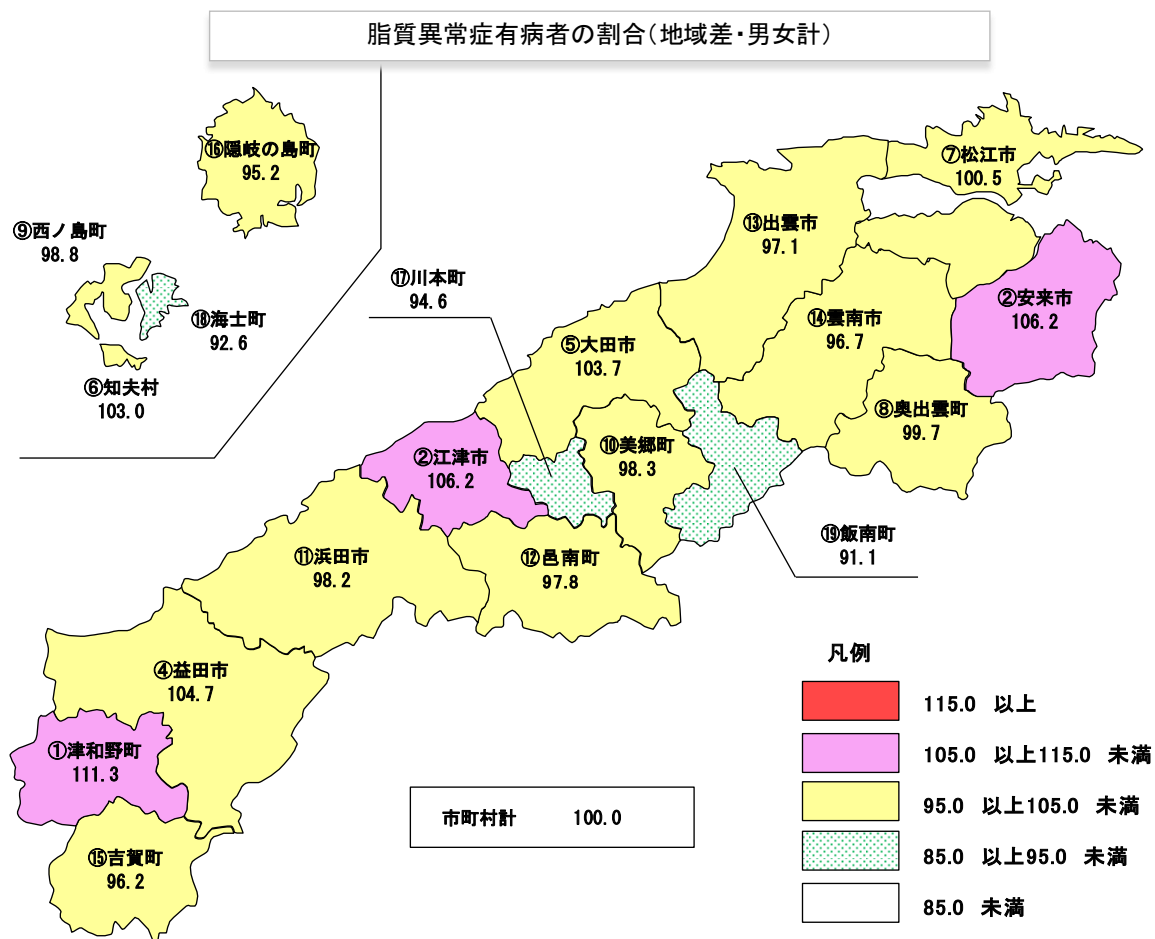


イ 糖尿病予備群

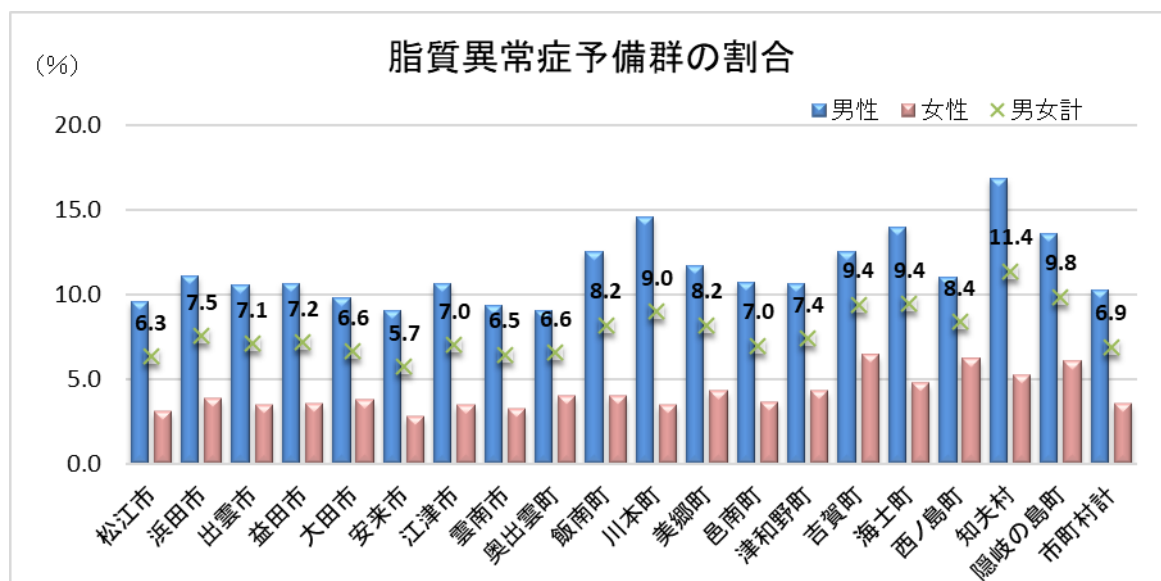
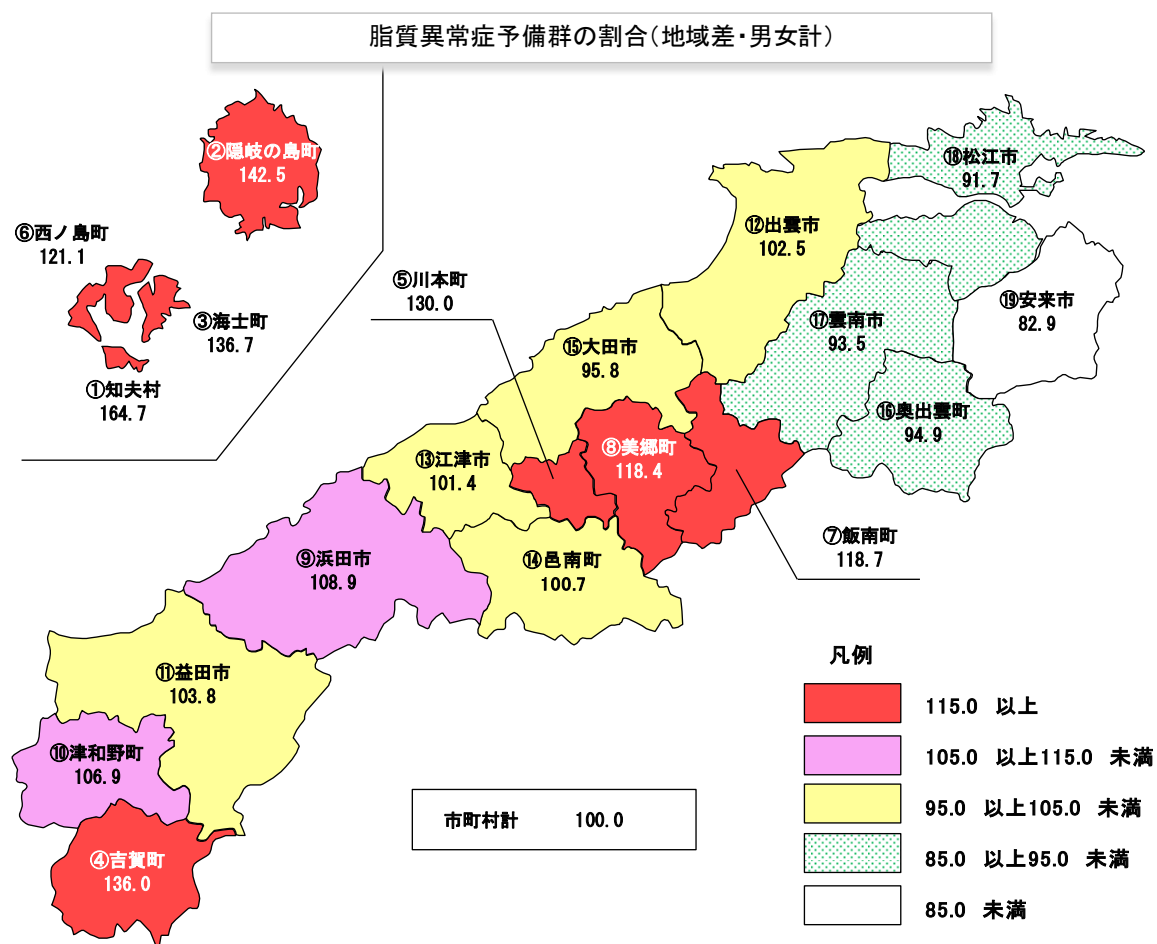


④ 脂質異常症有病者・予備群の割合

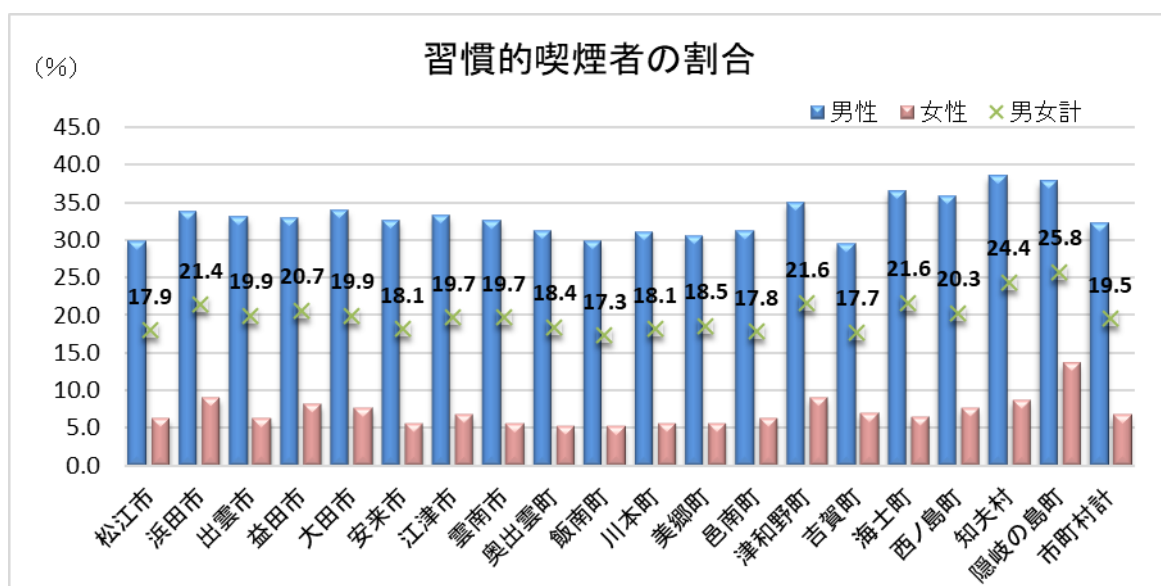
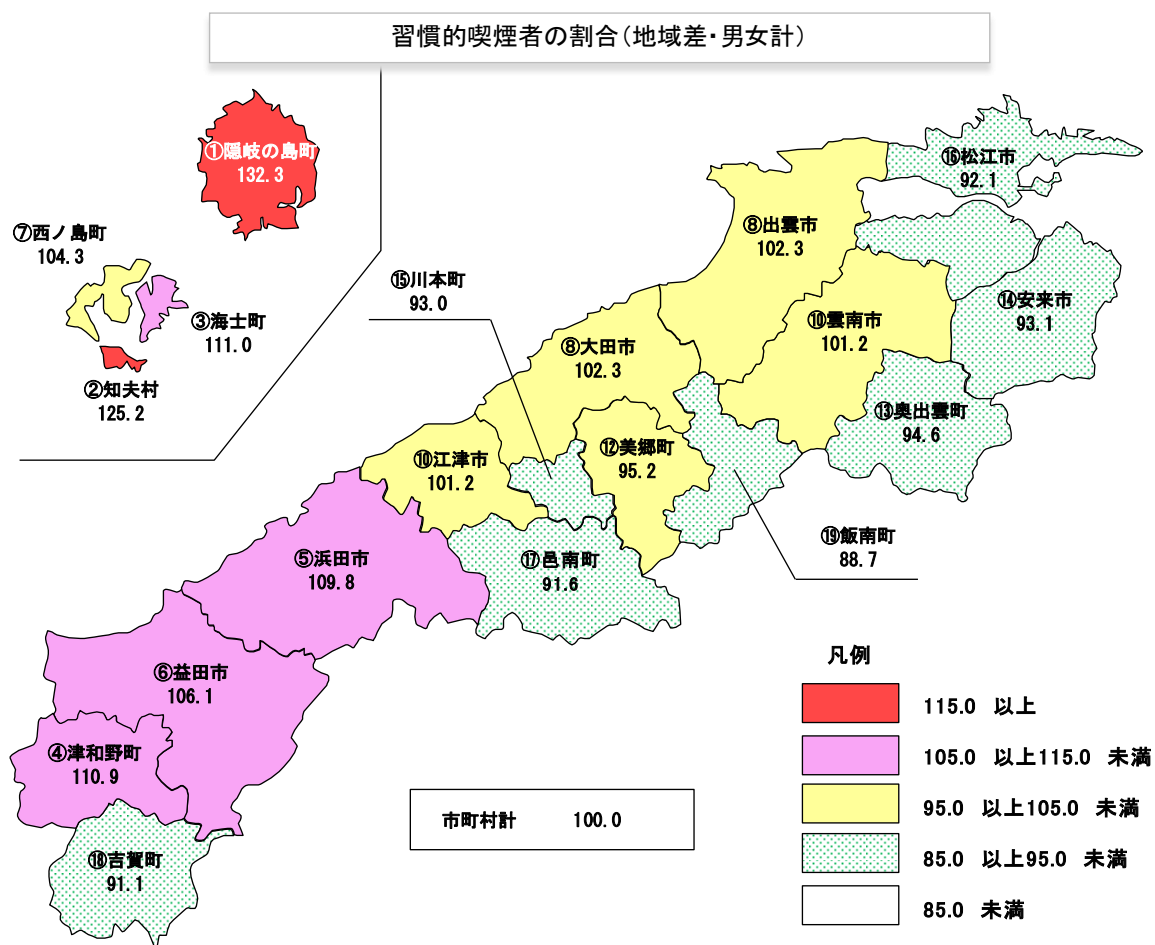
ア 脂質異常症有病者



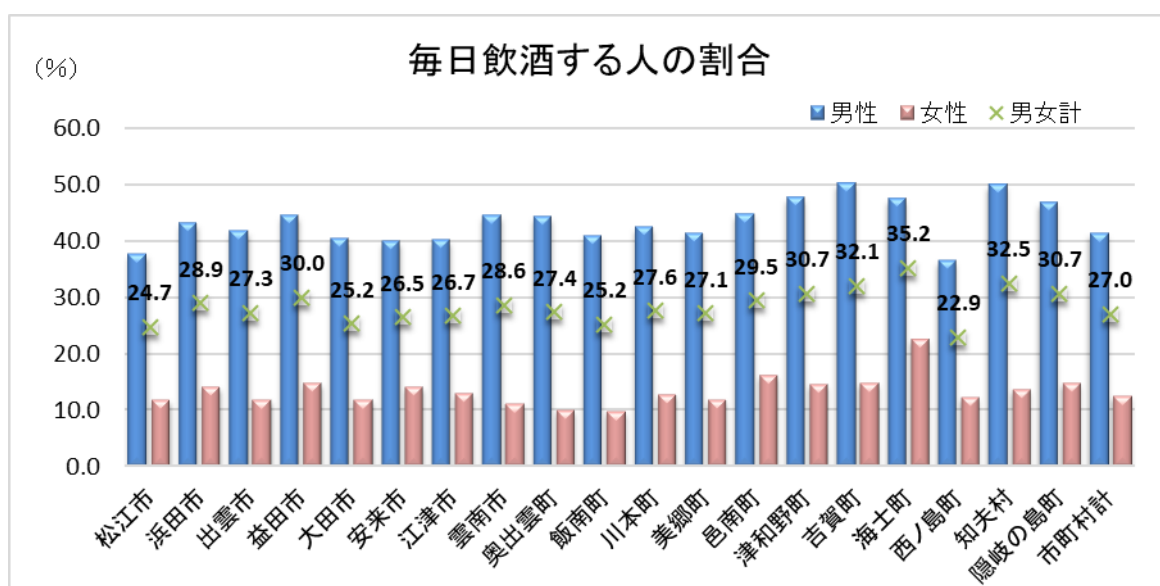
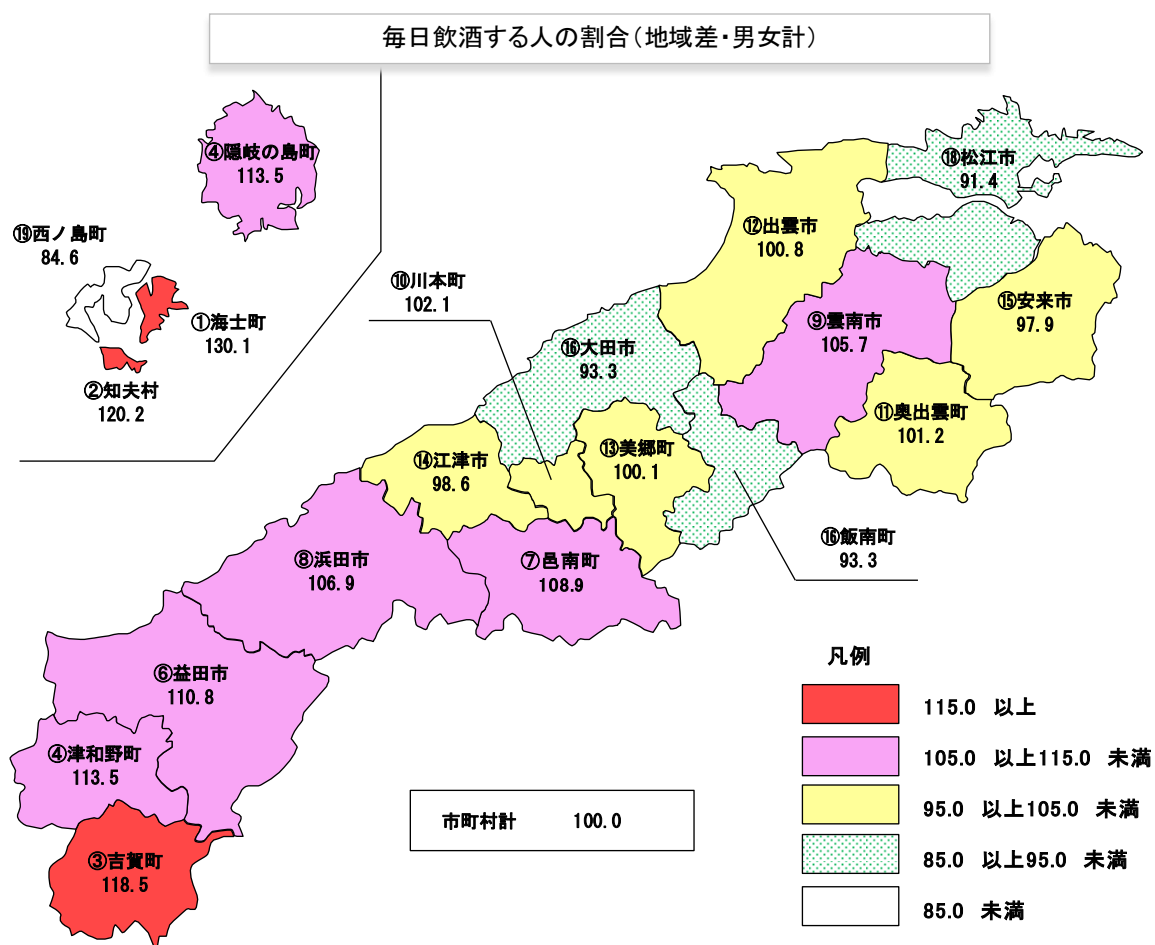
イ 脂質異常症予備群



⑤ 習慣的喫煙者の割合



⑥ 毎日飲酒する人の割合



⑦ 運動習慣がない人の割合

